滿洲日報
十二月廿日發行
發行人 鈴木...
大連市東公園町... 滿洲日報社

極東の事態の禍根は支那の内部爭亂のみ
日本非難に沒頭せる報告書
英の極東通グ氏指摘

【ロンドン十九日發】イギリス有數の極東通オー・エム・グリーン氏は十九日保守黨系のモーニング ポスト紙上で日支紛爭に言及し、極東の禍根は實に支那の内部的爭亂に存する事實を指摘し左の如く論じて居る

西洋列國が協力して支那を内部的擾亂から救濟する事を力說した事こそリツトン報告書の主眼である、然るに日本の行動に對する抗議的非難に沒頭の餘りこの事實が動もすれば看過される傾向が多分に存するは遺憾だ、極東の事態の不安の原因は實に支那のみに存する事は飽迄強調するを要する、更に一層大なる危險が今や極東を襲ひ全アジアは暖々乎として東漸し來る赤色勢力の發展に苦慮して居る、日本が潮の如く押寄せる赤色勢力の侵蝕に備へるため新に緩衝國を設けんとするの已むを無きに至つたのは何等異とするに足らぬ所である

委員間に意見の相違は無い
リツトン卿の演說

【ロンドン十九日發】リツトン卿は本日アメリカ新聞記者協會の午餐會に出席し、リツトン報告書の價値は日本の滿洲國承認によつて破壞されるものでないと說明し左の如く演說した

支那調査委員會の報告書はその發表前に日本が滿洲國を承認するであらうといふことを事實上確實に知つてゐて起草したものであるから日本の滿洲國承認によつてその價値を破壞されたといふことはない、又報告書作成に當つて各調査委員間には主要な事實に關しては意見の相違といふものは少しもなく意見の相違のあつたのは事實を如何に現示すべきかの方法についてのみであつた

全權部假廳舍檢分

全權部の移轉に先立ち假廳舍檢分のため小磯參謀長は有富副官帶同二十日午前八時來長、第四聯隊兵舍を始め地方事務所、憲兵隊の檢査檢分をなした後二十日午後十時發列車にて南下する筈【新京電話】

謝答禮使を歡迎する神戸埠頭の群衆

大亞細亞恒久平和の一大礎石日滿兩國の完全なる握手、わが承認に答へる帝室貴賓滿洲國正式訪日答禮使謝介石氏一行は建國新興の潑剌たる氣を負ふて十七日午前七時神戸入港の商船うらる丸で、海上恙なく來朝神戸に日本への第一歩を印して、こゝに日滿兩國外交史上に輝ける第一頁を加へた【寫眞は謝答禮使を歡迎する群衆】

★★★★★★★

聯盟最惡の場合の我海軍の方策

14

海軍大佐 中村重一氏講演

★★★★★★★

七日協和會館において開催した「講演と映畫の夕」に軍艦春日の中村重一大佐の爲ぜる「來る國際聯盟總會において最惡の場合(想像する)我海軍の方策」と題する講演要旨は左の如くである(文責在記者)

その翌日門司出發の時は良い天氣で、岸壁にテープを持つて見送りに大群衆が出て居りました、そして引かれたテープは網のやうに繋がつて居りました、私はひそかに見てこの國民の後援はあのテープに繋つて滿洲にまで行くのであらう、かういふ風に感じました、斯くの如くにして送られる人の氣持は、自分は斯の如く信頼されてゐるのだから、滿洲に行つたら出來るだけ働いて死んで歸ろ之が自分の國の爲に盡す義務だとかう感ずると痛感したのであります

この國民の後援なるものが非常なる力となり得ることは申すまでもないことであります、私は軍艦に乘つて出發するので何時もそつと出るので一向見送りを受けたことがありませぬ、私は曾てドイツの艦隊を追つて兩洋方面に行きましたが、ちつとも送られた經驗がありませんから、この陸軍の立派な方と行動を共にしてはじめて國民の後援を痛感したのであります實際之から旅順を攻擊に行くのだぞといつて出られませぬ、誠に送別を受けたいのでありますが受けられません、はじめて痛感したのであります、

要するに軍人家族の取られました行動についても澤山ありますが一、二數えて居りますことを申上げますと上海の兵隊に出てゐる人のお父さんは「怪我するか、戰にならなければ家に歸つても入れない」餘り激しいので不屆はドラ鬪子ではないかと思はれた位あります、さういふ手紙が來て居ります、又吳鎭守府の事でありますが、或る下士の奥さんは鎭守府の司令官豫備官に當て、夫は軍人として恥かしいからどうか他の奥から出ます軍艦に驅逐艦へ乘せていふ軍艦がありましたが、それ等に乘せてくれと夫人から歎願書が來て居りました、かういふ風に本當の心からの後援を受けますと、此奴は正に奮起せざるを得ませぬ、如何に臆夫も立たざるを得ないと私は確信するのであります、卽ち國民の後援がさういふやうに如何に影響するかといふことを一言申し述べて置きたいのであります、

唯戰爭といふことは何も死にに行くのが目的ではありませぬ、國の爲め、天皇陛下の赤子として恥ぢざる行動を採るのであります、死ぬといふことも生きるといふことも押であります、死にたいと思つても死れません、私が上海に參りました時は、江灣鎭方面の陸軍に山口大佐の指揮する...砲を打つてその時四發私の...敵の彈が來ましたが中り...巧く私には當らない、だ...するとかせぬとかは問題...國に盡す赤誠を捧げて直...うが戰死しやうが、同じ...す、無論戰死者に對して...表しますがその心は同じ...た人は皆逃げてゐた人では...せぬ。

今此處で申上げたいのは...その氣分を御諒解になつて國民の後援といふこと...必要か、我國の急を救ふ...大のウエートを與へると...た御諒解下さると結構だ...す、その將來の戰は軍人...なく、國民總動員であり...國民の覺悟を御願ひした...のであります。

民間武器製造取締
日英米は反對
聯盟委員會遂に決裂

【ジュネーヴ十九日發】國際聯盟の兵器彈藥製造竇買取締委員會分科委員會で本日兵器彈藥の製造竇買取締に關し討議したが、フランス、スペイン、デンマーク、ポーランド諸國は強硬に民間武器製造取締を主張せるに對し、日、英、米諸國は飽迄その權利を擁護したため委員會は決裂し無期休會となつた、分科委員會は本問題を關係各國附託に決定したが、日本代表は率直に「日本政府は恐らく右に對する回答を提出しないだらう」と言明した

一等潜水艦建造
攻擊巡洋性の優秀艦

【佐世保二十日發】海軍ではロンドン軍縮條約の制限の下に更に一等潜水艦一隻を建造する事になり十八日佐世保工廠に起工式を行つたが、同潜水艦は明年度に編成される第三十潜水艦と共に排水量千六百三十八噸全長九十七米、速力十九節、十三サンチ砲一門、發射管六門を裝備し攻擊巡洋性を具備する優秀艦で昭和八年末迄に完成の豫定

滿鮮國境に警官を增員
邦人保護を目的に

【東京二十日發】大藏省臨時國境警備費三十七萬七千九百四十圓を朝鮮總督府特別會計七年度第二豫備金より支出する旨今日發表したが右は滿鮮國境附近における邦人保護のため警官の增員をなすためである

藏相廿日歸京

【東京廿日發】葉山別莊に靜養中...

選擧公營案
委員會で協議

【東京二十日發】選擧法改正に關する法制審議會主查委員會は十九日午後二時から首相官邸で開かれ選擧公營問題に關し三時間に亘り各委員間に白熱的討論あり、贊否の兩論出でたる後、水野主查委員長の裁斷により選擧公營案の内容を...

マニウ氏組閣

【ブカレスト十九日發】農民黨領袖マニウ氏はヴアイダ内閣辭職の後を受け本日組閣を完了した新外相にはチツレスコ氏が就任した

選擧演說會の會場設備及び文書の發行等を公の機關で行ひ私の選擧運動は一切之を禁止すると提議し右につき贊否を求めたところ、各委員之を承認したので從來の幹事案岡田、清瀨、島田、松本、島田の諸氏と幹事により原案を作ることになり特別委員會は二十日より協議することゝし午後五時散會した

滿鐵高給社員の昇給

滿鐵の秋季定期昇給中百五十圓以下の社員の分は既に人事課より割當基金を各部に通知し各部において詮衡中で近日中には全部通知済みとするが、百五十圓以上の高給社員の昇給は重役會議で決定する關係上やゝおくれ目下各部で人選中である、從つて人事課でまとめて重役會議に附議決定を見るは十一月中旬の豫定だが、昇給は十月一日に溯つてなされる筈で、昇給者の數および昇給率は大體例年並であると

陣容を立直し各所に混戰
大連市議逐鹿戰況

妖雲不氣味に漂ふてゐた逐鹿戰は各候補二日間ばかりの中休みのうちにすつかり陣容を立直し何れも轡をならべて再運動を開始した、殊に沙河口方面の西部戰線は果然激戰となり石川、...

連絡會議の議題
今年は事務的なものゝみ
生野鐵道省配車課長語る

二十一日より四日間に亘り滿鐵本社において開催さるゝ内鮮滿臺連絡會議に出席のため、鐵道省より代表として運輸局配車課長生野源太郎氏をはじめ事務官阿部繁藏氏同廳浦武氏外中村韓吉氏、古川信一氏、松井二三氏一行六名が二十日入港ばいかる丸で來連した、一行を代表して生野課長は語る

この會議は恒例のものでただ昨年滿鐵が主催でやる筈のところ時變の突發で今年に延ばされてゐたのだ、内鮮滿臺の鐵道關係者が集まるのだが本年度の議題としては事務的な細い規則等の事が主で省としての提案といつたものは殆どない、滿鐵、臺灣邊りから幾らか提案がある位のものだ、出來たら危なく無い範圍において社外線も見たいと思ふが何れにしても上陸後の話だ全部で三週間の豫定で朝鮮經由歸る、いづれにしても連絡會議以外の用件といふのは無いのだ內地における鐵道收入は九月二十三日頃を轉期として全體的に見てよくなつて來たやうだ、殊に貨物收入は大分增えたやうだ(寫眞は埠頭に着いた一行)

滿鐵辭令

滿鐵地方部工事課工務係主任江崎猛氏は近く新國家へ入るのでこれに伴つて左のごとく人事異動があつた

大連工事事務所工務係長 事務員 菊池良榮
地方部工事課工務係主任を命ず 地方部工事課 事務員 伊藤透
大連工事事務所工務係長を命ず 地方部工事課工務係主任 事務員 江崎猛
工務係主任を免ず

あめりか丸船客

【門司特電二十日發】二十二日大連入港豫定のあめりか丸の主なる船客諸氏

ハルビン副領事瀧川欽哉、豫備陸軍主計監井出治、日魯漁業重役山下太郎、滿鐵社員大坪正、議家渡邊新蔵、大滿蒙新聞社長大石隆基、中原定保

奉天市長、滿鐵に借款を交渉
施設資金二百萬圓

滿鐵も「長春」改稱を考慮

出淵大使來滿

人事

▲貝瀨謹吾氏(技術協會...)十日午前十時出帆...て內地へ
▲永井忠無邪氏(住友製...)
▲竹內謙二氏(九大教授)同上
▲澤修海氏(旅順華商公...)同上
▲鄭禎鼓氏(鄭總理令孫)同伴同上
▲白川友一氏 同上
▲山縣程次氏(住友製...)
▲三重縣教育視察團一行...
▲日滿婦人聯合大會滿洲...
▲高見三吉氏(大阪商船...)行十一名 同上
▲東京千代田會視察團...長)廿日午前八時大連...
▲佐賀縣教育會一行十二...同上着連
▲生野源太郎氏(鐵道省...)午前七時四十五分大連...
▲佐藤重藏氏(仕大信託...)車課長)廿日入港ば...
▲武野與一郞氏(古川...)一行と共に來連
▲前川良三氏(大連新聞...)同上
▲大野敬信氏(三井大連...)賣店員)同上
▲中野義雄氏(一等軍醫...)理)同上
▲ロヂャース・エイ・ブ...(米國オレゴン大學教...)日午前六時五十分周水...
▲學生聯盟派遣渡米學生...航空機にて離連
▲村川五郎氏(滿鐵商...)同上
主任)十九日夜着鳩子...

蛇の目

英京の極東通グリーン報告のヒント外れ...ころ痛快。

滿蒙の戰慄 (133)
直木三十五作
淺枝次朗畫

再生 (四ノ二)

日滿兩軍の猛擊で掃蕩粉碎さる
東邊道兵匪討伐戰況

東邊道の匪賊は日滿兩軍の猛襲に……より今や大體において掃蕩粉碎された

南地區　茂木部隊の主力は十八日午後桓仁西南方約六里大虎村子附近に接近するや匪賊は約百名の紅槍會匪と共に刊棱嶺、泉石葉附近の山陣より我軍の前進を阻止せんとしたので十九日これを攻擊して擊退し直ちに追擊に移つた、古谷部隊も又同日土門子の敵を擊破して唐玉振の部下の正規被服兵器多數を押收し更に泉石葉附近にあつて紅槍會匪に大打擊を與へた、山崎部隊は十八日裴枝隊、江藤部隊等と相呼應して沙尖子附近を占領してゐた數百名の賊を攻擊してこれを占領した

李春潤はわが討伐軍の猛烈なる追擊に遭ひ部下數千と共に萬策つきて巨流河河谷に逃込み十七日朝會議を開いた結果、部下全員に對しそれ〴〵勝手の行動をとるべき旨を宣言し解散を命じ李自らは部下少數と共に同日午前七時馬車に乘り花尖子、紅廟子、陽廟道方面に逃走した模樣で途方に暮れた部下の敗殘兵は諸所に出沒して掠奪し又わが軍や滿洲國軍に投降して來るものも尠くない

中央地區　十九日通化發興津副領事よりの報告によれば去る十四日匪賊のため拉致された邦人滑田一家六名のものは匪賊の手から脫出し十八日午後六時通化に歸還した、唐聚五は通化逃亡に際し良民に對して日本軍侵入の場合は慘殺しにされると惡宣傳をなし婦老幼女子多數を引連れて逃亡したと【奉天電話】

遭難米人の眞相諒解
遺骨今夜歸奉

在奉天米國副領事ボール氏、日本總領事館法華津官補、坂本憲兵隊員及び貴島憲兵軍曹の一行は十八日現場の調査を終り遭難者ヘンダーソン氏の遺骨を携へ二十日夜歸奉の豫定である、ボール副領事は最初新濱にも至り調査したい希望であつたが同地の米國人、教會とも連絡することが出來て何れも事件の眞相を諒解したので新濱行きを中止して歸奉に決した【奉天電話】

歸順勸告布告

日滿兩國軍の兵匪大討伐に伴ひ奉天當局は匪賊の招撫に努力し主として奉天省治安維持會がその衝に當つてゐるが十九日省長臧式毅氏の名でこの際急速に歸順して生命を全うすべしといふ最後的布告をなした【奉天電話】

日本移民の食糧問題解決へ
日本人の胃が高粱を征服するまでを研究

滿鐵中央試驗所では滿洲國人の常食する各種の食糧品の榮養カロリーの研究を續けてゐるが滿洲醫科大學阿部勝吉博士は滿洲農民の常食である高粱粟等の主食物を始めて日本人が食した場合幾月目で胃が完全に吸取するかの研究に着手し近々學術的發表を見んとしてゐるがこれが醫學的に證明された曉は日本移民に對する食糧問題の解決を得ると期待され博士は熱心に研究中である【奉天電話】

平和の使として日滿婦人大會へ
滿洲國代表一行出發

日滿親善の輝かしい將來を約束する平和の使として大阪に開催される關西婦人聯合會主催日滿婦人聯合大會に出席する滿洲國婦人代表は滿洲國協和會中央事務局紀井一氏の案內にて

ハルビン代表東支鐵道理事會秘書王梅先、東省特區第四小學教師辛慈英、新京代表長春女子高小教師王瑞蘭、協和會員于嶽英奉天代表奉天公學堂教師曲淑珍奉天女子師範教諭劉勃彥、吉林代表執政府女官吉林女子中學校長毛荷根、協和會代表張維蘭、全滿婦人聯合會代表三菱ハルビン支店長岡氏夫人岡淸子、田中喜代子女史等

一行十一名は二十日午前八時大連驛着列車にて到着、その儘連絡車にて埠頭に赴き同午前十時出帆うすりい丸にて全滿聯合婦人聯合會より贈られた花束を抱き日滿兩國旗に包まれ在連婦人團體多數に見送られ華々しく出帆內地へ向つたが一行は何れも滿洲服に日滿旗を配した胸章を附し何れも流暢な日本語を以て見送りの人々に別れの挨拶をのべ出帆に際しメッセージを發表した【寫眞はうすりい丸の一行】

☆　☆　☆

日滿博の幹部四名詐欺罪で送局
佐藤會長と高田日光館請負人は檢察局で不起訴か

時の要路大官を賴つて徒手空拳で大連へ乘込み羊頭狗肉の空景氣で大連市民を欺き十數萬圓の大損害を市民に與へた大日滿產業博覽會は峻烈な司直のメスによつて解剖させられ今やインチキ的內容を白日の下に曝け出すに至つたが、大連署司法係では事件摘發以來約一ケ月間、殆ど司法係總動員の下に大搜查を行つた結果二十日漸く取調べ一段落となり日滿博會長佐藤庸也(五三)同理事長原侑(三七)同理事石田金市(三八)日光館請負人高田政治(四七)の四名の一件書類を詐欺罪で送局した（原、石田兩名は身柄付）而して會長佐藤庸也氏は名義上會長に擔ぎ上げられ實務に關係してゐらず日光館請負人高田政治氏は被害者の立場にあるもので犯罪事實の證明不充分とし檢察局に於て不起訴處分に附される模樣である、原、石田兩名の犯罪事實は次の如く、假面をはがれた日滿博の全貌が遺憾なく描き出されてゐる

原理事長の犯罪內容
石田理事の橫領

更に原理事長、石田理事兩名の個人的犯罪は次の如くである

一、日滿博理事長原侑は五月二十九日大日滿博の金錢出納帳に日滿貿易協會から五千圓借入れた如く裝ふて記帳し博覽會閉會後淸算と同時に其總益金より控除詐取せんと企て

二、六月三日より七月二十六日まで前後十餘回に亘り日滿博所有の六百五十餘圓を記者團及其他關係者の接待費と僞り橫領

三、六月二十七日博覽會所有の六百圓を支部費に送金せるが如く裝ふて記帳橫領、自己の用途に消費

四、七月四日上京中、運動費と僞り三百圓送金せしめて橫領消費

五、七月十日博覽會所有の二百圓を佐藤會長に交付せるが如く裝ひ橫領

六、七月二十三日大連市伊勢町五八番地遲鳳翹なる者に日滿博福券附入場券の賣殘品は自分が引受けると詐稱し晝間券四千枚、夜間券五千枚、價格二千九百七十五圓を賣却した後、賣殘品晝間券三千四百五十六枚、夜間券四千五百四十一枚、價格二千六百二十二圓の拂戾しの請求を受けたが、これに應ぜず財產上の不法利益を得

七、八月二十日齋藤豐次郎外四名の所有に係る入場係賣揚金中より係員緒方スミ(四四)の承諾を得てゐると詐稱し、齋藤宛借用證を認め百二十圓を騙取

なほ原理事長は七月廿三日博覽會計係羽田野龜吉(五二)と口論し鐵拳を以て毆打頭部外數ケ所に約二週間の傷害を與へた廉により傷害罪も含まれてゐる

また理事石田金市は八月六日大正通二七番地大久保正登氏から入場券代金として額面五百圓の正隆支拂小切手を受領し、これを博覽會帳簿に記入せず同行より現金に替へて橫領消費してゐる

無許可福券を賣捌き歩く
沿線各地から詐取

送局された博覽會の幹部は不振續きの博覽會挽回策に頭を惱ました結果八月下旬總額四萬圓福券附入場券發賣を計畫し九月六日磐城町八二番地蘇文斗氏に無許可の福券を所轄大連署の許可あつた如く詐稱し、三百枚引替へに二百七十圓を詐取したのを手始めに同樣手段にて大正通二七番地大久保正登方店員松本長次郎氏に對し五百六十枚引替へに金五百圓を詐取また博覽會事務員西坂巳義を沿線に派し官廳の許可あつたもの丶如く架空の宣傳を以て九月十三日より十七日までに撫順東四條通石原純一氏から四百枚引替へに三百六十圓、鞍山北三條通金城商會こと今村源一氏より四十五圓、鐵嶺松島町佐々木甚三氏より二百枚引替へに百八十圓、遼陽本町佐々木忠雄氏より百五十枚引替へに百三十四圓、合計七百十九圓を詐取してゐる、この外天津曙町河井俊三郞氏外五名から千四百枚引替へに千二百六十圓を詐取せんとして河井氏等から無許可の福券と看破されて未遂に終つた、更に聖德街一丁目荒井傳次郞氏が晝間福券一千圓に當籤せるに拘らずこれを支拂はず財產上不法の利得を行つてゐるなどそのインチキな亂脈ぶりに今更の如く係官を驚かせてゐる

夫君と共に二格姬が英國へ
けさ華やかに鹿島立

輝かしい新興滿洲國の鄭國務總理令孫鄭廣淵氏は美しき夫人二格姬と共に遠くロンドンに留學すべく廿日出帆うすりい丸で晴れの鹿島立の途についた「あちらに渡る前に憧れの日本を是非見て行きます」と前提しながら出發の慌たゞしいうちに左の如く語る

自分は上海のセント、ジョンスカレッヂを卒業しかれて英國に渡りたいと思つてゐたがその素志が實現する事になつた、ロンドン、オックスフォード、ケンブリッヂその三つの大學のうち一つを選んで入學し約三年間ミッチリ勉強をして來ます、專攻は政治經濟學、歸國してお役に立ちさへしたら滿洲國のために微力を盡したいと思つてゐる、自分達はとにかく日本に行つて日本を見た上十一月十日橫濱出帆の照國丸で渡歐の豫定で居ります

美しい親戚の娘さん達の盛んな見送りを受け華々しく「さよなら」をなして行つた（寫眞は鄭夫妻）

妥協し早速値上げ
自動車組合から願出

內訌から組合解散の危機に立つた大連自動車營業組合では監督官廳の調停によつて圓滿妥協成り、其後不振の極にあるタクシー界挽回策としてタクシー料金の値上問題が再燃し、役員會に於て協議中のところ十九日全組合員二十七名連署の下に左の如く賃金變更許可願を大連署を通じ關東廳に上申した即ち

舊市內は四十錢均一を五十錢均一に改め其他主なる地點の料金は値上げとなる、從つて舊市內を基點に老虎灘、星ケ浦は一圓二十錢から一圓五十錢、競馬場一圓が一圓二十錢、桃源臺、平和臺八十錢が一圓、大連火葬場五十錢が七十錢、譚家屯五十錢が六十錢、聖德街七十錢が八十錢其他郊外もこれに準じ大體に於て二割乃至二割五分の値上げとなつてゐる、許可あり次第實施するが十一月一日頃となる模樣である

市會議員候補者　林田學

市會のフエヤープレイを企圖し健全なる空氣を注入す可く惡戰苦鬪して居ます。スポーツを愛好さる丶諸賢の熱烈なる御援助を願ひます

日滿商店總動員の建國祝賀大賣出し
十一月十五日から年末まで　景品は特等三千圓

滿洲國の建國を記念するため大連輸入組合では過般來日滿合同の大賣出を開催すべく計畫中であつたが、最近に至り漸く具體化し大々的大賣出を行ふこと丶なつた、即ち名稱を滿洲國建國祝賀日滿商店合同大賣出しとし大連市內日滿商人を總動員して十一月十五日より十二月末日迄、約五十日に亘り開催

買上高五圓每に抽籤券一枚を交付、五圓未滿の買上に對しては一圓每に補助抽籤券を交付、補助券五枚を以て本抽籤券と引換へ、明春一月八日大連輸入組合樓上に於て抽籤、十日より三十一日迄に景品引替となつてゐるが

景品としては特等三千圓一本、一等一千圓一本、二等五百圓二本、三等二百圓六本、四等五十圓二十本、五等十圓五十本、六等五圓一千本、七等二圓千五百本といふ素晴らしい景品付當籤者總計二千五百八十二本、賞金總額一萬六千圓と未曾有の大賣出を行ふこと丶なつたが該大賣出しは滿洲國建國を記念し、日滿商店總動員の形となつてゐるため大連輸入組合の單獨主催とすることは種々の點に於て妥當を缺くので、これを全大連の催しとすべく輸入組合より大連商工會議所宛共同主催の申込みがあつたので大連商工會議所では來る二十二日午後三時半より役員會を招集し主催者たるや否やに付態度を協議することとなつた

殺人未遂求刑

魚菜業大西喜代藏(四三)にかゝる殺人未遂事件の公判は二十日大連地方法院長島裁判長かゝり開廷、立會池內檢察官は懲役二年を求刑し新野尾辯護人の辯駁論があつた、判決言渡しは來る二十七日

野本部長遺骨歸る

撫順匪賊の襲擊に殉職した大連署員巡査部長故野本高治氏の遺骨は二十日出帆うすりい丸で秋風に吹かれ乍ら悲しい姿で同期生南次郞巡査に護られ懷しい故山新潟に向つた、これに先だち倶樂部に一まづ英靈を安置、警察署員並に市民多數の燒香を受けた後、更に同船甲板上の祭壇に移されたが、この悼ましき時局が生んだ犧牲者に對しては埠頭に集まるもの總てが哀愁の感に打たれた【寫眞は埠頭の遺骨】

無線電話を設置し沿線警備連絡
新京、奉天、安東署に

匪賊のため滿鐵沿線の電信、電話線が時々切斷せられ警備連絡を妨害されるのでその完全を期すること不可能なりといふので關東廳警務局では遞信局の同意を得て新京、奉天、安東の三ケ所の各警察署に無線電話を設置し有線電話の事故障害の發生せる場合のみならず平常もその無電により直に本廳との連絡を維持するため無電線の完成を計畫中であつたが、關東廳遞信技手鈴江靜雄氏と土屋警務部屬は新京の調査視察を終へて二十日午前九時安東に向つたが遲くも來年正月中旬には完成する豫定で該案は七萬五千圓を計上したこれが完成の曉は警備能力と事務連絡に非常な便宜を得るであらう【奉天電話】

遭難兩飛行家けふ朝日社葬

【東京二十日發】東京發日滿連絡直線飛行の犧牲となつた朝日新聞一等操縱士故酒井憲次郞、航空機關士片桐庄平兩氏の朝日社葬は二十九日午後七時遺骸を本社樓上に移し遺族、親族、社員多數參列玉串を捧げ同夜は濕やかに通夜を行つたが二十日午後三時から神式により嚴かに葬儀を執行

南遞相以下參列社の弔辭、全國各方面からの弔電、弔信を披露したがその中には滿洲國總理鄭孝胥、阪谷總務廳長、金碧東新京市長、武藤全權、臼田關東軍參謀諸氏があり、鄭總理その他日滿諸名士等の花輪があつた酒井、片桐兩氏遺族に對し同社では各二萬圓の弔慰金を贈呈した

裏日本就航說を大汽で否定

大汽の裏日本航路就航說が巷間傳へられてゐるが右につき大汽側では全然關知せず高木重役は語る

いかにもやる樣に宣傳されてゐるので困ります、殊に全然考へても居ない事がまことしやかに傳へられては大汽としても面白くありません、全然今のところそんな計畫はない、只人をやつてあの邊を視察に出張はさせたが、これとてこの會社でもやつてゐる事だ、天津丸を就航させる等にいたつては實に困りものだ實は會社でも誰かそんな事を云つたかと皆に聞いて見たが全然知らぬと云ふ事で正しく想像して噂になつたものと考へる

ロシア婦人が天理敎本部へ

廿日出帆うすりい丸で天理敎信者の本部詣の一行百名が赤いたすき掛けで內地に向つたがその中に珍しく只一人の外國人しかも女性が居り奇異な感を皆に抱かせた同女はロシア人でショウエさん(三九)と言ひハルビン馬家街で貸家業を開いてゐるが彼女の語るところによると

自分は天理敎信者になつたのはフトした機緣から夫と共に信仰する氣になりさもに心から信仰の道にいそしんでゐたが、然るに夫は一昨年安心して死んで行つたのでそのお禮詣り旁々あこがれの日本を見るべく特にお願ひし一行に加へて頂いたのです

商業學堂生

大連商業學堂の滿洲國人生徒十五名は增田敎諭引率の下に二十一日出發奉天、撫順、鞍山方面へ修學旅行をなし二十五日歸連豫定である

●●●●對馬會計事務所　計理士對馬林次郞氏は今回市內近江町十一番地に會計事務所を開き一般會計事務並にその登記手續等に應ずると

天氣予報

二十一日

北西の風曇驟雨模樣後晴溫度降る

滿潮（午前一時四十五分／午後一時四十五分）

干潮（午前八時三十分／午後七時四十五分）

各地氣溫（二十日午前十一時）

大連	一八	奉天	一五
旅順	一九	長春	一五
營口	一七		一三

暴風警報　風强かるべし二十日午後一時南滿洲附近を警戒す

けふの小洋相場（十時）　金百圓は一三三圓七五錢

國難日本刀（130）

高桑義生作　京極佳夕畫

?の男（九）

「こりやあ、小松びいきの鼻のつき合せですれ」

「無理はございませんよ、れえ、西國屋の旦那さま……」

たしかな筋の紹介で、客にはしても、西國の大商人――まつ赤な嘘だ――お島は名前も知らないのだ。

「さうかなあ」

「おほゝゝとぼけていらつしやる。でも、小松花魁も、可哀さうですわ」

「なぜだれ?」

「ある異人さんが御執心で、無理往生に往生させられるんですもの」

「そんな噂だれ、異人もよくないが、大體、上役人が惡いのだ。この家なども、異人は、來るのか?」

「いゝえまつぴら、わたくし異人の顔ば見るのも、胸が惡くなるんです。異人さんは、お茶屋へはめつたに參りません。それでも、たまには見えますけれど、手前どもでは、お斷りですよ」

「えらい、それでこそ日本人だ。いつぱい差さう」

と濤次は、お島に盃をさした。

お島は受けて、

「無調法でございますけど……」

「いや、いけさうな顔だ。どうだい、お女將、そのうちゆつくり飲まうぢやないか?」

「結構でございます」

「さうら、すぐに本音が出る。もう一つ行かう。どの位やるれ?」

濤次は上きげんだつた。かれはお島が氣に入つたらしかつた。

「こりやあ怪しからん。人前があるぞ」

「さうでございますわれえ」

「そつちは小松といふ、すばらしいのが附いてゐます――なあ、おかみ」

と小五郎がいふ。

お島はさびしい氣持だが、色ツぽい眼を使ひわけた。

「それはそれ、これはこれ……」

「旦那さまも、存外氣が多いんですこと。いひつけますよ」

「はツはツば……綺麗な者を見れば、誰だつて――さうだらう」

と濤次を見る。

「おかみは一人で、やつてゐるのか?」

と濤次は、ほかの事をお島にきいたところ、小五郎に問ひかけられて、やゝあわて氣味で默つてゐると、小五郎は、

「差しつ差されつ……昔なじみをかこつけに、人前で、さう睦まじくされては、連れて來たわたしの立つ瀬がない。おかみ、此方などうしてくれる?」

「いゝぢやあございませんか、れえ」

「その通り……」

「れツきとしたのが、附いてゐるのを、知らないな」

と小五郎は親指を出した。

「嘘ですよ。こんな婆あは……誰ひとりかまひ手がありません」

「眉つばものだ。打棄つて置く者がないのだ――な」

「まあ、さうですれ」

と濤次も相槌を打つ。

「あら、卑怯ですわ。彼方へべつたり、此方へべつたり、あたしのお味方ぢやなかつたんですの」

「そりやあさうだが、本當の事は仕方がない」

「嘘ですつたら。本當にたつた一人……頼みにならないんですれえ。おほ……お邪魔をいたしました。あんまりぼろの出ないうち、そろ〳〵……」

とお島が腰を浮すと、

「まあ、よからう」

「御酒でございますれ。ほかに?」

「もう二三本、それでいゝ」

「どうぞ御ゆつくり……」

お島は立つた。襖を締めて、ちよつと立ち止まつたが、すぐ足音をさせて、廊下を踏んで――。

（迂濶にさぐりを入れて、藪から蛇を追ひ出すやうな事は……）

とお島は思つた。

茶の間に歸ると、女中に用をいひつけて、お島は手酌で飲み出した。蒼白く澄んだ顔で、ぐいと飲んでは、頬杖をついて、考へ込む。

つめたい雨に、しきりに萩がこぼれてゐる。

時局奉公資金募集の映畫會

大連婦人團體聯合會主催滿鐵社員俱樂部後援の時局奉公資金募集映畫會は二十日午後六時半二十一日午後一時及六時半の三回協和會館に於て開催する、プログラムは入江たか子主演「滿蒙建國の黎明」十三卷を先に寫し、休憩後トーキー漫畫一卷及び「[illegible]へ」三卷を上映する會費五十錢

愛の防風林

松竹現代劇　中央映畫館

久し振りに及川道子の主演作品で相手役は大日方傳、新入社の藤井貢の第一回出演作品で監督は清水宏、原作は林逸馬

スクリーンに描かれたところは甚だモダン風景で、流行物のギヤングまで飛出して尖端の近代風景を取扱つてゐるが、中味は古い新派劇であり、而も新派悲劇のメロ味にまで徹底せず中途半端である

興味のあるのは氣のきいたタイトルと不良少女リリ子（逢初夢子）の戀愛技巧とその相當大膽な演出である及川道子の妻は落ちついた演技振りである、大日方傳の夫は性格がハツキリせず、板についてゐるのは奈良眞養のネオンの錢、結局モダンな都會風景を見るだけで凡てがもう一息といふところで全篇に亘つて突込みが足らない【寫眞は及川道子】

「口笛を吹く武士」

寛壽郎作品　映樂館上映

新進の才人山中貞雄監督と嵐寛壽郎のコムビ物として映畫界の注目を集めた作品である

ストオリは林不忘の原作で、吉良家の附人清水一角の兄、狂太郎が義士を助けて仇討をさすまでを描いた義士外傳である

……◇……

山中監督のメガホンは例によつて明快で映畫的感覺を欲一流の技法によつて鮮かに盛上げてゐる、その手法は巧な畫面轉換に終始してゐる

卽ち例へば一つの酒徳利によつて畫面をダブらして忽ち新らしい場面へなだらかに展開を試み快いスピードを以て物語を運んでゐる

……◇……

たゞ脚色が餘り寛壽郎の狂太郎中心主義となつた爲めに狂太郎一人で義士に仇討ちをさすやうなストオリの缺點があるのと、無聲であるため題名のテーマが强く效果的に響かない憾みがあるが、寛壽郎の作品に映畫的感覺を與へた點は「小雨しぐれ」なぞと共に推賞さるべき作品である

懇親素謠會

日出町觀世流同好有志が集り廿一日午後六時から日出町俱樂部で懇親素謠會を開催、番組は竹生島、小督、羽衣、[illegible]法師、紅葉狩

豆積取日本船飛躍 壓倒的な成績
總數量の四割を占む 歐洲仕向け大豆の激增

昭和六年度の特產出廻期たる十月より本年九月に至る一ケ年間の歐洲向大連輸出の滿洲大豆は既報の如く昨秋滿洲事變突發による滿鐵輸出の杜絶と圓價の慘落による爲替の好轉及運賃關係等で前年度同期に比し二十四萬噸の激增を示して居る、右の如く大豆歐洲輸出の飛躍活況を傳へるや久しく不況に沈淪してゐた內外の各船舶會社は競つて其所有大型船舶を歐洲航路に配し大豆積取に蝟集した內外の船舶は右一ケ年に於て二百六十五隻に及び積取數量又八十八萬六千噸に達し、大連港としては異常の活況を來した、而して是等歐洲向大豆の積取りに入港した各國船舶の積取數量をみると日本船のみに於て全數量の四割を占め英國船三割、獨逸船二割を占め爾餘の各國船が漸く一割に達する狀態にある、從來滿洲大豆の歐洲向け外國船によりて絶對的にその大半を占められてゐたものであるが、本年度の如く壓倒的に外國船を凌駕した日本船舶の進出は最も注目される所である、今各國別に入港船舶數及積取數量を示せば左の通りである(單位噸)

	隻數	積取高
日本	七二	三五九、七一三
英國	七九	二七六、八六〇
獨逸	五九	一六四、〇七三
丁抹	一〇	二九、二五八
瑞典	一〇	二五、八七七
諾威	一三	三、八三二
伊太利	一一	二〇、四〇七
和蘭	一一	五、六七三
佛國	一	一、〇〇六

更にこれを各船會社別にみれば左の如くで本邦社外船の惑星たる山下汽船は單獨二十九隻の滿船物を以て二十一萬四千噸を積取り全輸出數量の二割五分を占めて斷然頭角を現はし內外の船舶會社をして瞠若たらしめ海運界の注目を惹いてゐる

	隻數	積取高
山下(日)	二九	二一四、八〇一
ハンブルグアメリカ(獨)	二九	八九、九一三
靑筒(英)	三七	七九、一七八
北獨逸(獨)	二六	四七、六一五
郵船(日)	二三	三八、四三〇
グリーン(英)	一〇	五五、二二七
商船(日)	一一	三九、七七〇
エラーマン(英)	一一	三九、一〇三
丁抹極東(丁)	一〇	二九、二五八
瑞典極東(瑞)	一〇	二五、八七七
大汽(日)	五	三四、一八一
ペンライン(英)	五	三二、五八四
リツクマー(獨)	四	二六、五四五
ウイルヘルム(諾)	一三	三三、三八二
和蘭極東(和)	一〇	五、六七三
トリエスチノ(伊)	一〇	一三、五八一
ピーオー(英)	八	一六、〇七八
ウー(英)	一二	一五、七五二
國際(日)	一二	一四、七九四
川崎(日)	一二	九、六七六
エツチエム(英)	一	八、二五九
昭和(日)	一	八、〇六一
ノバー(伊)	一	六、八二六
シユヤー(英)	一	四、八二一
ブルスター(英)	一	三、〇一八
エム・エム(佛)	一	一、〇〇六
計	二六五	八八六、二四九

油房季節入り 生產漸增

大連油房聯合會の十月中旬に於ける浮保豆粕の生產高は七萬七千枚にして上旬に比し一萬二千枚の增加を示し、不況に喘ぐ油房もシーズンに這入つて多少息を吹き返す毛配もあるが、日本內地との取引が異常の不振を極めつゝあるに加えて、南支との取引が支那側今回の關稅關係で全く杜絶の姿にあるために、拔許受難の實情にある、今中旬の生產高を各日別に示せば左の如し

	生產高	工場數
十一日	八、〇〇〇枚	四
十二日	七、〇〇〇枚	四
十三日	七、〇〇〇枚	四
十四日	六、〇〇〇枚	三
十五日	五、〇〇〇枚	四
十六日	七、〇〇〇枚	四
十七日	七、〇〇〇枚	五
十八日	一〇、〇〇〇枚	五
十九日	九、〇〇〇枚	六
二十日	一一、〇〇〇枚	五

滿洲の現狀 今が投資の好機
竹內博士の踏査視察談

來滿せる九州帝大教授經濟學博士竹內謙二氏は滿洲國各般の經濟狀況につき調査中であつたが二十日午前十時うすりい丸にて歸東の途についた、船中に同博士を訪へば語る

滿洲に對する投資は今が最もよいと思ふ、滿洲の現在は正に建設期であつていくらでも金が要り用であり、內地の資本家はまだ〳〵投資の餘裕が充分にあるこの際滿洲の將來に期待し滿洲にその經濟的勢力を延ばすなら今が一番よい時である、內地の資本家に金を出さすなら治安維持の恢復前にやらなければ駄目である、それは治安の恢復により人心が安定すれば、お互に打算的になるからだ、何にしても始めからボロイ儲けはない、謂はば滿洲は今教育時代で學校へやつてゐる間は親父がその學資を出さねばならぬと同じである卒業してその兒が優秀な者になるかどうかは別問題で教育時代は金がかゝるのは當然である、滿蒙の資源は豐富だと云つても教育費がなければ果して豫期の効果を舉げ得るか疑問である、投資に關して或る人は財閥からの出資拒否を云爲するが現在の經濟組織形態に於いて一般國民からなけなしの金をかき集めても二三年後にはそれは財閥の手に回收される結果となるから結局同じ事である、たゞ問題は內地の資本家から金を出させる力があるか否かであるが、この問題は猶ほ相當研究考慮の餘地があるのではあるまいか、たゞその金を引出す力、それが目下の問題である

不動貯金決算 無配當繰越し

滿洲不動貯金會社では二十九日定時株主總會を開き本年度上半期決算の承認を求むるが當期は四千五百餘圓の收入に對し支出三千六百餘圓で差引純益金として八百五十餘圓を計上し之れを後期に繰越すが當期利益金處分案を示せば左の如し(圓單位)

▲當期純益金八五五▲前期繰越金一、〇八一(右處分)▲法定積立金五〇▲後期繰越金一、八八五

信託業など未し 單なる視察
佐藤住友信託重役來連談

住友信託常任監査役佐藤重鑑氏は滿洲における金融狀態並に經濟近況視察のため二十日入港はいかる丸で來滿したが、船中最近の內地の經濟界その他につき左の如く語る

今後はどうしても滿洲を知らないで働くわけにはいかない、自分達の仕事としては直接こちらに關係はないが、とにかく見に來たのだ、新京迄、更に出來得ればハルピン迄行く氣だ、自分達のやつてゐる信託事業をこちらにおいて畫業しようなんて考へは全然ない、まだそこまで行くには仲々大變だと思ふ、朝鮮においてすら最近漸く法律として許可された位だ、從つて今度は商賣とは全然關係なしにやつて來たんだ、約一ケ月に亘り視察して朝鮮を廻つて歸る、內地における信託事業はまだ日が淺いがすべて順調に行つてゐる、とにかく銀行などと比較するとまだ〳〵だが信託のどんなものであるかは最近になつて漸く一般化した樣だ、滿洲に何か代理店でも置けと云ふのか、まだまだそこまでは行かない

潘氏內地視察

旅順華商公議會頭潘修海氏は內地商況視察の爲め二十日午前十時出帆うすりい丸にて出發したが神戸、大阪、京都、名古屋、橫濱、東京を經て歸旅の豫定であると

古川電氣發展

古川電氣販賣店では新たに滿洲における販賣網を擴張し新京ハルピン奉天に新支店を設けたが、從つて滿洲駐在員を增加する事となり二十日入港はいかる丸で大連販賣店長武野與三郎氏が來連した

甦生の大連商議に 吾等はかく注文する (二)

端なくも起つた番犬費問題に累ぜられ、遂に辭任を見るに至つた村井、藤田、田村三氏の後任として新たに正副會頭を迎へた大連商工會議所は、高田會頭統率の下に新に甦生のスタートを切らうとしてゐる、高田氏は純乎たる實業家として、夙にその藏する會議所刷新意見は大に傾聽の値ありとし一部から今後の改善を期待されてゐる、この際同所會員議者、取分け新會員有志の要望は理事者及び一般會員諸氏の參考となるべきもの尠少ならざるを信じ、茲に十數氏の理事者に對する代表意見を連載する

新隆洋行主 小澤太兵衛氏談

商工會議所がどう進まなければならぬか、又今回の新入會員が會議所に對してどんな希望をもつてゐるかに就ては高田會頭も輸入組合に關係せられてゐるので十分御存じのことゝ思ふ、新入會員としても高田君が市中商工業者出でありよく〳〵商工業者の事情を察してゐられるのであるからその更生案に就いていろ〳〵よい考へがあることゝ期待し一任の形だ、今迄商工會議所の歩んで來た跡を振返つて見るまでもないことであるが、商工會議所の爲すべき仕事は殆ど輸入組合の手で行はれ、內地から視察に來た連中も先づ輸入組合に歩を向けるといふ風で、而も取引が輸入組合を通じてどん〳〵行はれてゐる、商工會議所に在つて無きが如きでまるで大連市に貴衆兩院といつたやうな別個の商工機關がある有樣である

◇

かくては輸入組合と商工會議所の機能が混同視される虞あり、輸入組合本然の使命に返り、商工會議所は眞の商工業者の機關として活躍すべきであるとの見地から、今回輸入組合を中心として多數の新會員が入會した譯だ、高田會頭がこの間の事情を察し今後相談部といつたやうな相談機關を新設されるといふのは誠に當を得たもので双手を舉げて贊成する、要はその運用如何にある、私が時局後援會の內地遊說に派遣されて名古屋に行つたときなど名古屋商工會議所と市中商人との密接な聯繫振り、また長崎商工會議所の例などを見て羨ましく思つた、大連商工會議所も須らくかくあるべきである

◇

今迄の有樣を見ると會議所はまるで役所と何等變りなく、商工業者は敷居が高くて行けない、市中商工業者の同業組合の寄合などもどし〳〵商工會議所を開放して行くべきだ、えたいの知れぬものに長期に亘つて貸付けるなどは以ての外だ何よりも商工會議所は從來の誤られた點をどし〳〵改革して眞に商工業者の手となり足となり密接な關係に還り、商工業者のクラブであるといふ迄に心安く接觸し得るやうにしなければ嘘だ(寫眞は小澤氏)

撫順明年度出炭 六百六十萬噸
豫想さるゝ好轉諸理由

滿鐵の昭和八年度賣炭計畫は七年度に內地の制限問題や支那の輸入稅課稅問題等の重要問題が起つたので、どの程度に決定を見るか注目されてゐたが、この程商事部において決定、近く重役會議に附議することゝなつた、これによれば出炭額は六百六十萬噸で七年度の六百三十萬噸より三十萬噸增を示し、從つて賣炭數量も撫順炭七百十一萬噸、社外炭二十六萬噸、合計七百三十七萬噸と樂觀的數字を舉げてゐる、かく今年度の悲觀論を排して樂觀論に轉向した理由は

一、地賣において滿洲の景氣回復より需要增加が見越されること
二、滿鐵社用炭は鐵道關係より增加が豫期されること
三、問題の內地送炭量は石炭聯合會との折衝の結果に待たねば判明せぬが滿鐵としては今年の協定數量は下らぬものとし、每年の自然增を考慮に入れゝば多少增加し得ること
四、南支向の打擊は免れぬが今年より惡化することはないと見られてゐること
五、焚料炭は今年豫想外に好成績であつたが明年は更に好調を續け得ると見られること

等である、しかしてかく出炭量の增加は自然、撫順炭礦および鐵道部の營業收入を好轉させることとなるので、商事部としては全力をあげて、この來年度販賣成績の好轉につとめる方針を樹てゝゐる

五品拂込成績 大體良好

大連五品取引所の第二回拂込も十月一日を以て締切たが大體において拂込成績も豫想以上に好成績を示し失權株は極僅かな模樣である、右につき櫻內理事長は左の通り語る

拂込みの成績はお蔭で豫想以上の好成績でした幾らかの失權株は免れないがこれは株主死亡のため相續者が不用意のため失念してゐるとか旅行其他やむを得ぬ特別な事情のためらしいから當所では出來るだけ株主の便宜を圖り拂込期日が切れても直に失權處分などは行はず再三再四御注意をした上に已むを得ぬ場合のみ失權手續をしたいと思つてゐるから此際失念されてゐる株主は出來るだけ早く拂込手續をやつて頂きたいと思ひます

日滿經濟統制案 進まぬ理由
運動の中心がない結果

最近日滿經濟統制案が頻りに講究され、殊には滿洲輸出組合の設立もあり、滿洲の一般卸賣業者もこれに刺戟を受けて大同團結の必要を認め來り、漸く機運の到來を呈しつゝあつたがその後の情勢は依然運動の中心を缺き格別進展の模樣がないこれが主なる原因は右運動に對して輸入組合が占むる立場に鑑み、輸組聯合會において輸入組合を二部制とし第二部において小賣商を主體とする殆ど現在の組合に近き業務を行ひ、第一部に卸商を抱擁して出資組合を組織する一方、これに輸組が現在滿鐵より融通を受け得べき約百八十萬圓を廻して信用貸並に擔保貸の金融業務を行ふことを眼目とする具案を樹てしも、滿鐵よりの融資は極めて望み薄の模樣なることが第一の原因とみられてゐる、次に卸商間においてもその必要は痛感し居るも地理的並に業態の關係上、意見の交換をなす機會少く且利害關係を異にするが多々あるためである、然し日滿經濟統制は必然的に輸出入系統の圈內に觸れ來るべく、殊に內地における滿洲輸出組合は早晩輸入組合や當方面の商工會議所などに對し意見を徵し來り、在滿卸邦商との提携歩調を採らざるを得ない事情にあるので滿洲における卸商の團結も漸次具體化するに至るものとみられ、因に在滿商議においては未だ何ら積極的考究をなしてゐないが、各地輸入組合では現に地元卸商の右問題に對する意向を努めて纏めつゝある

中旬貿易成績 出超千七百萬圓

【東京二十日發】大藏省發表=本月中旬日本主要十六港對外貿易額は左の通りである(單位千圓)

	本月中旬	昨年同期
輸出	四七、三六六	二三、九二六
輸入	二九、五一七	一九、二四八
出超	一七、八四九	四、六七八

黄塵

◇…金福鐵道の終端城子疃と安東とを繋ぐ州外東岸のバス道路が出來さうだ、これは南滿の狀勢の變つた現在としては當然なと、やがて敷設さるべき鐵道の先驅とも見るべきだらう、これをまた滿電が經營を引受けたのも當然である、かうして動く滿洲の事實を如實に見せられて行くのは嬉しいことだ

◇…北鮮終端港が開かれて、わが裏日本一帶が遽に活氣立つて來た、羅津と敦賀、伏木、新潟の各港をつなぐ航路がそれ〳〵の

中央市場改組の大詰劇を觀る (下の二)
負けるが勝ち

今度は殘留組の番だ、既に述べたやうに嚴密な意味において減額といふことはいへぬが、殘留組は小川原案の手前大體あてにしてゐた額より大分減らされた、また內地についても脫退組にのみ出荷奬勵金を認めたとて殘留組に實害や犠牲的の影響があるわけではないが本來なら對等に與つてよいのにその取扱ひをうけなかつた、そこで市と脫退組との間に協定出來たの、市から殘留組に對して山東物や支那物につき四歩の出荷奬勵金を出すとか市取扱ひの委託品についても準鮮、市場、驛間などの小運送をやらせると申入れても容易に耳を傾けなかつたのは一面無理からぬことだつた

◇

それはかりでなく元來殘留組は二重にも三重にも儲かる復興組の現市場が一番好ましいのだ、從つて從來並ふべくんば現狀維持、畢竟阻止を第一方針として進んで來たのだ、そんなわけで交渉は豫想された如く忽ち不調に終つたが、それにも拘らず決裂後、數日にして急轉直下、觀然サラリと讓諸して圓滿に解決したのはどういふ譯か

◇

いふまでもなく場外取引禁止といふ縣令の出ることがハッキリ分つたからだ、といふのは出まい出まいと高をくゝつてゐた縣令が出されば、何人も場外で市場類似の卸行爲が出來ず、從つて市場內における彼等の實力は半平たるものがあるからである、同時に右と全く反對の現象として彼等が市の最後條件に應ぜず飽くまで抗爭したところで縣令發布を阻止出來さうになく、それかといつて場外に走れば大事な商內が出來ぬといふ死地に陷るからである

◇

つまり縣令はこの二方面の偉力を有つてをり、殘留組がこれをハッキリと見通して承知したのも、彼等は市場の組織制度が何であらうと榮へる自信があり、補償金の少し位多い少いは大したことでない沒法子といつた氣持だつたからであらうと思ふ、ともかく殘留組がよく忍從してくれたことは感謝さるべきである、餘談に亙るが、滿洲人のこの沒法子といふ精神は決して弱い女つぽい諦めではない、力ある大度であり我々の學ぶべき長所だ

◇

そこから勇猛心が湧いて出る持久云ひ忘れたが山東物や支那物につき殘留組に支給される四歩の出荷奬勵金は寧ろ當然のものであるといふのはそれらは邦人が一指をも染め得ない彼等の獨占取扱品であり、而も大部分が思惑買付品たる關係上、從來上場困難を極め、今後も何とか市で萬何の方法を講ぜねば上場が非常にむづかしいものだからである、從つて右こそは完全な出荷奬勵金であり、これにより上場の促進を期し得たら意外の捨物だといつてよい

◇

以上記し終つたところにより一說感想を述ぶるならばさしも解決困難を極めた市場改組も遂に成功したのだ、問題が問題とて一面癪にわからぬ無理もあつたが、それらとて大體において論拠を有ち、而もその大部分は何度も云つたやう所謂政策的解決を必要とするところに胚胎してゐる、そして既に濟んだことであり中央市場は今後爲すべき多くのことがあるそこで今後一般に目に角を立てゝいゝの惡いのと議論するのは如何ものであらう、大連市も滿洲の新情勢に適應するやう善處すべき秋で爲すべき仕事が多い、市會あたりでも從來のやうに大した問題でもないのにヤタラに論爭を事とし水掛論に終るやうなことがあつては徒らに疲れるのみで得るところが少からう

◇

最後に小川市長初め關係方面の並々ならぬ辛勞に敬意を表すると共に、かゝる問題の裏面にえて行はれがちだとされてゐる利權取引がましいもの、介入した模樣がないのを書添へておかう(終)

◇…滿洲國の首都新京、今度關東廳でも廳令で長春を新京と改める模樣だ、その新京の此頃、冬期を控へて諸物價昂騰、家賃などは十割方の狂騰ぶりだといふ昨秋の事變前までは空家だらけの寂れ切つたこの地が、歲餘にして此始末だ、來年は軍部、滿鐵方面の建築が勃興する筈、おのづから景氣も素ばらしからう先づ滿洲の人氣は當分新京へ、新京へ。

市況(二十日)

特產 大豆昂騰 買氣旺盛で

今朝の定期は大豆は邦商及外商の買に昂騰を辿り豆粕は相伴ひて小堅く豆油は保合高粱は出廻薄で強調を辿つた

◇定期前場(銀建)
▲大豆(昂騰)單位厘 ▲豆粕(小堅)單位厘 ▲豆油(保合)單位錢 ▲高粱(強調)單位厘 [illegible]

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四九九〇	五〇三〇
普通大豆(袋物)	四八三〇	四九三〇
豆粕	一五九〇	一六〇〇
豆油	出來不申	
高粱	二一三〇	二一五〇
包米	出來不申	

定期喰合高(十九日帳入)

		前日對比較
大豆	四三一五車	一四二車
高粱	一〇三九車	四車
豆粕	二六〇千枚	五一千枚
豆油	五〇〇百箱	―

豆粕生產高(二十日) 一一、〇〇〇枚 五軒

豆

けさ大豆は三井、日清、實隆等の買氣旺盛で昂騰を辿り豆粕は大豆高に伴れて堅り商狀を呈し▲豆油は添はず保合閑散高粱は出廻薄と南支筋の買で強調を辿つたが概して場面は依然閑散である▲日本向は勿論南支向は關稅關係で一向に振はず滿鐵輸出杜絶の際とて歐洲向けのみが期待されてゐる▲但しその歐洲向けと雖もチリ〳〵の商賣で輸出業者もたいして活氣はない樣子▲油房助成金が廢止さるれば一段と油房はやり切れまい

錢鈔 爲替軟調 當市踠り

今朝日米爲替は第一回十六分の一安の二十三弗八分の三、第二回同事、第三回更に八分の一安、米日も六仙安の二十三弗五十仙を入れたので當市強調を呈す、銀塊は倫敦近物八分の一高、先物十六分の三高、紐育同事、孟買四分の三高にて標金弱保合、滬申七十四兩八七五、滙灃七十一兩八五〇、大洋九十五圓丁度

◇定期前場(單位錢) 出來高期近二百七十二萬圓 [illegible]

◇現物前場(單位錢) 出來高(銀對金 六萬五千圓 銀對洋 三萬三千圓) [illegible]

銀

今朝日米爲替は第一回に十六分の一を下げたのち▲第三回に更に八分の一を下げ二十三弗四分の一となつた▲中旬貿易は大した材料とならないし外にさしたる材料も豫想されぬので多分上海日本向け爲替が惡かつたためであらう▲そこで當市も昨後場止に比べ十錢高乃至七十錢高でさかく上げ過つた傾あり商內も亦閑散だつた▲その後市場新築の問題はあまり氣乘らぬのか、別に進捗した模樣も見えぬ

株 內地株强調 當市も漸騰

北濱定期の前場寄は大株六十錢高大新四十錢高、鐘紡一圓高、鐘新九十錢高と強調を示したが引は大株三十錢安、大新二十錢安、鐘紡三十錢高、鐘新三十錢安と區々な入れ東京短期の東新は一圓二十錢高に寄り當市定期の五品は五十錢高、延寄四十錢高、引二十錢安、新豆、錢鈔も堅り東新は一圓六十

けさ北濱定期の寄は諸株共小一圓高東新も一圓揃み高と強調を入れ▲當市もこれにつれて地場株はいづれもヂリ高商狀を迪つた▲內地株も一氣に走らず穩健な歩調で相場としては申し分のない足取りである▲米大統領の選舉や國際聯盟の案じから積極的な出動を警戒されてゐる丈けに一本調子の奔騰を示さないが相場自體は可なり鍛錬濟みであり良い氣味となつて來た

糸

米棉情報はリヴアプール高を入れて初め騰貴したが其後南部の賣りで引緩み引際更に株式高につれ反撥したとあり▲現物十ポイント高先十一二高を示し大阪三品は各限二三圓方の昂騰を入れたが當市は氣迷ひ買氣添はず閑散▲麻袋は產地市況底入れ模樣なると弗々奥地方面よりの實需買氣崩したるため氣配硬化し相當商內も活況を呈した▲滿洲國方面からもそろ〳〵買付けて來たらしいから當市もいよ〳〵底入れかと思はれる

前場 ◇定期(單位十錢) 銘柄 當限 先限 [illegible]

錢高に寄り引は內地ボンヤリを入れて八十錢安に引緩んだ

商品 綿糸も昂騰 麻袋硬化

●麻袋 產地情報鐵青共四日高日印爲替二留比高米日六仙安引締り商狀當市はカルカッタの底入れ模樣なると弗々奥地引合さ有れば氣配は好調しへ値は現物三十五錢八厘當限十五錢九厘三月三十五錢八五錢五厘十一、十二、一月

●綿糸 米棉現物十ポイント十五ポイント高と昂騰米日六安大阪三品は各限二圓二、六十錢高と寄付き更に小一圓方引締りと引けた當市は一向不氣乘の爲閑散

上海爲替情報

【上海二十日發】投機筋は米英クロスの續落につれ他の爲替も追從するものと見なして圓賣氣となる標金は銀の動きにぶきもアメリカの株式棉花高のため安寄りアト中央銀行の圓賣り現物買を見越して突込みしも大した商內なく弗は投機筋及日耳義の賣りに對して花旗よく買ひ三十弗八分の五出來値段は投機筋賣り氣十二月九片十六分の九買手保合、圓は商館筋の賣り戻し以外月末接近のため外國銀行が日本內地におけるポジションのカバーさしての賣物ありて強く七十七兩二分の一賣手より七十六兩八分の五まで商內出來た

上海標金

寄値	七三一兩〇
高値	七三二兩〇
安値	七二九兩八
止値	七三一兩一

ルンペン群

忍耐力が足らぬ

眞劍に働いて喰ふ氣なら不景氣でも働き口はある

勞働保護會に聽く

滿洲へ！滿洲へ！とまるで黄金の實る木でも生えてゐるやうに僅かの旅費を工面して内地を飛出して來る無鐵砲な青年や失業者は今日でもなかなか後を斷ちませんが、この人達の中で幸ひに望みかなつて仕事にありついた（それもほんのパンを得るだけの程度でせうが）ものはその中の極少數で、大多數は就職の見込は立たず所持金も使ひ果し、身につけてゐる少しでも金になりさうなものは

▼…次から次と金に代へてパン代に當て、それも失くなつてしまつて飢餓に苦しめられ遂に警察に泣きついて來たもの、又は困り切つた揚句惡いと知り乍ら盗みを働き司直の手に擧げられた不幸なルンペン達のうちで、内地へ送りかへされないで松林町の勞働保護會に保護されてゐる人がこのごろでは大抵十五六人を下りません、一日記者は同會をたづねて十數年來私財をなげうつてこんな不幸な人や失業者、よるべのない老病人などを世話してゐる會主永井氏からいろいろなお話を伺ひました

▼…内地から 來る人達はどうも忍耐力が足りないやうです、これは日本人通有の短所かも知れませんが、あまりに功を急ぐ結果何をしても永つゞきしないのです、あの力行會だつて昨年あれほど華々しく旗あげしたのに今では僅か三人しかゐないといふ有樣で、こんな風では到底商賣熱心な支那人と對抗して行けるわけがありません、先日來俥夫問題がやかましく云々されてゐますが俥曳だつて何だつて自分の額に汗して働くのに何の恥かしい事がありませう、日本人は先天的に體力が支那人より劣るから苦力のやうな仕事は出來ないと思ひこんでゐる人もありますが、これは大變な間違で日本人の方が支那苦力よりはるかに能率をあげてゐる事實も私は澤山知つてゐます、唯だ樂をして澤山金を儲けやうといふやうな

▼…虫のいゝ 量見をすてゝどんな仕事でもいゝから自分で働いて御飯を食べたいと眞劍に願ふ人ならいくら不景氣だつて相當働く口はあるものです。私は檢察局や警察から託されて來るルンペンに對して先づ「遊んでゐろ」と申します。寢るにふとんがあり、飢えぬだけの食物があたへられてゐてそれで彼等は暫くの間ブラブラしてゐます、しかし三四日もたちますと健康な體を持つてゐるものには毎日ブラブラして何もしないでゐるのがたまらなく退屈になつて來るのです、退屈になつたつて一錢の小遣もない彼等（私は小遣はやりません）には活動見に行くことも出來ねば煙草一本吸へない其處で彼等は

▼…自發的に 働かうといふ氣になります。そうして本氣で働きたいと願ひ出て來れば何とかして仕事を世話してやり、そのお金は全部彼等の自由に使はせますが、これを積立てゝ行商の資本にしたり、内地への旅費に貯金したりする者もあります。先頃から一日三十錢で入用の家庭にいろいろな手傳にさし向けてゐますが、今まで支那人を傭つていられた家庭でも大變よろこんで下さつてこのごろの樣に大掃除や障子の張替などが多いさなかなかなか人が足りなくて困つてゐる有樣です、勿論使はれる人が支那人以上によく働き重寶がられるやうになり謙遜な氣持で働かねばなりませんが、お使ひになる方でもなるべくなら支那人の代りに日本人を使つて頂きたいとせつせつ希つて居ります【寫眞は同會にて】

美容漫談

◆…色の黒い白いを問題としなくなつたこの頃の化粧法はどういふ事を頭に置いたら一番よいだらうか、地肌の美しいことは化粧の根本となる事に違ひない、しかし考へようでは化粧の目的から外れて皮膚の衞生、清潔といふ事の範圍にも入れられる。

◆…たゞ美しく……といふのならお金のある人は美容院に顏を預けておけばよいし、それが出來ない人は他人から教はろか、美容の記事を讀んでその通りにすれば事足りる、しかし新しい時代の息を吸はうとする女性が漫然と美容師の書いた記事を眞似てそれで時代の空氣と果して釣合ひがとれてゐると思ふならそれは甚だしい矛盾であらう。

◆…考へてごらん下さい、新橋名妓や祇園名妓のあの洗練されたお化粧美が、どうして今の世の中を風靡する顏にならないのだらう四角のおでこで、しやがれ聲のデイトリツヒやお團子のやうな顏をしたマーチン等の顏に近代的魅力といふものを感じてゐる現代だ。

◆…それに相應しいこの頃のお化粧といふものを、一言でいふなら、それは「目的を持つた顏を作れ」と申したい、この言葉をもつと解りやすくいへば、生きてゆくことを喜ぶ顏であり、生活を樂しむ顏であり、そのうへに働くことに感謝する顏である。

◆…卽ち美容の第一は塗つたり、描いたりする事よりも「内面的生活の自から顏に漂ひ出る氣分」「雰圍氣」に重大要素がある。

家庭顧問

生れた時から下に前齒が一本、放置してよいか

【問】生後一ケ月の幼兒ですが生れた時から下の前齒が一本生えて居ります、何か不吉なことがあるやうに聞いて居りますが放つて置いてかまひませんか？子供はいたつて丈夫でございます、尚この齒は大きくなつたらどうなるのでせう（心配の母）

何ら不吉なこともなければ心配もいりません

日下卓四郎

【答】生れた時から齒が生えてゐたとて決して不吉なわけではなく昔からつまらない迷信です、しかしこれは齒の發生する時に齒芽や齒囊が表面に迷ひ出て其處だけが異常に發育したのですから殆ど根がなくてさわればグラグラするものが多いのです、もつとも稀にはしつかり生えて出る齒もないでもありませんが齒根がしつかりしてゐなければ放つてゐても二三ケ月もたてばひとりでに脱けて來ます、脱けたあとは永久齒が生え出る迄は生え代りませんが一本位なら生えなくても不自由はありますまい、若し放つて置いて授乳や其他の邪魔になるやうでしたら齒科の專門醫に拔いてお貰ひになればわけなく拔けますから何等御心配は要りません

小さい兒童にジフテリヤ流行

お母さま方で注意を

▼…これから冬にかけて猩紅熱とかジフテリアといつた小兒にとつて恐るべき傳染病が流行して來ますが、最近小學校の低學年生の間にジフテリアがポツポツ出てゐるやうですからお母さま方は斯んな注意が肝要です

▼…ジフテリアには六歳位までの幼兒殊に始終風邪ばかりひいて咽喉を害してゐる樣な子供が罹り易く、患者の着物とか、玩具、家具などの媒介によります、菌の潜伏期は普通一週間から二週間位ですが、早いのは二、三日で發症を起します、症狀は初めのうちは風邪ひきと全く同じで頭痛をうつたへ、食事の場合咽喉が痛み、食慾が減り、倦怠を感じ、呼吸も吸ふのが多く且つ荒くなり、例の犬の遠吠のやうな特異な聲を出します

▼…ジフテリアは菌よりも分泌する毒素の方が有害なのですからその毒素を中和さへすればよいわけで一刻も早く血清注射せねばなりません、手當てが遲れるとジフテリア後痲痺といつて手足の運動が思ふやうにできなかつたり、軟口蓋痲痺といつて鼻聲になつたり或は毒素のために視神經を冒されて斜視となる場合もあります

▼…こゝに注意しなければならないことは注射によつて危險狀態から逃れる事ができたにしても病後腎臟炎、心臟痲痺、中耳炎などを併發しやすいのです、血清注射をやつたら親は必ず何日にやつたといふことを判つきり覺えておいて戴きたいのです、でないと一度血清注射をやりますと過敏症になり、再びジフテリアに罹つて注射した場合、危險狀態に陷り頓死することがあります、二回目の血清注射は一回目の日から十日以内に行へば危險ありませんが、二週間經過した場合は危險です、然し二ケ月以上も經つて居れば危險は無いものです親の方で何日にしたと判つきり覺えてゐて下されば危險を防ぐ方法があるので何回やつても心配はないのです

▼…次に家庭に患者ができた場合、隔離する事は當然の事ですが傳染を防ぐ意味で豫防注射をすることも一方法です、それに弱い子供はオキシフルの嗽ひをさせて下さい、そして出來るだけこれから多勢の子供たちの集まる所は避けることです（澁谷博士談）

滿洲婦人歌壇

廣瀨珠代

○たへがたき時のきざみなり白砂の渚邊軍々ひとり歩みつ

○秋の雨こまかく降れり此の朝人影もなく道はしめりて

○女子の樂しき集ひゐがきつゝ行かれざる身をうら嘆くなり

○我が歌の評されゐる樣しのばれて胸の動悸の高まるを覺ゆ

○次々に職やめし人多くなりて殘りたる友大人びにけり

お台所のメモ

酢づけ

小魚は頭ごと白燒します、ひたひたの二杯酢をつくり、一晩その中につけておきますと、骨も頭もみんな軟かくなつてとても美味しくさつぱりと頂けます。

キャベツ巻

腸だけ出した小魚を其儘すつかりたゝき潰し、鹽と胡椒と、古生姜のおろしたのを少々入れておきます、キャベツの葉は大きいまゝざつと熱湯をくゞらせしなやかにして今のすり味を包みます、深鍋に並べてひたひたの水をさして三十分位煮、普通のソースをさして又煮込みます。

バタやき

頭だけ去つた小魚を開いて（骨はそのまゝ）鹽をうすくふり、酢にひたして置きます、暫くしてから酢を拭いてフライパンにバタを溶かし、魚を入れて兩面を狐色にやきます。

滿日各地版

討伐に恐れた匪賊 續々歸順出願

王殿閣以下四百名の匪賊團 營盤で嚴かな歸順式

【撫順】東邊道の匪賊大討伐に縮み上つた附近の大小匪賊團は目下手段を求めてわが軍門に歸順を出願し來てゐるが、かれて當地東北方瀋海線營盤附近を根據地として瀋海線の鐵道、鐵橋、列車、電信線等を破壞したり暴威を揮つてゐた匪首李春山部下の中隊長王殿閣以下四百名も歸順を申出てゐたので十八日川上撫順守備隊長、小川憲兵分遣隊長以下は營盤に到り同地富豪張興周氏其他地方有志立會の下に元瀋海鐵路護路軍本部前にて嚴かなる歸順式を擧行し、匪賊等は所持の銃器全部を提供して歸順を誓ひ夫々本籍地等に歸ることゝした

歸順勸告を希告

【奉天】匪賊招撫と治安恢復を目的として組織された奉天全省治安維持會は民政廳長閻傳紱氏が委員長に就任し各縣長を分會長として積極的工作を開始したが同會では全省の匪賊に對し歸順勸告を布告した

奉天省は大兵を動かし支那日本軍と協力して匪賊を包圍討伐中であつて匪徒は一人も免ることは出來ないであらうが匪徒にして過を悔ひ新生活に入らんとするものは親友二人以上の保證を以て家族と共に最寄り警察機關に歸順を申出づれば縣公署より歸順證を交附して生命の保障を爲すべし

鄧鐵梅のために慘殺された六人

その原籍と略歴

【鳳凰城】鄧鐵梅歸順交渉と二十名の邦人人質救出のため本月十日鄧の本據龍王廟に向つて當地を出發し途中當地西南方約十里の地點刀窩堡の後方牛圏子溝の山中に於て鄧鐵梅のため慘殺されたと傳へられてゐる六氏の原籍及略歴は左の通りである

大分縣下毛郡和田村一千八十六番地 鳳凰城署勤務 關東廳巡査 賀門與市(三十三歳)
大正十五年八月二十八日關東廳巡査拜命、同年十二月四日附小崗子署勤務、昭和七年八月十一日附鳳凰城署勤務となる
大分縣中津市二百四十八番地 鳳凰城署勤務 關東廳巡査 藤井 實(二十七)
海軍出身、昭和五年五月二十九日關東廳巡査拜命、同年八月二十七日附安東署、昭和七年七月

香川縣三豐郡觀音寺町 三十日附鳳凰城署勤務となる 警務局指導官 白井成明(廿九)
熊本市船場町二丁目ノ一 鳳城縣參事官 友田俊章(廿九)
熊本市春日町六四三 縣公署秘書 西辰 喜(二十六)
滿洲國人 鳳城縣秘書兼通譯 劉大周(三十)

四百の匪賊歸順式 わが川上隊長訓示 營盤にて

人質から 小前氏歸る

【鞍山】去る八月十四日瀋海線に於て大倉組下請負として工事に從事中匪賊に拉去せられた鞍山北二番町一丁目小前才之進氏はその後友人田中某氏等の盡力により一千三百圓にて相談纏まり歸還の豫定であつた所恰も東邊道匪賊大掃蕩に出會ひ頭目以下全部歸順するに至つたので何等の條件も附せられず全く無事還り十六日午後十時四十分着列車にて歸鞍した、家族はもとより友人知己の喜び一方ならず目下自宅で静養中である

湯崗子と鞍山間に 自動車道路を開設

認可あり次第に着工

【鞍山】湯崗子、鞍山間の自動車道路開設は屢報の如く千山、湯崗子居住者から夏季に限らず屢々匪賊襲撃を受けた事實に鑑み軍部其他各方面に對して警備上是非該道路開設を嘆願する所あり、地方事務所並に警察署は管内の警備並に施設上何れの方面より觀るも切實に該道路開通を希望し鞍山小野寺地方事務所長は過般來遼陽縣廳、奉天を頻繁に訪問極力之が實現に努力し其效あつて遼陽縣、海城縣等は快く承諾したので鞍山製鐵所矢野工作課長の實測設計になる計劃書を十九日湯知事に送附し奉天要路に向つて縣の嘆願書が提出されることになり千山、湯崗子方面はもとより鞍山各方面多年の切望であつた鞍湯間の自動車道路は斯くして實現の運びに至り警備上は勿論溫泉を控へて鞍山の殷盛便宜上非常な效果を收むべく認可あり次第來月上旬から直に工事に着手する豫定であると

安東の公費滯納 五萬圓突破

公共施設の維持困難

【安東】安東地方事務所區内に於ける戸數割、雜種割の滯納歩合は沿線中最高位にあり九月末に於ける滯納額一萬三千七十圓を示して居り、これに加ふるに過年度分三萬七千四百七十圓もあり各公共施設の維持困難に逢着しつゝある、現に角毎月平均の所要經費(二萬四千圓)すら納入不足で今後に於ける圓滑なる經營發達は到底望まれず已むなく中止される破目に陥るものと憂慮され、九日の手許金約三萬四千圓も毎日の不足額を補充する事となれば十一月一杯で皆無となる爲め當局としても近く全員あげて滯納金督促行脚に出掛ければならぬ模樣である

五十川通譯の葬儀を執行

【遼陽】某騎兵部隊の通訳として得軍し遼陽城東大安平附近に於て匪賊の大集團に包圍され、遂に戰死を遂げた遼陽在住五十川七造氏(大正七年徴集歩兵一等兵)の本葬は騎兵部隊と遼陽時局委員會の合同で廿二日午後四時公會堂に於て執行の事に確定したが同氏を斡旋した大矢株式會社は葬儀費にと金三百圓を、駐兵部隊からは二百圓、在郷軍人鞍山支部長からは五十圓を送つて來たと

滿洲神社奉建 運動準備進捗

【旅順】滿洲神社奉建會委員は過般旅順市役所に於て協議會を開催の結果當初の原案に對し多少修正する處あり又重要點たる基金募集方法に就ても前勢に順應し適當なる改變を施す處があつたが十八日書類の淨書を了つたので十九日改めて關東廳に提出するに至つた、尚近く武藤長官の來旅を機會に從來の經過並に今後の方針に就き委細報告を爲す豫定であると

人質卅九名

永建城沖合の海賊團 人質から歸つた男の談

【旅順】山頭會大甸子屯十戎克艦長周廣明(三)は客月三日永建城沖合にて海賊の爲め人質として拉致されその後三道溝にて百五十石積の戎克艦に監禁されたが同艦に乘つてゐた海賊は合計六十名で人質が三十九名居りいづれも身代金二萬圓を強要されてゐた、然して其後本月十四日に至り周廣明の番頭が該賊艦に赴き直接交渉の結果大洋千九百圓で話が纏まり同日直に營口に到り即日同地を出發旅順に來た、處が極度に疲勞してゐたゝめ水師營に一泊十七日漸く懷しき我家に歸宅した事が判明し十九日佐藤警部補右當時の狀況聽取のため山頭會に出張した、尚本人は監禁中迫害を受けた爲め全身數ケ所は赤靑く腫上つてゐる、本人は語る

賊團は約六十名位で百五十石積の戎克船三隻、飯三十隻を有し自分が歸へる際は人質として三十九名ばかり監禁されてゐたその中二名は耳を切り落されいづれも千五百圓乃至五千圓の身代金を強要されてゐた

鹽田の協同調査

日滿調査團實地踏査

【大石橋】滿洲國實業部鹽務署二外滿鐵關東廳職員を以て成る日滿協同鹽田調査團一行九名は昨十六日瓦房店より來蓋平附屬地滿鐵俱樂部に滯在中であるが十八日は早朝より營蓋鹽田地帶の實地踏査を爲したが同地滯の鹽田は滿洲國各省の需要を充たすは勿論南支方面にも輸出其の將來の斯業のために相當期待に價するものにして今回一行の實情調査も其の第一段かと見らる

鮮農に救濟品

【鞍山】鞍山時局婦人會に於て避難…

新版芝居小説

讀書界に投じた大波紋―キング十一月號に新掲載の小說『盛綱首實檢』は加藤武雄氏が燃ゆる如き熱意を以て小說化した傑作で近來にない大評判を捲き起して居る。

撫順人一ケ月の 支出三萬圓

撫順戸數の二割が加入し 講會の素晴しい發展

【撫順】撫順に於ける講會の發展振は近年素晴らしいものがありその大掛りなものは一講會で五千圓七千圓といふのもあり撫順人はこゝもとこの講の掛金だけでも月々三萬餘圓を支出してゐるといふ有樣だから全く大したものである、即ち今撫順警察署についてこれを見るに去る昭和四年四月以降現在まで創立された講會は全部で三十六組、そのうち六年末迄終了七組本年六月迄で滿期終了したもの五組計十二組を差引き現在續行中のものが二十四組(うち滿洲人一組)ある、これ等は年内に六組、明昭和八年中十二組、同九年中六組といふ風に滿會となることになつてゐるが、一組が濟む毎に新しい講會は次々と創立されてゐる狀態であるのでこゝ數年間は例へ多くはなつても現在より少くなることはあるまい

そこで更にこの二十四組の内容即ち掛金別や加入口數などのそいてみるに先づ掛金は毎月一口百五十圓といふのが最高で最低は同三圓といふのもあるが列擧すると毎月一口百五十圓二組、同百圓三組、同五十圓、同四十圓各一組、同三十五圓二組、同三十圓六組(うち毎日一圓掛二組)同二十圓四組、同十五圓二組、同十圓、同三圓、同大洋十元、各一組といふ如く相當多額の講會が多く從つて加入者等の苦勞の程もうかゞはれるさいふものだ(尤もわざ〳〵安い金利で纏まつた金を得るためや人助けに加入してゐる人もあるが)序に加入者の顏振れはといへば一組百人の講會が二組、五十人一組、四十人五組、三十五人七組、三十人八組、二十五人一組、合計加入者總數八百六十人といふ多數でそのうちには一人で二口三口を持ち重複してゐるものもあるので實際加入者は多少少くはなるがそれにしても八百人といへば撫順附屬地同戸數の二割に當るわけでこれだけの撫順人が毎月々講の掛金に苦るしめられてゐるのかと思へば近頃さみに活氣がなくなつた撫順經濟界の內面が解るやうな氣がするが、殊にこの二割の顏觸れたるや滿石は毎月々五十圓百圓百五十圓といふ多額の掛金を支障なく掛け込んでゐるだけあつて上は市內一流の資產家から下といつても何れも中流以上の紳商ごころと來てゐるから益々上記の氣持が裏書きされる

ところで掛金も多く加入者も多い大掛な講會としては昨年末で濟んだ講主市內某菓子商一口百五十圓掛け手取金七千五十圓を最高に次は本夏滿會の五千五百五十圓、四千圓等で目下續行中のものでは御船講の五千百圓、大隈講四千五百圓何れも百五十圓掛外百圓掛け三組各四千圓等がそれで全體の一ケ月掛金を計算すれば以上五組の二萬三千六百圓と其他を平均一圓三十圓掛の三十口として十九組で一萬七千百圓、合計三萬七百圓さいふ巨額に達してゐるのである

撫順署の鮮農 保護隊歸る

【撫順】去る三日以來鮮農現地保護のため東社に出動中であつた撫順警察署鈴木警部補以下旅大兩署の應援警官隊二十名は、滯留中別狀もなく鮮農等は已に刈入れ搬出を終つたので十六日朝鮮農等の收穫搬出馬車三十臺を護りつゝ同日正午無事任務を果して歸署した、尚同署ではこれと交代して瀋海線…

鮮農の刈入れ

【大石橋】當地鮮人金武鍚及崔仲連の兩名は蓋平縣第四區江塔子(當地東南方一邦里)に約三天地餘の水田を耕作しありたるが本年は極めて順調に生育し一天地に付き收穫三十五石を豫想せらるゝがこれが刈取りの時期に達したるを以て昨十七日より滿洲國人十三名の應援を得て五日間の豫定を以て刈取りに着手した、而して之が保護對策に關しては該耕作地村長に依賴し自警團二十名及び村民の應援を求め一方萬一の場合は當地日滿官憲に速報應援する事に成つてゐると

…撫順驛着(應接室にて一般面接)撫順神社及表忠碑參拜、守備隊警察署憲兵隊訪問、撫順病院に匪賊のため負傷せる加藤東鄉坑外係主任、佐藤老虎臺勞務手並太田巡査を慰問、製油工場及古城子露天堀視察、炭礦ホテルにて官民招待(午後六時三十分)同ホテル宿泊、撫順驛發

林滿鐵總裁 撫順の日程

【撫順】林滿鐵總裁は大濱、河本山崎三理事同伴西脇秘書役其他を…

旅順放送

▲池内爲仁會主事病氣辭任の爲舊大連刑務支所長大森眞信氏後任となつたが十九日關東廳へ新任挨拶に出頭
▲滿洲國入りの爲め辭任の關東廳村上久米二郎氏は二十日午前六時四十分離旅赴任
▲目下內務局長事務打合せの爲十九日午後四時半發奉天へ
▲關東廳警務課土屋警部は十八日發安東線へ
▲旅順商工協會では近かく旅順商工業者人名錄なる小册を調製し母國及び奥地方面からの來遊者關係方面へ頒布する由で目下左座主任は鋭意編輯中である
▲本年八月七日黃金海海水浴場道路上に於て三名の支那車夫に對し恐迫金錢を強奪した犯人魚屋與四春に對し高井檢察官は十九日犯人並に書記を帶同來旅旅順署吉田訊問主任と連絡の上實地檢證を行ふ處があつた
▲十九日旅順高等法院上告部では強盗深川兼利事深川金利、無線電信取締規則違犯大原豐保、同伊藤斐雄、強盗關相德外四名に對し事實審理の結果いづれも決審さなり判決は二十六日云渡しを宣し閉廷した
▲中村町八瀨野平治氏方では十二日次女愛子嬢が出生
▲土屋町二柿沼益氏方では二十七日三男武文君が同上

會と催し

▲撫順で結髮講習會【撫順】炭礦庶務課では來滿中の本邦結髮界の第一人者たる東京伊賀トラ子女史を聘し二十一日午前十時より午後三時まで永安臺倶樂部に於て髮の結方と服裝の調方講習會を開催する由
▲撫順醫學會支部例會【撫順】醫學會撫順支部例會は二十日午後三時半より撫順醫院講堂に於て開會左の如き講演がある
一、撫順に於ける「ワイル氏病の二例」 木村 祐三
二、齒齦切斷法に就て 酒井 肇

沿線往來

▲新任撫順滿鐵醫院眼科醫長高太郎氏は鞍山醫院より十八日着任即日市內關係方面を歷訪挨拶した
▲マニラに榮轉の笠原副領事は十八日午後九時半發赴任の途についた
▲劉憲京氏(大同學院第一期卒業生海城縣配屬)十七日海城縣公署着任各方面歷訪挨拶

白塔便り

遼陽にも後れながら麻雀倶樂部が出來たやれば家族に迷惑をかくる、一定の料金で一夜樂めるとは結構なことではある▲遼陽も悲觀論を唱へたり揚げ足とりを考へたり他の目論見ろことに腐くせつけたりせずに先づ相互が生活し得る樣に考へ及ばせればならぬ所謂持ちつもたれつだ▲利己主義と自我は禁物である、それは徹底だ、互讓だ、働く者に働かせて支援することだ▲滿洲國の發展が實出された同國人のみならず日本人にも可成り實込んで居るのも日滿人の共存からである▲遼陽の現在は徒らに蝸牛角上の爭ひする時ではない

この苦心、この美擧

馬占山討伐隊員手記(五)

本稿は北滿の曠野で降雨さ洪水さ泥濘さ蚊軍さ戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

衛生部員の苦心

突如出動命令が下つて海倫を出たのか七月十六日の正午であつた折柄雨で行軍は相當に骨が折れた其日の內に正白旗二井に至り翌日早く正白旗六井に着いて同地附近の警備に就いた、雨は底なしに降つて何日晴れるとも思はれない、其間にも斥候は全身ずぶ濡れになつて馬軍の發見、地形の偵察に餘念もない。

七月二十四日夕木村特務曹長斥候に依つて馬軍が發見された、然も東方に向つて移動すると云ふのだ、大隊は忽ち兵を集結して六井東方約六里の劉家店といふ一軒家附近に陣地を敷きて馬軍來れかしと手具脛引いて待つて居つた。

二十六日の晩は陰鬱だ、雨が降つてゐる、然し火を焚くことも動くことも許されない、蚊は攻めて來る、雨は襟から腰から浸入して來る、不平を云ふ者はない、皆我慢した、それで風邪を引いた者もなく今迄下痢を苦るしんで居た者も癒つてはいない、氣が張つているからだ、そう云へば六井出發の時兵力寡少なりし爲め輕症患者も同行したが之れは杞憂に過ぎなかつた、併しそれは非常に心配だつた即ち彼等も又最後の馬軍殲滅地迄ひた押しに押して行つたからだ。

二十七日の午前九時敵現はるの警に我々一同は頓に緊張を覺へた、廣い平地、波狀の草原は一寸海にも譬へられ「日本海々戰の敵艦見ゆ」との報にも喩へる事が出來たのは過迄我軍に味方し馬軍を矯正する神の攝理としか思へないことで馬軍は大隊の火網内に引入れられて再び立つことの出來ない打撃を受けて敗走した、其の樣は眞に痛快おく能はざるものであつた、大隊は之を追撃すると踵を接する如くであつた、加ふるに濕地通過山林地帶(滿洲で山林など一寸想像してゐなかつた事であるが)追擊は殆ど大木と雜草とで道も無い所が多かつた、第一に劉家店南方の濕地で日本馬は皆動けなくなつてゐる、大隊長以下皆支那馬だ、この戰鬪で我軍には損害がなかつた、それだけでも大きな喜びであると同時に武勳赫々たるものがあつた、追擊が急なれば急なるほど衛生部員の骨折も一方ではない。

安古鎭の濕地では第五中隊の下田上等兵が左臀部に貫通銃創を受けたが元氣は一寸も變らない、處置をして來る間に大隊はもうドン〳〵前進してゐる、附添ひに第六中隊の初年兵が一名殘つてゐるばかりである、後から大隊の豫備隊が來るのでそれに負傷者の運搬を依賴することにし向陣合と馬一頭を置いて大隊に追及した、これは翌日になつて傳令が歸つて來ての報告であるが傷者は馬で第五中隊の位置に運搬し家屋內に收容したことを知つた、この傷者は三十日劉家店にて大隊に合した。

水に入つた者もある、馬軍の逃げた跡は軍服さか馬具兵器等が捨てゝある、これを賴つて進んで行けば道を間違へずに大隊に追及する事が出來る、我々衛生部員は運れたならばこれに賴ればよいと考へてゐた。

幸ひにも晝間には落伍する者もなく追進した、山林地帶に入つて今度が初めての初年兵が一名疲勞の爲めに倒れた、其の外にも落伍するもの三々伍々現ばれるに至つた、衛生部員がこれを收容して居る間にも大隊はドン〳〵追擊してゐる。

山中の日暮は早かつた二十七日も既に暮れんとしてゐる、日のある中に大隊に追及したいと患者を勵まし乍ら濕地と山路を健脚にまかせて歩いた、その中に日は暮れて來る、患者は歩けなくなる、せめて患者を家屋內に收容せんものとあせつたが、家屋は勿論その夜食する糧食も無いのだから心細い事に角明ろい間は歩けるだけ前進することにして宇數君輔兵は勇敢に己の疲勞も意とせず患者を背負ふ、既に自分一人も容易ならざる路を逐進した、併し今は暗黑の

夜が訪れ敗殘兵の危險があるので路傍の木の下に露營することにした。

この時衛生部員と患者並に護送者を合して十三名である、忽ち前方から馬が四、五頭現はれる、それつと云ふので忽ちこれを包圍すると果して敵の敗殘兵である、全く疲勞し戰ふ元氣のある者はない、殊に失笑を禁じ得なかつたのは彼等の曰く「飯々進上」であつた、勿論我々とて彼等に施すべき一粒の米とてなかつた。

又後方より糧食の來る當もなく其夜は互に天幕を被り僅か一、二時間假眠したに過ぎなかつた、これでも患者は翌日元氣を恢復してゐた、鹵獲した馬四頭に患者を乘せて大隊に追及を急いだ。

其間機關銃隊と合しこれより前進路を過ぎてゐることを知り直に引返し豫備隊たる第五中隊に合することが出來た、その夜二十八日も雨の中を露營に一夜は明けた、大隊の殘して行つた患者も皆恢復して急據大隊に追及しようとした、二十九日の正午大隊の近くに到着した頃には馬軍の殲滅戰も終局を遂げてゐることを知つた、それと同時に戰死傷の出來たことを報ぜられ殆ど飛ぶが如くに戰場へ馳せつけたのであつた。

尤も先に看護兵が二名居るがどんな重傷者があるかも知らないと云ふ心配があつた、この間約三粁の距離であるが道とてはなく木に躓き泥に足を踏み入れて顚倒すること幾度たるやを知らず、衣は破れ靴といはず手といはず軍衣袴は勿論、下衣までもずぶ濡れである隊路此處を通過した時よくも此んな所が通れたものだと驚いた位嶮害に惑し難い、馬軍もよくこんな道を逃げられたものだと感心の外はない、然し途中に捨てられる十數頭の無慘なる態を見ては如何に苦しいかゞ窺ばれる(某大隊附衛生部員)=この項つゞく=

婦人倶樂部
十一月號
二大附録つき五十錢
別册附録
和服・洋服・編み物・手藝
子供もの一切の作り方
別册附録
髪から化粧着附まで
新美容法大集
この附録さへあれば誰方でも美人になれる
結婚問題に就いて青年ばかりの座談會
お安い材料で出來る鍋もの汁もの二十五種
醫學上より見たよい結婚惡い結婚
キメをこまかに肌の色艶を良くする食物
四博士 肺病ロクマク自宅療養の急所
新流行毛糸メリヤスで作る子供服婦人服
誰にも美味しく出來る和洋揚げ物のあげ方秘訣
ニンニクの臭くない食べ方
流行毛皮ショール五百本贈呈大懸賞
ハガキ一枚で福運が得られる!!
樂壇に咲く歌姫ロマンス
六大學野球リーグ花形選手評判記
結婚生活の幸福増進法
衛生特輯
婦人衛生に就いて人知れず悩む方へ
不滅の像 加藤武雄
定價五十錢
發行所 大日本雄辯會講談社
砂糖であまく
醤油でからく
味の素で
うまく…が
調味の常識
喫茶
イ
パン
●ノーシン GO! 頭痛 STOP●
洋酒の粋を集めた
デワーの酒場
より敏感なフイルム……フイルムの王者
比類ない優秀フイルム
コダツク製
新ヴエリクローム
Kodak
コダツク販賣店又は下記で發賣
イーストマンコダツク會社
上海圓明園路二十四號

匪賊に拉致された英人營口に歸る

二人共無事な姿を見せ 國際的波紋消ゆ

コクランおよびボーレー夫人の兩名は午後七時三十分盤山十時半河北驛着直に營口の自宅に入つた【營口電話】

九月七日朝、營口競馬場附近を散歩中匪賊のため英人コクランおよびボーレー夫人の二名が拉致された事件は世界的の波紋を捲き起し成行き重視されてゐたが、兩名とも二十日午後七時五十分盤山驛發、溝山線河北支線列車にて營口に歸來する旨通知があつた河北着は十一時で直に營口に歸來するはず【營口電話】

不敵な態度を示し

英人コクランおよびボーラー夫人拉致事件については事件發生當日日滿官憲時を移さず追撃したが遂に逸し、その後賊は巧に姿を晦まし屢々脅迫狀を寄越し、又ボーラー夫人の手紙を届けるなど不敵な態度を示し右夫人の手紙は本國にも打電され世界的な反響を呼ぶに至つた、兩名を拉致した匪賊の頭目は馬錫山北覇天、局勝の三名で彼等は今年春ごろは安奉線方面に出沒してゐた名もない小賊で二、三名の部下と共に營口に流れ込み同地の無頼の徒を集めた十七、八名の賊團となり、個々同地の英人が毎朝人少き

競馬場附近を散歩

するのに着目して遂にこれを襲つたものである、しかるにこれが世界的なセンセーションを呼び起し莫大な金が手に入るべしとの噂が立つに及び急に全滿の馬賊仲間に幅が利き出し、部下が殖えて間もなく二百名に達するに至つた、彼等はこれを率ゐて日滿官憲の急追を避くべく西北方に移行し、結局盤山の西方百六十支里、盤山の東北四十支里の地點にある滿楷子と稱する海城、盤山兩縣境の小村落に落着き、そこの一屋に拉去兩英人を監禁した、同地は

四方水田ご沼澤地

に圍繞された低濕地で、軍隊が近接するを得ぬ屈竟の場所なので、日滿官憲とも救出に焦慮しながらも意に任せぬところあり、又匪賊らは反滿洲國宣傳の手段とすべく學良の命によつて外人を狙ひたる疑ひあり若しあまり急追する時は人質を殺害する危險も豫想されたのであらゆる手段を講じて救出に奔走してゐたものである、拉去兩英人の營口歸來は二十日夜半の豫定で、

一切の事情

したがつて一切の事情が判明するのは二十一日朝とならうが、如何なる徑路で歸還したか興味を以て待たれてゐる【營口電話】

釋放の徑路

川人大尉の折衝奏功

二十日奉天に入つた情報によれば九月七日營口で拉去された英人コクラン及びボーレー夫人は二十日午後七時釋放され、救出のため營口に赴いてゐた奉天憲兵隊の川人憲兵大尉、木村大滿洲正義團總務奉天英國總領事館クラーク副領事北平駐在武官ステーブル氏らに伴はれ七時五十分盤山發、營口へ向つたと、兩名を拉去した賊は北覇天、局勝、天虎、西順らの率ゆる一團で、就中北覇天を大頭目としこれが最近は二百名に達してゐた、これが釋放のため川人大尉は十月中旬より、又木村大滿洲正義團總務は九月下旬よりいづれも營口に赴きその指揮下に內海、小日向の兩邦人および馬春山らが賊團との折衝に當つた結果、遂に交渉成り、釋放されることゝなつたのである【奉天電話】

匪賊四百歸順

營盤附近を中心として蟠居してゐた匪賊約四百は十八日撫順縣長に無條件で歸順を申出で盛大な歸順式を擧行した【奉天電話】

樸柄珊の反滿軍 滿鐵社員を射殺す

齊克線沿線に跳梁

【チチハル廿日發】盛返りし樸柄珊は齊克線の線路破壞する事十六ケ所に達し其の跳梁甚だしく十九日には克山にありし滿鐵社員岩本眞造氏を射殺し岩瀨恒二氏に重傷を負はした、尚樸柄珊の指導將校なりし下村少佐の消息未だに不明で懸念されて居る

東京市電の鬪爭激化

極左派を檢擧

【東京二十日發】市電從業員千六百名の整理は永田市長の解雇者募集の巧妙なる作戰に拘らず二百名の解雇者手當一割二分減の通告となり之に對する十項の要求書提出も奏效せず東京交通勞働組合は對立激化の儘幹部の遷延策大會は二十日午前十時から組合五部門四十八支部代表者三百名を集め逐協議會館に監禁された各友誼團體アヂ百パーセントの戰鬪に次ぎ愈々役員改選を行ふが左翼の暗躍は完全に奏効し今夜に及んで役員の改選を待たず全協系の幹部掌握は既定の事實と觀られ今後の市電鬪爭は新幹部派の動向を左右すべく市電總罷業はやみ難き形勢と觀られるに至つた、警視廳では之に先立ち頻りに極左派檢擧に努め今曉までに大會副議長に選任されるはずの竹內章平氏始め多數を檢束した

市電當局緊張

【東京二十日發】ストライキの危機切迫して二十日市電當局は極度に緊張し課員の往來も何となく慌しく全神經を集めて東交の年次大會の情勢に異常な注目ぶりで勞務課員を總動員して情報蒐集に努めてゐるが非常時帝都を反映して午前十一時には持永東京憲兵隊長が立石局長を訪ひ情報を聽取同十五分引揚げた市電問題に憲兵隊の出馬は始めてゞあたりの空氣を頗る緊張させてゐる

ホース接續器

消防ホースのカップリング(接手具)に理想的なものがなく敏活を生命とする消防界の惱みとされてゐたが、今回大連消防署ではホース三百五十本に對し新發明の中島式カップリングに收めることゝなり追加豫算約三千圓を關東廳に申請することゝなり同時に關東廳土木課でも大連市內の消火栓千三百個所のカップリング二千個を消防ホース同樣の中島式に取替へるべく追加豫算約二萬圓を提出すべく協議中である、從來消火栓及びホースのカップリングは捻込式のもので消防手二人掛りで五回乃至六回回轉せねば接續出來なかつたものであるが中島式カップリングは二十日午後一時大連消防署に於て性能試驗の結果、消防手一人の手で取り外しが出來、しかも離れちがないため四分一の回轉を以て捻込式のものより半減した時間で接續出來る成績良好の結果が確められ、これが實現の曉は消防界に一新期を畫すものと期待されてゐる【寫眞は性能試驗中のところ】

歸順勸告に 從はざれば討伐

滿洲國の對蘇炳文策

滿洲里地方に於ける邦人の生命を監視してゐる蘇炳文に對し黑龍省としては地方的問題として彼の叛意をひるがえさしむべく交渉を續けてゐたが若しこの折衝が無駄に終つた場合は滿洲國政府として彼に歸順を勸告しそれでも應じない時は反滿洲國分子として最後的武力解決に依り彼れ蘇炳文を處分する筈であると【奉天電話】

バラ〳〵の元祖

八ケ月目に犯人擧る

【東京二十日發】去る三月七日事件發生以來警視廳必死の捜査も空しく遂に迷宮入りとなつた寺島のバラ〳〵事件は十九日に至り築地の水上署で俄然活動開始、本鄕區居住の廷具職長谷川一郎(三)を引致嚴重取調の結果長谷川は包み切れず眞犯人なる事を自白し續いて被害者は千葉龍太郎(三)なる事を自供、こゝに迷宮入り八ケ月に亘つた怪事件も事實上解決點に到達した、なほ被害者は加害者の同居人で恩を仇で返されたのを激怒しての犯行であると

この感激を そのまゝ米國へ

渡米學生三代表歸京

日米兩國學生を通じ双方の感情を融和し親善の實を圖らんとする日本學生聯盟派遣代表山田忠義(明大)李木之一(同大)牧山武文(中大)三君は渡米に先だち滿洲の實情を視察し新滿洲國の認識を新たにすべく來滿して執政府において執政にも面謁し種々王道政治の實體を掴むを得たが愈々渡米の準備を整へるべく十九日午後七時五十分大連驛着列車で來連二十日午前六時五十分周水子發定期航空機にて朝鮮經由歸國の途についたが、山田君は語る

我々は十一月一日渡米しニューヨーク、シカゴ、ワシントン等六大都市に於いて約六十回に亘り講演し、日米親善を圖る筈でありますが、滿洲事變以來米國の一般人は滿蒙の何たるかを實際に認識せずして徒らに侵略的概念の下にわが國に大きな誤解をもつてゐる樣ですからこの點に就いて吾々は出來る限りこの誤謬を一掃するために努力する考へです、滿洲國の實情を見て我々は內地にゐて考へてゐた以上着々として建設の一途を辿り國家として形態を整へ東洋の平和境世界樂土の建設に營々たるを見る時その前途を祝福すると共に所謂王道政治の本體に滿腔の敬意を表さざるを得ないのです我々は今この滿洲國の實際を見たこの感激をそのまゝ持つて米國に渡り米國學生を通じて我等の誠意を以て日米親善の實を擧げたいとかたく決心してゐます

なほ本年夏以來滿洲各地を視察中であつた米國オレゴン大學教授ロヂャース、エイ、プロフト氏も一行と同行東上した

高粱刈られて 冬籠りの匪賊

强窃盗に早變りし 附屬地市街を狙ふ

二十日午後二時半頃坂本齊巡査が奉天驛附近を警戒中馬車夫風に變裝せるもの及び二名の百姓風の怪しき人物が徘徊せるを誰何せるところ矢庭に抵抗したので巡捕と協力し逮捕取調ると虎石臺附近を根據とせる馬賊五百餘名の一味なること判明したが來年の播種期まで彼等は一度分散し附屬地の市街において冬籠りしその間强窃盗をなす目的であると自白した、各地の馬匪賊は何れも高粱の刈取後分散式を擧行來春を期して各地一齊に蜂起する申合せをなし三名又は五名を單位とした細胞組織を以て人口稠密せる都市を襲ふ計畫であることが判つたので目下引續き嚴重取調べ中【奉天電話】

唐聚五の司令部を 連續して爆擊

四騎を殘し全部潰滅

我飛行隊は十九日午前東邊道龍崗山脈(渾江と朝陽鎭間の山脈)西方の小腰嶺子、黃尼崗、板廠子の附近にて唐聚五の司令部と覺しきものを連續數回に亘り爆擊し多大の損害を與へた、午前十一時四十分頃その殘部と思はれる約十騎を板石溝子附近にて爆擊し北方に遁走するもの僅に四騎にて他は全部戰死せること確實である【奉天電話】

星部隊奮戰

要害による敵を粉碎

星部隊は去る十四日午後一時半頃二龍山興、渾江縣附近にて占據せる約五百の匪賊を攻擊し激戰の後多大の損害を與へてこれを潰走せしめた、敵は李春武の指揮するもので山中險阻の要害により頑强に抵抗したが死體三十一を遺棄して逸走した、鹵獲せる兵器彈藥等多數ある見込み、わが損害は戰死特務曹長高草木盛正、軍曹六名(上等兵宮田篤、一等兵關口茂男、同北村善吉、同吉田松藏、同石川市五郎、同小山鑑次)戰傷軍曹鈴木安三郎【奉天電話】

滿鐵の映畫を 壽府で映寫

松岡代表一行が携行

『滿洲に於ける聯盟調査團』

【東京特電二十日發】滿鐵弘報係が鋭意作製した「滿洲に於ける聯盟調査團」と題して調査團の滿洲各地に於ける行動を配し滿洲のあらゆる事情一切を如實に描き出した映畫九卷は去る十六日午後敦賀合同運送會社へ到着、全權荷物と共に敦賀稅關で保管してゐるが、右フイルムは我が政府の意見書と共に帝國代表として國際聯盟臨時總會へ出席する松岡洋右氏一行が來る二十二日敦賀出帆の敦浦聯絡船天草丸でジュネーブに携行、之を國際聯盟總會席上にて上映し、我國の立場を列國に表明する上に重要役割をなすものである

獻納飛行機

來月奉天で命名式

われ等の獻納飛行機、戰鬪機二機通信機五機の中戰鬪機二機は來月當地に飛來するので中央委員部では關東軍と打ち合せ同十三日頃奉天に於て獻納命名式を擧行すると なほ通信機五機は來春飛來の豫定である

支部對抗戰に 興味集まる

滿鐵の秋季柔道大會

滿鐵運動會柔道部主催の第二十三回秋季柔道大會は來る廿三日午前十時より大連道場において各支部對抗戰出場四團體幼年組出場十八名成年組紅白戰出場の紅組刈谷勝美四段以下三段五名二段九名初段十二名一級十七名二級七名三級十三名計六十五名白組小山治平四段以下三段五名二段十名初段十三名一級十六名二級七名三級十三名計六十五名總計百九十餘名參加の下に擧行するが興味の中心とも云ふべき支部對抗戰出場の選手名左の如し、尚同戰の擬び方法並に組合せは當日朝各支部監督集合協議の上決定する由

▲大連支部 監督福島平助、大將二段田中保、初段前島清吉、一級蒲地武男、一級岡藤太一、先鋒一級今村茂八郎、補缺中田善美

▲沙河口支部 監督木村好幸、大將二段田中正男、初段舟木武夫、一級井上良雄、二級月足平、先鋒二級小島滿釜、補缺初段石原田清則、三級畑山正雄

▲鞍山支部 監督山浦新治、大將初段觀海法之、一級吉村勝清、一級藤原四郎、一級田中政勝、先鋒一級河原貞武、補缺一級中島松

▲撫順支部 監督佐々木雄哉、大將二段八尋忠藏、二段寺本進、一級愛甲勝雄、三級藤崎政雄、先鋒三級平野富一、補缺三級青木保馬、三級平橋信行

兄弟で空巣狙

十九日午後三時ごろ市內伏見町三南滿工業學校セメント實驗室砂置場に洋服地二十ヤールその他衣類數點を風呂敷包みとして隱匿しあるのを同校小使が發見、小崗子署に屆出でたが贓品の疑ひあるので同署刑事が夜間張込み中午前一時ごろ擧動不審の二名の支那人が前記風呂敷包みを抱へて去らんとしたのを追跡大格鬪の上逮捕本署に連行取調べた結果この支那人は山東省生れの住所不定牟花書(二二)同牟花本(一八)と云ふ兄弟で空巣狙ひを働き贓品は悉く前記の場所に隱匿して夜中同所より持ち去つてゐたことが判明した、…の兄弟は何れも前科二犯を有し餘罪多數あるさ

貝瀨氏京都へ

來る二十三日京都に於けるロータリークラブ役員會に出席のため當地ロータリークラブ役員貝瀨謹吾氏は二十日午前十時出帆うすりい丸にて內地へ向つたが同會議の濟み次第歸連の豫定であると

夜間運轉で 石炭輸送

けふから開始

滿鐵では匪賊の出沒甚しいため去る九月九日以來奉天、大石橋間の夜間貨物列車の運轉を全然休止しその後九月廿日以後は警乘兵乘車の貨物列車を一部運轉してゐたがなほ平常通りの運轉は不可能の狀態にあつた、然るにその後沿線の匪賊も殆どその影を消し、警備方面も完全となり、一方撫順の地實業方面の輸送增加について連日滿事部から鐵道部への要望があるため鐵道部北車係では廿一日から夜間列車を必要數點に應じて運轉し同區間の運轉を平常に復すること、なつた、從つて今後は石炭輸送についても順調に運搬されるものと見られ大體六百四十車乃至七百車の輸送は可能と見られてゐる

時局研究會

大連商業學校では今回會長に長尾校長を戴き職員生徒を以て時局を研究し認識を正確になし以てこれに善處せんとする目的で大連商業學校時局研究會を組織し而して主なる研究事項はこれを印刷して發表することゝなりその發會式を兼ねて第一回研究會を廿一日午後一時より同校講堂に於て開催するが當日は特に安藤要塞司令官の講演もあるはずである

警備船起工式

營口附近警備のため從來の警備船「青柳」の外今回工費三萬圓を投じて新造されることゝなりその起工式を二十日午前十一時より滿洲ドックに於て營口署宇和田警部、青柳警備船長及び關東廳海務局員等立會ひ神式により嚴かに擧行したが新造船の命名は未だ決定しないが長さ七十五尺、四十トン、速力二十ノットの快速艇であると

帝大雪辱

【東京廿日發】帝立第二回戰は午後二時二分立教先攻にて開始立教六回二點を入れたのみで振はず結局四A對二で帝大勝つ閉戰三時四十二分スコアー左の如し

帝大	102 010 00A	4A
立教	000 002 000	2

バッテリ 立教菊谷―別井、帝大楓原―片桐

倉塚博士歡迎會

元關東廳土木課大連出張所長、現任札幌帝大教授の倉塚博士はさる十八日滿洲視察の爲め來連ヤマトホテルに滯在してゐるが、舊知等發起の下に廿二日午後六時からヤマトホテルに於て歡迎會を開催する由、出席希望の向は同日正午迄ホテル森重氏(電話二一五六六番)迄申込まれたいと、會費金三圓當日持參のこと

野本家から謝電

撫順搭連炭坑警備の犧牲となつた大連署勤務巡査部長故野本高治氏の遺骨は遺族に護られて二十日大連出帆のうすりい丸にて故國に向つたが船中より本社宛左の如く謝電があった

故野本高治の追悼會その他出帆歸國に當り深甚の御厚意を謝す貴紙を通して市民各位によろしく御傳へを乞ふ

笹森教諭嚴父

神明高女教諭笹森清一郎氏の嚴父藤太氏は郷里弘前市に於てかねて病氣療養中のところ藥石効なく二十日遂に逝去、享年八十五、葬儀は追つて郷里にて執行の由

安樂椅子

淺草の人氣者、エノケン事榎本健一、二村定一等のグロテスク座は目下淺草常盤座に出演してゐるが、最近の出しもの、ピエル・ブリアント狂詐の第三に「六大馬賊リーグ戰」といふ、とほうもないナンセンス物がある。

◇

全八景から出來てゐるが、その場割を見ると、第一景黑龍江放送局、第二景リーグ戰、第三景緊急對策、第四景ハルピンのロシア酒場、第五景郭公山頭目の住家、第六景セレナーデ、第七景割賊戰前、第八景決勝戰で滿洲名物の馬賊の珍合戰を描いたものだそうだ。

◇

勿論滿洲熱と六大學リーグ戰の兩方に當て込んだものだが、それにしても「六大馬賊リーグ戰」とは仲々趣のよい隱れぶりではないか。

海と空と（3）

高杉晋一郎作 橋本清史畫

歸郷（三）

しよ、しよ、しようじやうじ
しようじやうじのはぎは
つ、つ、つきよだ　はなざかり
おいらはうかれて
ポンポコポンの　ポン

明るい午前の光の溢れる廊下を、端から端へ走り廻りながら、百合が大聲で歌つてゐるのが聞えた。

みちは先刻から立つたり坐つたりしてゐた。膝の邊りには朝刊が散らばつてゐたが、それを手にとつたのは、女中が鐵瓶に湯をさして持つて來た時だけだつた。女中が出て行くと、讀みもしないで、直に傍らへ押しやつて了つた。さうしては、階上の夫の樣子にじつと聽耳を立ててゐた。物音もしなかつた。

夫は、一體、どんな風に襄を迎へるつもりだらう。迎へになど行く必要は無いと、頑固に今朝食事の時云ひ切つた樣子では、何か一騒ぎ持ちあがられば濟まない樣に思はれた。

（私には理屈は解らない。けれど襄は、そんなに惡い事をして學校を追ひ出されたのではないやうに思はれる。夫のあのむきな怒りによりも、私は、暢の考へ方の方へとにかく取るべき態度として惹かれるし、多分、それは暢の云ふやうに正しいのだらう）

そんな事を繰返して考へてゐたものゝ、彼女には、むしろ理屈ではなかつた。唯、首垂れて歸るであらう襄を、出來るだけ氣樂に閾を跨がせてやりたかつた。夫が「何しに歸つて來た」と云ひかねない對面の時が眼に見えるやうで唯激しく心が焦立つた。暢が迎へに行つた事も責められはしないだらうか。

彼女は、襄がその爲に追校されたと云ふ、主義の理窟を、暢に說明された通りに復習してみたが、落着きも、別な考へも出て來はしなかつた。

彼女は、立つて、また坐つてから、何とはなしに百合を呼んだ。歌が途切れて、ばたばたと廊下を走る音と同時に、扉の間から百合のお河童が覗いた。

「なあに」

「あんまり騒がない頂戴な……まあ、すこうちらへゐらつしやい」

百合は、氣輕に走りこんで、ぺたんと、母親の前に足を折つて坐つた。

「今日はお兄樣が歸つてらつしやるんですからね。お兄樣は、騒がしいのはお嫌ひなんですよ」

「嫌ひになつたの？」

いつの間にか家族達の話で兄の性格を想像してゐる百合の言葉は、みちに、元來が快活な襄を思ひ出させた。案外例の調子で歸つて來るのかも知れない。いつそさうだつたらその方がいゝ結果になるだらう。彼女は、此の想像に初めてほつと救はれた樣な感がした。

「もう何時？」

意味もなくそんな事を百合に云つて、自分で背後の置時計を振返つて見た。十一時に近かつた。もう歸る頃だ。彼女は狼狽てゝ、再び襄の部屋を調べて置く爲に立上つた。

襄の留守中は、暢の泊客などに當てられてゐる二階の部屋を、一わたり椅子の位置や机の上を直して、彼女はそこへまた腰を下して了つた。

さうして、ついて來た百合と二言三言他愛ない話を交した時だつた。

玄關のベルが鳴つて、女中が出て行く足音がした。彼女は、夫の部屋の方へぴりつと緊張した神經を送つた。何か書物でも開くらしい音が聞えただけだつた。彼女は百合の腕に手を置いて、靜かに、少し波立つ胸を感じながら、階段を下りて行つた。

玄關へ出るのと、襄が靴を脱いで上るのと同時だつた。二つの顔がぴたつと合つた。

襄は默つてお辭儀をした。

「お歸んなさい」

と彼女は、その暗鬱な顔を見てがつかりしながら呟いた。

新刊紹介

▲**滿洲の農畜産業の現勢**（三衛功著）滿洲文化協會發行の滿蒙講座第七回配本である。世人に歌はれる如く滿洲の四季に櫻はないがドロ柳の疎林を眞紅に染めて果しない曠野沈み行く夕陽の雄大さが見られる、滿洲の實體は變はつたが、陽は高粱に出で、高粱に隱るゝ滿洲の姿は昔のまゝである、輝かしくも滿洲國が誕生したがその建國の產婆役は日本に外ならない、昔の通り滿洲無限の豐庫は人々を招いてゐる、然し滿洲が日本にとつての生命線たる所以は我々の同胞が尊い血潮で染めたこの土を耕すにあるのだ、今日移民問題の宣傳されるのも實にこの滿洲の農事開發の先驅である土に親しんで土を耕し然して家畜を養ふことは現在の日本人移民にとつての重大使命である、然らば滿洲の畜產業の現勢は如何に、著者は此二項目に亘つて餘すところなく說いてゐる（定價五十錢、發行所大連紀伊町九十一番地滿洲文化協會）

▲**愛書狂の話**（グスタヴ・フローベル原著、庄司淺水譯）本書は「ホーヴァリイ夫人」の作者として自然主義文學の開祖として有名な佛人グスタヴ・フローベルが十五歲未滿の時執筆せるもので、一愛書狂の心情を遺憾なく暴露して餘すところがない、作者の巧緻な筆致に驚くとともに、俎上に載せられた主人公ギアコモに對して深き同情を感ずる、書物を愛し、これに親しむ者は時にギアコモと同じ念ひとなりそれに近き念ひに充される、そして書物を愛するはまた難きかなの感を一層深くさしめられる、世の愛書家は本書を繙きて書物に對する感興を愈々深く味はれるだらう（定價特製三圓、並製九十錢、發行所東京市本郷區駒込坂下町一四四ブックドム社）

▲**東亞**（十月號）事後における準備（卷頭言）滿洲國財政問題（木村增太郎）支那の幣制改革問題（井村薰雄）の專門的研究を始めとし前號に引續き滿洲國森林企業の再建に就て（田代名岳衛）大平天國革命の新研究（田中忠夫）はこれから興味の中心になるであらう、隣國東漸の足跡（熊平名智太郎）李朝の地方自治（麻生武龜）は共に得がたい研究である、汪精衛反問題と最近の狀勢（長野朗）は最近の時事問題その他日本印象記（シュタイン）ネグロ族並びにアメリカ印度人の覺醒（ボース）蔣介石と日本（クラーゲス）大平洋勞働組合書記局五年史（高澤六郎）時報（時事概說、滿洲國承認問題、張學良の地位、印度の綿布關稅引上、滿洲事變一年史、時事日誌）等の外に資料文獻、支那滿蒙經濟統計がある（定價五十錢、發行所東京市麴町區內山下町一丁目一番地東亞經濟調查局）

▲**支那**（十月號）日滿關稅同盟問題根岸佶日支紛爭と國際聯盟（伊藤述史）滿洲國承認に就いて（稻原勝治）支那共產軍の新展望（足利鋪）は貴重である、東支鐵道問題（松本忠雄）汎ツラニズムと滿蒙問題（野副重次）雀鶴と淡水水母（米內山庸夫）資料として變動する謎の支那（スクオルツア）は外人の見た支那の一考察として見るべきものがある、日支交通の資料的考察（水野梅曉）滿洲國農業移民と農村救濟（野滿四郎）上海續風土記（虹口の日本人）（澤村幸夫）時報（滿洲國承認及び西藏獨立運動の政治外交より財政經濟問題がある）定價四十錢、發行所東京市麴町區三年町一番地東亞同文會調查編纂部

▲**批判**（十月號）ナチス勝つ（如是閑）資本主義的血路の諸問題（林要）資本に奉仕するギヤング組織（ザスラフスキー）世界製靴王ベーチヤの死（R、K、生）地代論爭一まづ打切りの辯（林要）恐慌イタリーに於けるフアッシヨとヴアチカン（嘉治隆一）資本主義末期の教育（長谷川萬次郎）批判は非常時議會と無產政黨、トルコの對ソ關係と聯盟加入（嘉治）バルカンの形勢とギリシヤの地位（嘉治）アメリカにも自力甦生（松本）獨立勞働黨の「獨立」（後藤）パーペン內閣とドイツ政局の前途（後藤）借金財政と國債增加（四方田）支那に動く二つの意志（福岡）等がある（定價三十錢、發行所東京市外中野町上ノ原六番地我等社）

▲**戰友**（十月號）滿洲國の將來に對する吾人の覺悟（鈴木莊六）當面の問題に關する一、二の所感（赤井春海）在鄉軍人諸君に寄す（本庄繁）滿洲國と世界の平和、殺人の威力怖るべし（服部雙彥）定價十錢、發行所東京市牛込區原町三丁目八番地帝國在鄉軍人會本部

▲**民論時代**（十月號）定價四十錢、發行所東京市四谷區箪笥町一二番地民論時代社

▲**川柳きやり**（十月號）定價二十五錢、發行所東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社

▲**調查月報**（第九號）定價三十錢發行所朝鮮總督府

第十回 滿日特選碁戰

互先 先番 初段 宮下秀洋 / 初段 坂口常治郎

●一四一 ハ十九　●一四三 タ十七　●一四五 チ十四　●一四七 ヘ三　●一四九 ヨ十五
○一四二 ソ六　○一四四 ワ十四　○一四六 ニ八　○一四八 ヨ十四　○一五〇 タ十三
●一五一 タ十五　●一五三 ヌ十八　●一五五 ヌ十七　●一五七 ヌ十五　●一五九 チ十三
○一五二 ル十八　○一五四 チ十七　○一五六 ワ十五　○一五八 チ十四　○一六〇 リ十九

—【8】—

けふの放送

大連 JQAK 十月二十一日

▲午前六時 ラヂオ體操
▲午後六時十分 ニュース（以下內地中繼）
▲講演（六時三十分）（仙臺より）「超短波の性質と其の利用に就て」工學博士宇田新太郎
▲管絃樂（七時）洋樂の夕、ラヴエルの祭「みまかれる王女の爲のパヴアーヌ」日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
▲獨唱「マダガスカル島の唄」イ、ナアンドーヴよお、麗しいナアシドーヴよ、ロ、濱邊に住む白人に、ハ、木陰に憩ひて、太田黑養二、室內樂伴奏、フルート宮田清藏、チエロ齋藤秀雄、ピアノ上田仁
▲ピアノ協奏曲、アレグロ、アダヂオ、プレスト、マキシム、シヤピロ、管絃樂日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
▲獨唱「マラルメの詩三章」イ、ためいき、ロ、仇なる願ひ、ハ、黃昏のばら、荻野綾子、室內樂伴奏、第一フルート宮田清藏、第二フルート及ピツコロ岩波桃太郎、第一クラリオネット辻井富藏、第二クラリオネット及ベースクラリオネット山村哲夫、第一ヴアイオリン日比野愛次、第二ヴアイオリン黑柳守綱、ヴイオラ瀧川廣、チエロ齋藤秀雄、ピアノ上田仁
▲管絃樂「ボレロ」日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
（以下大連放送局より）
▲三曲（八時三十一分）「深夜の月」尺八小笠原米山、三絃福永大勾當、箏木次初榮
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

満洲日報
十月二十日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本富治代
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社満洲日報社

極東の事態の禍根は 支那の内部爭亂のみ

日本非難に没頭せる報告書 英の極東通グ氏指摘

【ロンドン十九日發】イギリス有數の極東通オー・エム・グリーン氏は十九日保守黨系のモーニングポスト紙上で日支紛爭に言及し、極東の禍根は實に支那の内部的爭亂に存する事實を指摘し左の如く論じて居る

西洋列國が協力して支那を内部的擾亂から救濟する事を力說した事こそリットン報告書の主眼である、然るに日本の行動に對する抗議的非難に没頭の餘りこの事實が動もすれば看過される傾向が多分に存するは遺憾だ、極東の事態の不安の原因は實に支那のみに存する事は飽迄强調するを要する、更に一層大なる危險が今や極東を襲ひ全アジアは駸々乎として東漸し來る赤色勢力の發展に苦惱して居る、日本が潮の如く押寄せる赤色勢力の侵蝕に備へるため新に緩衝國を設けんとするの已む無きに至つたのは何等異とするに足らぬ所である

委員間に意見の相違は無い

リットン卿の演説

【ロンドン十九日發】リットン卿は本日アメリカ新聞記者協會の午餐會に出席し、リットン報告書の價値は日本の満洲國承認によつて破壞されるものでないと說明し左の如く演說した

支那調査委員會の報告書はその發表前に日本が満洲國を承認するであらうといふことを確實に知つてゐて起草したものであるから日本の満洲國承認によつてその價値を破壞されたといふことはない、又報告書作成に當つて各調査委員間には主要な事實に關しては意見の相違といふものは少しもなく意見の相違のあつたのは事實を如何に現示すべきかの方法についてのみであつた

全權部假廳舍檢分

全權部の移轉に先立ち假廳舍檢分のため小磯參謀長は有富副官帶同二十日午前八時來長、第四聯隊兵舍を始め地方事務所、憲兵隊の檢査檢分をなした後二十日午後十時發列車にて南下する筈【新京電話】

謝答禮使を歡迎する神戸埠頭の群衆

大亞細亞恒久平和の一大礎石日満兩國の完全なる提手、わが承認に答へる帝室貢獻満洲國正式訪日答禮使謝介石氏一行は建國新興の潑剌たる氣を負ふて十七日午前七時神戸入港の商船うらる丸で、海上恙なく來朝神戸に日本への第一歩を印して、こゝに日満兩國外交史上に輝ける第一頁を加へた【寫眞は謝答禮使を歡迎する群衆】

聯盟最惡の場合の我海軍の方策

14 海軍大佐 中村重一氏講演

七日協和會館において開催した「講演と映畫の夕」に軍艦春日の中村重一大佐の發せる「來る國際聯盟總會において最惡の場合（想像する）我海軍の方策」と題する講演要旨は左の如くである（文責在記者）

その翌日門司出發の時は良い天氣で、岸壁にテープを持つて見送りに大勢群衆が出て居りました、そして引かれたテープは鋼のやうに緊がつて居りました、私はひそかに見てこの國民の後援はあのテープに緊つて満洲にまで行くのぢやらう、かういふ風に感じました、斯くの如くにして送られる人の氣持は、自分は斯の如く信頼されてゐるのだから、満洲に行つたら出來るだけ働いて死んで歸る之が自分の國の爲に盡す義務だとかう感ずると痛感したのであります

この國民の後援なるものが非常なる力となり得ることは申すまでもないことであります、私は軍艦に乘つて出發するので何時もそつと出るので一般見送りを受けたことがありませぬ、私は曾てドイツの艦隊を追つて南洋方面に行きましたが、ちつとも送られた經驗がありませんから、この陸軍の立派な力と行動を共にしてはじめて國民の後援を痛感したのであります

實際之から旅順を攻擊に行くのだぞといつて出られませぬ、誠に送別を受けたいのでありますが受けられません、はじめて痛感したのであります、

要するに軍人家族の取られた行動についても澤山ありますが一、二覺えて居りますことを申上げますと上海の兵隊に出てゐる人のお父さんは「怪我するか、皆になつてでなければ家に歸つても入れない」餘り溺しいので不覺はドラ息子ではないかと思はれた位あります、さういふ手紙が來て居ります、又呉鎭守府の事でありますが、或る下士の奥さんは鎭守府の司令官隊備官に當てゝ夫は支那や満洲に行けませぬ、之は軍人として恥かしいからどうか他の呉から出ます軍艦に編入して、深艦入炊といふ軍艦がありましたが、それ等に乘せてくれと夫人から歎願書が來て居りました、かういふ風に本當の心から後援を受けますと、此奴は正に奮起せざるを得ませぬ、如何に怯夫も立たざるを得ないと私は確信するのであります、即ち國民の後援がさういふやうに如何に影響するかといふことを一言申し述べて置きたいのであります、

戰爭といふことは何も死にゝ行くのが目的ではありませぬ、國の厭め、天皇陛下の赤子として恥ぢざる行動を採るのであります、死ぬといふことも生きるといふことも運であります、死にたいと思つても死れません、私が上海に參りました時は、江灣鎭方面の十九路軍に山口大佐の指揮する軍が山砲を打つてその時四發私の近くに敵の彈が來ましたが中りませぬ、巧く私には當らない、だから戰死するとかせぬとかは問題でない、國に盡す赤誠を捧げて直凱旋しやうが戰死しやうが、同じであります、無論戰死者に對しては誠意を表しますがその心は同じで凱旋した人は皆逃げてゐた人ではありませぬ。

今此處で申上げたいのはこの諸々の氣分を御諒解になつて、そして國民の後援といふことが如何に必要か、我國の急を救ふ場合に多大のウエートを與へるといふことを御諒解下さると結構だと思ひます、その將來の戰は軍人ばかりでなく、國民總動員でありますから國民の覺悟を御願ひしたいと思ふのであります。

色々甚だ詰らん話した申上げましたが、この關東州の土地に參りまして、こんなやうなお話をしましたのは非常に光榮とすると同時に今申上げましたやうな風で満洲の野に在つて平時ではありますが奮鬪努苦される陸軍の將士を出來るだけ御力づけ下さるやう御盡力下さらんことを希望致します、と當時に満洲事變に對し色々御當地の方は御奔走下され、又直接御奔走下さつた方が多々あると思ひます、此等の御方に此處で厚く感謝の意を表します。

尚國の爲に満洲の野に在つて戰死、負傷せられた勇士の方に敬弔の意を表しますと同時に、この最もわが國として可笑しな言葉でありますが日本の本土と密接の關係に在りますので我國防上非常な重點となるのでありますから御當地の益々御發展あらむことを祈りまして講演を終りたいと思ひます。

民間武器製造取締 日英米は反對

聯盟委員會遂に決裂

【ジュネーヴ十九日發】國際聯盟の兵器彈藥製造竝賣買取締委員會分科委員會で本日兵器彈藥の製造竝賣買取締に關し討議したが、フランス、スペイン、デンマーク、ポーランド諸國は强硬に民間武器製造取締を主張せるに對し、日、英、米諸國は飽迄その權利を擁護したため委員會は決裂し無期休會となつた、分科委員會は本問題を關係各國附託に決定したが、日本代表は率直に「日本政府は恐らく右に對する回答を提出しないだらう」と言明した

一等潜水艦建造 攻擊巡洋性の優秀艦

【佐世保二十日發】海軍ではロンドン軍縮條約の制限の下に更に一等潜水艦一隻を建造する事になり十八日佐世保工廠に起工式を行つたが、同潜水艦は明年度に編成される第三十潜水艦と共に排水量千六百三十八噸全長九十七米、速力十九節、十三サンチ砲一門、發射管六門を裝備し攻擊巡洋性を具備する優秀艦で昭和八年末迄に完成の豫定

満鮮國境に警官を增員

邦人保護を目的に

【東京二十日發】大藏省臨時國境警備費三十七萬七千九百四十圓を朝鮮總督府特別會計七年度第二豫備金より支出する旨今日發表したが右は満鮮國境附近における邦人保護のため警官の增員をなすためである

藏相廿日歸京

【東京廿日發】葉山別莊に靜養中の高橋藏相は最近頓に健康回復したので廿日歸京と決定した

選擧公營案 委員會で協議

【東京二十日發】選擧法改正に關する法制審議會主査委員會は十九日午後二時から官邸で開かれ選擧公營問題に關し三時間に亘り各委員間に白熱的討論あり、贊否の兩論出でたる後、水野主査委員長の裁斷により選擧公營案の内容たる選擧演說會の會場設備及び文書の發行等を公の機關で行ひ私の選擧運動は一切之を禁止すると提議し右につき贊否を求めたところ、各委員之を承認したので從來の幹事案岡田、清瀬、島田、廣瀬各委員案及び意見を一纏めとし原案を作ることになり特別委員清瀬、松本、島田の諸氏と幹事により二十日より協議することゝし午後五時散會した

マニウ氏組閣

【アカレスト十九日發】農民黨領袖マニウ氏はヴァイダ内閣辭職の後を受け本日組閣を完了した新外相にはチツレスコ氏が就任した

満鐵高給社員の昇給

満鐵の秋季定期昇給中百五十圓以下の社員の分は既に人事課より割當基金を各部に通知し各部において詮衡中で近日中には全部通知濟みとするが、百五十圓以上の高給社員の昇給は重役會議で決定する關係上やゝおくれ目下各部で人選中である、從つて人事課でまとめて重役會議に附議決定を見るは十一月中旬の豫定だが、昇給は十月一日に溯つてなされる筈で、昇給者の數および昇給率は大體例年並であると

連絡會議の議題

今年は事務的なもの、み 生野鐵道省配車課長語る

二十一日より四日間に亘り満鐵本社において開催さる、内鮮満臺鐵道連絡會議に出席のため、鐵道省より代表として運輸局配車課長生野源太郎氏をはじめ事務官阿部繁藏氏同原清武氏外中村韓吾氏、古川信一氏、松井二三氏一行六名が二十日入港ばいかる丸で來連した、一行を代表して生野課長は語る

この會議は恒例のものでただ昨年満鐵が主催でやる筈のところ時變の突發で今年に延ばされてゐたのだ、内鮮満臺の鐵道關係者が集まるのだが本年度の議題としては事務的な細い規則等の事が主で省としての提案といつたものは殆どない、満鐵、臺灣邊りから幾らか提案がある位のものだ、出來たら危なく無い範圍において社外線も見たいと思ふが何れにしても上陸後の話だ全部で三週間の豫定で朝鮮經由歸る、いづれにしても連絡會議以外の用件といふのは無いのだ内地における鐵道收入は九月二十三日頃を轉期として全體的に見てよくなつて來たやうだ、殊に貨物收入は大分增えたやうだ（寫眞は埠頭に着いた一行）

満鐵辭令

満鐵地方部工事課工務係主任江崎猛氏は近く新國家へ入るのでこれに伴つて左のごとく人事異動があつた

大連工事事務所工務係長 事務員 菊池良策
地方部工事課工務係主任を命ず
地方部工事課 事務員 伊藤透
大連工事事務所工務係長を命ず
地方部工事課工務係主任 事務員 江崎猛
工務係主任を免ず

あめりか丸船客

【門司特電二十日發】二十二日大連入港豫定のあめりか丸の主なる船客諸氏

ハルビン副領事瀧川欽哉、豫備陸軍主計監井出治、日魯漁業重役山本太郎、満鐵社員大坪正、講家渡邊新藏、大満蒙新聞社長大石隆基、中原定保

人事

▲貝瀬謹吾氏（技術協會幹事）二十日午前十時出帆うすりい丸にて内地へ
▲永井思無邪氏（住友製鋼所員）同上
▲竹内謙二氏（九大教授經博）同上
▲濱修海氏（旅順華商公議會顧）同上
▲鄭階鼓氏（鄭總理令孫）二格娘同伴同上
▲山添程次氏（住友製鋼所員）同上
▲白川友一氏 同上
▲三重縣教育視察團一行 同上
▲日満婦人聯合大會満洲國代表一行十一名 同上
▲高見三吉氏（大阪商船大連支店長）廿日午前八時大連驛着歸連
▲東京千代田會視察團一行十名 同上着連
▲佐賀縣教育會一行十三名 廿日午前七時四十五分大連發旅順へ
▲生野源太郎氏（鐵道省運輸局配車課長）廿日入港ばいかる丸で一行と共に來連
▲佐藤重鑑氏（住友信託監査役）同上
▲武野興二郎氏（古川電氣大連販賣店員）同上
▲前川良三氏（大連新聞重役）同上
▲大野敬信氏（三井大連支店長代理）同上
▲中野義雄氏（一等軍醫）同上
▲ロヂャース・エイ・プロフト氏（米國オレゴン大學教授）二十日午前六時五十分周水子發定期航空機にて離連
▲學生聯盟派遣渡米學生代表一行 同上
▲村川五郎氏（満鐵衛生課防疫係主任）十九日夜着嶋で歸連

蛇角

◇英京の極東通グリーン氏、リットン報告のピント外れを嗤ふ、近ごろ痛快。
◇でもリットン卿その人のいひ分によると、報告書の價値なるものは相當なものらしい。
◇價値があつてもそれは「東洋旅行記」としての價値と、此方は觧して置く。
◇日本の對聯盟態度、一押し、二押し、三押しばいゝ。
◇一金、二金、三金、若くば一宣傳、二宣傳、三宣傳への配當に。
◇市議戰、やうやく酣、假作りの無産候補、苦戰候補なども入り亂れて。
◇博覽會覗の一味、檢察局へ總督へ、家包の蟲投げ込む騷舍かな。

奉天市長、満鐵に借款を交涉

施設資金二百萬圓

奉天市長閻傳紱氏はさきに來連、満鐵本社に林、武田正副總裁を訪れ重要會談をなすところがあつたが、その内容を瞭聞するにグレート奉天建設に要する資金に關して満鐵の援助方を要望したものゝごとくである、奉天市側の申出た資金額は二百萬圓で、これをもつて道路、上下水道等の新設の一部に當んとするにあるが、從つて水道料金を抵當とし、利拂ひには水道料金をもつてせんとするものゝごとく、内地ではこの種の市債は屢々見るところであるが満洲においては最初の試みとてその成否は注目されてゐる

陣容を立直し各所に混戰

大連市議逐鹿戰況

妖雲不氣味に漂ふてゐた逐鹿戰は各候補二日間ばかりの中休みのうちにすつかり陣容を立直し何れも華々しく再運動を開始した、殊に沙河口方面の西部戰線は果然激戰となり森川、石川兩候補の取組は御當人達より兩候補を推してゐる幹部連が以上勢力爭ひを起し處々實々の攻防戰を演じ、また鐵道工場は水も洩らさぬ戰振りで外敵の襲擊に備へる一方一宮、菅原兩候補が何れも鐵道の部票を爭つてゐる、始めは協定地盤により仲よく握手して共同戰線を張つてゐたが昨今森川候補が一宮候補の地盤に突入した爲め一宮候補は勢力扶植に苦心してゐる爲め協定は忽ち崩れて文字通りの泥戰となり必死の巴戰を開始した、聖德街では若月候補が蔦井、矢野、上原、古泉の爭奪渦中に捲き込まれ苦戰となり、中央では立花候補が數年間手鹽にかけて守立てゝゐた宗教團體の淨信會を上原候補のため根こそぎ奪取され當選の見込み立たざる迄大打擊を受け、立ち遲れの中川候補はまた着々地盤を固め鈴木候補の居城を一氣に粉碎すべくヂリヂリ迫つてゐる、即ち根據地若狹町區を七つに區分しそれぞれ伏兵を置いて防禦線となし更に春日町區の應援を得て漸次勢力を增しつゝある、苦戰の林田候補は消費組合に進擊し一面埠頭目がけて捨身の突貫を開始した、石本候補はまた目差す鐵道工場が案外守備固くその堅壘を抜くに力及ばず成算に狂ひを生じ苦境に陷つた新戰術もボツボツ現はれ或は大人を通じ或は子供を通じ將を射んとせば先づ馬よりの戰法に相當效果を納めてゐる者もあるがまた埠頭の出船入船に際しブラリと人混みに現はれマネキン工作を起す等も效果的なものとして用ひられて來た

満鐵も「長春」改稱を考慮

満洲國側の長春はさきに満洲國によつて新京と改め、日本側の各機關も漸次新名稱を呼ぶに至り近く關東廳もこれに倣ふこととなつたが、満鐵内部にもいづれは新名稱に改むべきであるとの議が起りつゝある、満鐵關係當所中、長春の名を冠してゐるのは鐵道事務所、地方事務所および驛等で、ことに驛の改稱は相當大きな影響があるので愼重な態度を持してゐる、しかし職制改正の結果、長春に重要機關が新設されることになつて居り、いづれはこれが名稱を付されねばならぬので、その際に決定を見ることにならうと

出淵大使來満

満洲視察のため來満する出淵大使は本月廿五日頃飛行機で來連それより奉天、新京、ハルビン等の視察を終へ歸京する豫定である【奉天電話】

満蒙の戰慄 （132）

直木三十五作 淺枝次朗畫

再生（四ノ二）

「え、」
麗は、うつむいて
「お歸りがせしまして、すみません」
「そんな事、いゝけど、もう、大丈夫？」
「春井の事？」
「そう——性が、惡いから、あんた父、何うして、あんな奴に、引つかゝつたの」
「え、」
「話つけたの？」
「いゝえ」
麗は、首を振つた。
「話をつけんと、又くるわよ」
「え、」
「ずい分、店が困るかられ」
「えゝ——よく存じてゐます。それで、中手さんさ、今日、打合せしときました」
「中手さんと？何ういふ？」
「來たら、知らせろつて」
「中手さん、そりや、しつかりしてゐなさるけど、對手がれえ」
「今日、もし、昨夜のやうな事がございましたら、妾、こゝを、退かせて戴きます」
「退かなくてもいゝけど——」
「えゝ、でも——」
「退かないで、何んとか——」
「中手さんが、何うでも、やると云つていらつしやいますが」
「やるつて？」
「戰ふつて」
「中手さん、亂暴な。あいつ、拳鬪を知つてるし——」
コックが
「中手さんなら、何うだらう」
と、いふと、一人が
「これに、賭やうか」
と、云つた。マダムが
「中手さん、そんなに、お强いのかい」
「えゝ、柔道やるでせう」
「柔道と、拳鬪と、どつちが强いの」
「さあ」
と、一人がいふと
「そりや——そこが、賭だ」
「お前どつちへ賭るき？」
「さあ」
「何うだらう」
コックは、笑つて
と、云つた時、一人の女給が
「只今」
と、云つて、出勤してきて、麗をみて
「あゝら」
「今日は」
「來たの、えらいわれえ」
コックが
「今、ライオンと、虎との、噛み合ひがはじまるんだ」
「何、云つてんのよう」
と、云つて、女は、化粧部屋の方へ、行つてしまつた。
「麗さん、そして、中手さん、何處にゐるの？」
「あしこに、KSビルつてのあるでせう」
「あゝ」
「あしこに」
「そして？」
「春井が來たら、そこまで、つれ出して行けばいゝんです」
「成る程れ。そして、連れ出せる」
「えゝ、決心してゐますの」
「ちやいゝわ、やんなさい、一度あいつ、叩きつけないと、いけないわ」
コックが
「一番、加勢しやうか」
と、云つて、腕を擦つた。

日滿兩軍の猛擊で掃蕩粉碎さる
東邊道兵匪討伐戰況

東邊道の匪賊は日滿兩軍の猛襲により今や大體において掃蕩粉碎された

南地區 茂木部隊の主力は十八日午後桓仁西南方約六里大虎村子附近に接近するや匪賊は約百名の紅槍會匪と共に刊椋嶺、泉石葉附近の山陣より我軍の前進を阻止せんとしたので十九日これを攻撃して撃退し直ちに追撃に移つた、古谷部隊も又同日土門子の敵を撃破して唐玉振の部下の正規被服兵器多數を押收し更に泉石葉附近にあつて紅槍會匪に大打撃を與へた、山岡部隊は十八日姜枝隊、江藤部隊等と相呼應して沙尖子附近を占領してゐた數百名の賊を攻撃してこれを占領した李春潤はわが討伐軍の猛烈なる追撃に遭ひ部下數千と共に萬策つきて巨流河河谷に逃込み十七日朝會議を開いた結果、部下全員に對しそれぞれ勝手の行動をとるべき旨を宣言し解散を命じ李自らは部下少數と共に同日午前七時馬車に乘り花尖子、紅廟子、陰廠道方面に逃走した模樣で途方に暮れた部下の敗殘兵は諸所に出沒して掠奪し又わが軍や滿洲國軍に投降して來るものも尠くない

中央地區 十九日通化發興津副領事よりの報告によれば去る十四日匪賊のため拉致された邦人滑田一家六名のものは匪賊の手から脱出し十八日午後六時通化に歸還した、唐聚五は通化逃亡に際し良民に對して日本軍侵入の場合は鏖殺しにされると惡宣傳をなし婦老幼女子多數を引連れて逃亡したと【奉天電話】

遭難米人の眞相諒解
遺骨今夜歸奉

在奉天米國副領事ボール氏、日本總領事館法華津官補、坂本憲兵隊長及び貴島憲兵軍曹の一行は十八日現場の調査を終り遭難者ヘンダーソン氏の遺骨を携へ二十日夜歸奉の豫定である、ボール副領事は最初新濱にも至り調査したい希望であつたが同地の米國人、教會とも連絡することが出來て何れも事件の眞相を諒解したので新濱行きを中止して歸奉に決した【奉天電話】

歸順勸告布告

日滿兩國軍の兵匪大討伐に伴ひ奉天當局は匪賊の招撫に努力し主として奉天省治安維持會がその衝に當つてゐるが十九日省長臧式毅氏の名でこの際急速に歸順して生命を全うすべしといふ最後的布告をなした【奉天電話】

日本移民の食糧問題解決へ
日本人の胃が高粱を征服するまでを研究

滿鐵中央試驗所では滿洲國人の常食する各種の食糧品の榮養カロリーの研究を續けてゐるが滿洲醫科大學阿部朝吉博士は滿洲農民の常食である高粱粟等の主食物を始めて日本人が食した場合幾月目で胃が完全に吸收するかの研究に着手し近々學術的發表を見んとしてゐるがこれが醫學的に證明された曉は日本移民に對する食糧問題の解決を得ると期待され博士は熱心に研究中である【奉天電話】

日滿博の幹部四名詐欺罪で送局
佐藤會長と高田日光館請負人は檢察局で不起訴か

時の要路大官を頼つて徒手空拳で來連し、羊頭狗肉の空宣傳で大連市民を欺き十數萬圓の大損害を市民に與へた大日滿産業博覽會は峻烈な司直のメスによつて解剖させられ今やインチキ的内容を白日の下に曝け出すに至つたが、大連署司法係では事件摘發以來約一ケ月間、殆ど司法係總動員の下に大搜査を行つた結果二十日漸く取調べ一段落となり日滿博會長佐藤庸也（五二）同理事長原侑（二九）同理事石田金市（三九）日光館請負人高田政治（四二）四名の一件書類を詐欺罪で送局した（原、石田兩名は身柄付）而して會長佐藤庸也氏は名義上會長に擔ぎ上げられ實務に關係してゐらず日光館請負人高田政治氏は被害者の立場にあるもので犯罪事實の證明不充分とし檢察局に於て不起訴處分に附される模樣である、原、石田兩名の犯罪事實は次の如く、假面をはがれた日滿博の全貌が遺憾なく描き出されてゐる

無許可福券を賣捌き歩く
沿線各地から詐取

送局された博覽會の幹部は不振續きの博覽會挽回策に頭を惱ました結果八月下旬總額四萬圓福券附入場券發賣を計畫し九月六日磐城町八二番地蘇文斗氏に無許可の福券を所轄大連署の許可あつた如く詐稱し、三百枚引替へに二百七十圓を詐取したのを手始めに同樣手段にて大正通二七番地大久保正登方店員松本長次郎氏に對し五百六十枚引替へに金五百圓を詐取また博覽會事務員西坂巳義を沿線に派し官憲の許可あつたものゝ如く架空の宣傳を以て九月十三日より十七日までに撫順東四條通石原純一氏から四百枚引替へに三百六十圓、鞍山北三條通金城商會こと今村源一氏より四十五圓、鐵嶺松島町佐々木甚三氏より二百枚引替へに百八十圓、遼陽本町佐々木忠雄氏より百五十枚引替へに百三十四圓、合計七百十九圓を詐取してゐる、この外天津曙町河井俊三郎氏外五名から千四百枚引替へに千二百六十圓を詐取せんとして河井氏等から無許可の福券と看破されて未遂に終つた、更に聖德街一丁目荒井傳次郎氏が晝間福券一千圓に當籤せるに拘らずこれを支拂はず財産上不法の利得を行つてゐるなどそのインチキな亂脈ぶりに今更の如く係官を驚かせてゐる

原理事長の犯罪内容
石田理事の横領

更に原理事長、石田理事兩名の個人的犯罪は次の如くである

一、日滿博理事長原侑は五月二十九日大日滿博の金錢出納帳に日滿貿易協會から五千圓借入れた如く裝ふて記帳し博覽會閉會後清算と同時に其總益金より控除詐取せんと企て

二、六月三日より七月二十六日まで前後十餘回に亘り日滿博所有の六百五十餘圓を記者團及其他關係者の接待費と偽り横領

三、六月二十七日博覽會所有の六百圓を支部費に送金せるが如く裝ふて記帳横領、自己の用途に消費

四、七月四日上京中、運動費と偽り三百圓送金せしめて横領消費

五、七月十日博覽會所有の二百圓を佐藤會長に交付せるが如く裝ひ横領

六、七月二十三日大連市伊勢町五八番地運風聰なる者に日滿博福券附入場券の賣殘品は自分が引受けると詐稱し晝間券四千枚、夜間券五千枚、價格二千九百七十五圓を賣却した後、賣殘品晝間券三千四百五十六枚、夜間券四千五百四十一枚、價格二千六百二十二圓の拂戻しの請求を受けたが、これに應ぜず財産上の不法利益を得

七、八月二十日齋藤覺次郎外四名の所有に係る入場係賣揚金中より係員緒方スミ（四四）の承諾を得てゐると詐稱し、齋藤宛借用證を認め百二十圓を騙取

なほ原理事長は七月廿三日博覽會計係羽田野龜吉（五二）と口論し鐵拳を以て毆打頭部外數ケ所に約二週間の傷害を與へた廉により傷害罪も含まれてゐる

また理事石田金市は八月六日大正通二七番地大久保正登氏から入場券代金として額面五百圓の正隆支拂小切手を受領し、これを博覽會帳簿に記入せず同行より現金に替へて横領消費してゐる

夫君と共に二格姫が英國へ
けさ華やかに鹿島立

輝かしい新興滿洲國の鄭國務總理令孫鄭廣淵氏は美しき夫人二格姫と共に遠くロンドンに留學すべく廿日出帆うすりい丸で晴れの鹿島立の途についた「あちらに渡る前に憧れの日本を是非見て行きます」と前提しながら出發の慌ただしいうちを左の如く語る

自分は上海のセント、ジョンスカレッヂを卒業しかねて英國に渡りたいと思つてゐたがその素志が實現する事になつた、ロンドン、オックスフォード、ケンブリッヂその三つの大學のうち一つを選んで入學し約三年間ミッチリ勉強をして來ます、專攻は政治經濟學、歸國してお役に立ちさへしたら滿洲國のために微力を盡したいと思つてゐる、自分達はとにかく日本に行つて日本を見た上十一月十日横濱出帆の照國丸で渡歐の豫定で居ります

美しい親戚の娘さん達の盛んな見送りを受け華々しく「さよなら」を殘して行つた（寫眞は鄭夫妻）

妥協し早速値上げ
自動車組合から願出

内訌から組合解散の危機に立つた大連自動車營業組合では監督官廳の調停によつて圓滿妥協成り、其後不振の極にあるタクシー界挽回策としてタクシー料金の値上問題が再燃し、役員會に於て協議中のところ十九日全組合員二十七名連署の下に左の如く賃金變更許可願を大連署を通じ關東廳に上申した 即ち

舊市内は四十錢均一を五十錢均一に改め其他主なる地點の料金は値上げとなる、從つて舊市内を基點に老虎灘、星ケ浦は一圓二十錢から一圓五十錢、競馬場一圓が一圓二十錢、桃源臺、平和臺八十錢が一圓、大連火葬場五十錢が七十錢、譚家屯五十錢が六十錢、聖德街七十錢が八十錢

其他郊外もこれに準じ大體に於て二割乃至二割五分の値上げとなつてゐる、許可あり次第實施するが十一月一日頃となる模樣である

平和の使として日滿婦人大會へ
滿洲國代表一行出發

日滿親善の輝かしい將來を約束する平和の使として大阪に開催される關西婦人聯合會主催日滿婦人聯合大會に出席する滿洲國婦人代表は滿洲國協和會中央事務局紀井一氏の案内にて

ハルピン代表東支鐵道理事會秘書王梅先、東省特區第四小學教師辛惠英、新京代表長春女子高小教師王瑞蘭、協和會員于嶽英、奉天代表奉天公學堂教師曲淑珍、奉天女子師範教諭劉勃彥、吉林代表執政府女官吉林女子中學校長毛裔根、協和會代表張維蘭、全滿婦人聯合會代表三菱ハルピン支店長岡氏夫人岡清子、田中喜代子女史等

一行十一名は二十日午前八時大連驛着列車にて到着、その儘連絡車にて埠頭に赴き同午前十時出帆うすりい丸にて全滿聯合婦人聯合會より贈られた花束を抱き日滿兩國旗に包まれ在連婦人團體多數に見送られ華々しく出帆内地へ向つたが一行は何れも滿洲服に日滿旗を配した胸章を附し何れも流暢な日本語を以て見送りの人々に別れの挨拶をのべ出帆に際しメッセージを發表した【寫眞はうすりい丸の一行】

☆　☆　☆

野本部長遺骨歸る

撫順匪賊の彈に殉職した大連署員巡査部長故野本高治氏の遺骨は二十日出帆うすりい丸で秋風に吹かれ乍ら悲しい姿で同期生南次郎巡査に附添はれ懷しい故山新潟に向つた、これに先だち待合所に一まづ英靈を安置、警察署長並に市民多數の燒香を受けた後、更に同船甲板上の祭壇に移されたが、こゝに悼ましき時局が生んだ犧牲者に對しては埠頭に集まるもの總てが哀愁の感に打たれた【寫眞は埠頭の遺骨】

日滿商店總動員の建國祝賀大賣出し
十一月十五日から年末まで　景品は特等三千圓

滿洲國の建國を記念するため大連輸入組合では過般來日滿合同の大賣出を開催すべく計畫中であつたが、最近に至り漸く具體化し大々的大賣出を行ふこととなつた、即ち名稱を滿洲國建國祝賀日滿商店合同大賣出しとし大連市内日滿商人を總動員して十一月十五日より十二月末日迄、約五十日に亘り開催

買上高五圓毎に抽籤券一枚を交付、五圓未滿の買上に對しては一圓毎に補助抽籤券を交付、補助券五枚を以て本抽籤券と引換へ、明春一月八日大連輸入組合樓上に於て抽籤、十日より三十一日迄に景品引替となつてゐるが景品としては特等三千圓一本、一等一千圓一本、二等五百圓二本、三等二百圓六本、四等五十圓二十本、五等十圓五十本、六等五圓一千本、七等二圓千五百本といふ素晴らしい景品付賣出で總計二千五百八十二本、賞金總額一萬六千圓と未曾有の大賣出を行ふこととなつたが該大賣出しは滿洲國建國を記念し、日滿商店總動員の形となつてゐるため大連輸入組合の單獨主催とすることは種々の點に於て妥當を缺くので、これを全大連の催しとすべく輸入組合より大連商工會議所宛共同主催の申込みがあつたので大連商工會議所では來る二十二日午後三時半より役員會を招集し主催者たるや否やに付態度を協議することとなつた

殺人未遂求刑

鶏業大西喜代藏（四五）にかゝる殺人未遂事件の公判は二十日大連地方法院長島裁判長かゝり開廷、立會池内檢察官は懲役二年を求刑し新野尾辯護人の減刑論があつた、判決言渡しは來る二十七日

遭難兩飛行家けふ朝日社葬

【東京二十日發】東京發日滿連絡直線飛行の犧牲となつた朝日新聞一等操縱士故酒井憲次郎、航空機關士片桐庄平兩氏の朝日社葬は十九日午後七時遺骸を本社樓上に移し遺族、親族、社員多數參列玉串を捧げ同夜は溫やかに通夜を行つたが二十日午後三時から神式により嚴かに葬儀を執行

南遞相以下參列社の弔辭、全國各方面からの弔電、弔信を披露したがその中には滿洲國總理鄭孝胥、阪谷總務廳長、金碧東新京市長、武藤全權、白田關東軍參謀諸氏があり、鄭總理その他日滿諸名士等の花輪があつた酒井、片桐兩氏遺族に對し同社では各二萬圓の弔慰金を贈呈した

無線電話を設置し沿線警備連絡
新京、奉天、安東署に

馬賊匪賊のため滿鐵沿線の電信、電話線が時々切斷せられ警備連絡を妨害されるのでその完全を期すること不可能なりといふので關東廳警務課では遞信局の同意を得て新京、奉天、安東の三ケ所の各警察署に無線電話を設置し有線電話の事故障害の發生せる場合のみならず平常もその無電により直に本廳との連絡を維持するため無電の完成を計畫中であつたが、關東廳遞信技手鈴江靜雄氏と土屋警務部は新京の調査視察を終へて二十日午前九時安東に向つたが遲くも來年正月中旬には完成する豫定で豫算は七萬五千圓を計上した、これが完成の曉は警備能力と事務連絡に非常な便宜を得るであらう【奉天電話】

裏日本就航説を大汽で否定

大汽の裏日本航路就航説が當地に傳へられてゐるが右につき大汽側では全然關知せず高木重役は語る

いかにもやる樣に宣傳されてゐるので困ります、殊に全然考へても居ない事がまことしやかに傳へられては大汽としても面白くありません、全然今のところそんな計畫はない、只人をやつてあの邊を視察に出張はさせたが、これとてどこの會社でもやつてゐる事だ、天津丸を就航させる等にいたつては實に困りものだ實は會社でも誰がそんな事を云つたかと皆に聞いて見たが全然知らぬと云ふ事で正しく想像して噂になつたものと考へる

ロシア婦人が天理教本部へ

廿日出帆うすりい丸で天理教信者の本部詣の一行百名が赤いたすき掛けで内地に向つたがその中に珍しく只一人の外國人しかも女性が居り奇異な感を皆に抱かせた同女はロシア人でショウエさん（三一）と言ひハルビン馬家街で貸家業を開いてゐるが彼女の語るところによると

自分は天理教信者になつたのはフトした機緣から夫と共に信仰する氣になりともに心から信仰の道にいそしんでゐたが、然るに夫は一昨年安心して死んで行つたのでそのお禮詣り旁々あこがれの日本を見るべく特にお願し一行に加へて頂いたのです

商業學堂生 大連商業學堂の滿洲國人生徒十五名は增田教諭引率の下に二十一日出發奉天、撫順、鞍山方面へ修學旅行をなし二十五日歸連豫定である

對馬會計事務所 計理士對馬林次郎氏は今回市内近江町十一番地に會計事務所を開き一般會計事務並にその登記手續等に應ずると

天氣予報　二十一日

北西の風曇驟雨模樣後晴溫度降る

滿潮（午前一時四十五分　午後一時四十五分）
干潮（午前八時三十分　午後七時四十五分）

各地氣溫　二十日午前十一時
大連一八　奉天一五
旅順一九　長春一三
營口一七

暴風警報　風強かるべし二十日午後一時南滿洲附近を警戒す

けふの小洋相場（十時）金百圓は一三三圓七五錢

CURIOUS Shop

國難日本刀 (130)

高桑義生作　京極佳夕畫

? の男 (九)

「こりやあ、小松びいきの鼻のつき合せですれ」

「無理はございませんよ、れえ、西國屋の旦那さま……」

たしかな筋の紹介で、客にはしても、西國の大商人——まつ赤な嘘だ——お島は名前も知らないのだ。

「さうかなあ」

「おほゝゝさぼけていらつしやる。でも、小松花魁も、可哀さうですわ」

「なぜだれ?」

「ある異人さんが御執心で、無理往生に往生させられるんですもの」

「そんな噂だれ、異人もよくないが、大體、上役人が惡いのだ。この家などでも、異人は、來るのか?」

「いゝえまつぴら、わたくし異人の顔は見るのも、胸が惡くなるんです。異人さんは、お茶屋へはめつたに參りません。それでも、たまには見えますけれど、手前どもでは、お斷りですよ」

「えらい、それでこそ日本人だ。いつぱい差さう」

と清次は、お島に盃をさした。お島は受けて、

「無調法でございますけど……」

「いや、いけさうな顔だ。どうだい、お女將、そのうちゆつくり飲まうぢやないか?」

「結構でございます」

「さうら、すぐに本音が出る。もう一つ行かう。どの位やるれ?」

清次は上きげんだつた。かれはお島が氣に入つたらしかつた。

「こりやあ怪しからん。人前があるぞ」

と小五郎がいふ。

「そつちは小松といふ、すばらしいのが附いてゐます——なあ、おかみ」

「さうでございますわれえ」

お島はさびしい氣持だが、色ツぽい眼を使ひわけた。

「それはそれ、これはこれ……」

「旦那さまも、存外氣が多いんですこと。いひつけますよ」

「はツはツは……綺麗な者を見れば、誰だつて——さうだらう」

と清次を見る。

「おかみは一人で、やつてゐるのか?」

と清次は、ほかの事をお島にきいたところ、小五郎に問ひかけられて、やゝあわてた氣味で默つてゐると、小五郎は、

「差しつ差されつ……昔なじみをかこつけに、人前で、さう睦まじくされては、連れて來たわたしの立つ瀬がない。おかみ、此方などうしてくれる?」

「いゝぢやあございませんか、れえ」

「その通り……」

「れツきとしたのが、附いてゐるのを、知らないな」

と小五郎は親指を出した。

「嘘ですよ。こんな婆あは……誰ひとりかまひ手がありません」

「眉つばものだ。打棄つて置く者がないのだ——な」

「まあ、さうですれ」

と清次も相槌を打つ。

「あら、卑怯ですわ。彼方へべつたり、此方へべつたり、あたしのお味方ぢやなかつたんですの」

「そりやあさうだが、本當の事は仕方がない」

「嘘ですつたら。本當にたつた一人……頼みにならないんですれえ。おほ……お邪魔をいたしました。あんまりぼろの出ないうち、そろ〳〵……」

とお島が腰を浮すと、

「まあ、よからう」

「御酒でございますれ。ほかに?」

「もう二三本、それでいゝ」

「どうぞ御ゆつくり……」

お島は立つた。襖を締めて、ちよつと立ち止まつたが、すぐ足音をさせて、廊下を踏んで——。

(迂闊にさぐりを入れて、藪から蛇を追ひ出すやうな事は……)

氣永に待たう——とお島は思つた。

茶の間に歸ると、女中に用をいひつけて、お島は手酌で飲み出した。蒼白く澄んだ顔で、ぐいと飲んでは、頬杖をついて、考へ込む。

つめたい雨に、しきりに萩がこぼれてゐる。

時局奉公資金募集の映畫會

大連婦人團體聯合會主催滿鐵社員倶樂部後援の時局奉公資金募集映畫會は二十日午後六時半二十一日午後一時及六時半の三回協和會館に於て開催する、プログラムは入江たか子主演「滿蒙建國の黎明」十三卷を先に寫し、休憩後トーキー漫畫一卷及び「敢然本認へ」三卷を上映する會費五十錢

防風林 愛の

松竹現代劇　中央映畫館

久し振りに及川道子の主演作品で相手役は大口方傳、新入社の藤井貢の第一回出演作品で監督は清水宏、原作は林逸馬

スクリーンに描かれたところは甚だモダン風景で、流行物のギヤングまで飛出して尖端の近代風景を取扱つてゐるが、中味は古い新派劇であり、而も新派悲劇のメロ味にまで徹底せず中途半端である

興味のあるのは氣のきいたタイトルと不良少女リリ子(逢初夢子)の戀愛技巧とその相當大膽な演出である及川道子の妻は落ちついた演技振りである、大日方傳の夫は性格がハツキリせず、板についてゐるのは奈良眞養のネオンの錢、結局モダンな都會風景を見るだけで凡てがもう一息といふところで全篇に亘つて突込みが足らない【寫眞は及川道子】

口笛を吹く武士

寛壽郎作品　映樂館上映

新進の才人山中貞雄監督と嵐寛壽郎のコムビ物として映畫界の注目を集めた作品である

ストオリは林不忘の原作で、吉良家の附人清水一角の兄、狂太郎が義士を助けて仇討をさすまでを描いた義士外傳である

……◇……

山中監督のメガホンは例によつて明快で映畫的感覺を彼一流の技法によつて爽かに盛上げてゐる、その手法は巧な畫面轉換に終始してゐる

即ち例へば一つの酒德利によつて畫面をダブらして忽ち新らしい場面へなだらかに展開を試み快いスピードを以て物語を運んでゐる

……◇……

たゞ脚色が餘り寛壽郎の狂太郎中心主義となつた爲めに狂太郎一人で義士に仇討ちをさすやうなストオリの缺點があるのと、無聲であるため題名のテーマが強く效果的に響かない憾みがあるが、寛壽郎の作品に映畫的感覺を與へた點は「小蝶しぐれ」などと共に推賞さるべき作品である

懇親素謡會

日出町觀世流同好有志が集り廿一日午後六時から日出町倶樂部で懇親素謡會を開催、番組は竹生島、小督、羽衣、熊坂、紅葉狩

頑固 慢性 ぢ疾に惱む方に

お奬めしたい内服新治療劑

再發……擢患……切つても灼いても治り難い頑固性ぢ疾の方や永年ぢ瘻脱肛で困つてゐる人がコノ藥を用ふれば、一二回の内服でその苦痛が軟げ短時日の連用によつて愈々本劑獨特の藥效により奏效し……遂に全快の喜び!現に幾多の服用全快者の中には重症なぢ瘻で到底不治と諦めてゐた人達が左記の樣な一劑で癒られた感謝の辭を寄せてゐる。原氏曰く……重い永年のぢ瘻が短時日で全快した爲め再發を憂慮して種狀を差控へたが今日では再發せず全く根治した。飯塚ヨシ樣曰く三日目に重いイボぢが痛み止まり奏效輕快……百世の國手に勝るこの絶讃!神太郎氏曰く僅々一週間にて完全に健康を取り戻し得て現在何等の症狀なく愉快に働いて居り候……コノ有名なぢ藥の内容效果は以上の事實が雄辯に物語つてゐる。ぢ瘻脱肛不治難症の聲高い今日、コノ名藥こそ同病者に無限の健康幸福の光を與へたものとして一般世人の注意を喚起してゐる。因に總發賣元は有名な宇治茶問屋京都府田邊局區内草内梅通十三玉草園分店であるに於て世人は又本劑の信用を一層裏書するであらう、因に病者の申込に限り有益な治療秘訣法無料で差上る由。

淋病 プラオンギン ケンゴール

治療と性病豫防に絶對權威

本劑は、前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤榮先生が十餘年間多數の患者に實驗研究して、完成發表せられたる新銀劑にて、既に多數專門家の臨床實驗によれば、治淋劑としての最重要點たる深達殺菌、消炎三作用の敏速的確にして、治療期間を極端に短縮し得たる點は、絶對に他藥の追隨を許さゞる處とす。而も殺菌力頗る強烈にして〇、五乃至〇、八瓦(即ち尿道粘膜に塗布する程度)の極少量にて、使用一回毎にその效果驚くほどメキ〳〵顯はれ、洗滌挿入藥等の如く藥液と共に淋菌を後部に送入する憂なく從つて攝護腺炎睾丸炎等の併發症を起す如き怖れは絶對になく、反つて之等を豫防し得る作用は最も本劑の實證を博せる處なり。

尚は本劑は性病豫防として使用するも、前記の如く殺菌力強烈にして事後數時間後の使用と雖も其の作用は絶對を期し得るものなり。

藥價　二〇瓦入(約十五日分)三円六十錢　五〇瓦入(約三十日分)七円　八〇瓦入(約五十日分)十円

權威ある博士が淋疾患者の是非心得て置く可き自宅療法について必要な知識、日常の手當、養生等を親切に書かれた「淋疾と其の治療」と云ふ良書、及び獻其他患者の爲めになる本を今回に限り無代進呈しますから至急ハガキにて直接發賣元へ御申込み下さい。

東京市芝區三田通新町 電話三田一六八五・一六八六　日東藥化學研究所　KS—3

全國有名藥店にて販賣す

御案内

故中村敏夫氏所藏　新古書畫 骨董書籍 珍品 澤山 數百點 有

書畫骨董 正札卸賣大展覽會

日時　十月廿二日、廿三日

主催　大連市信濃町一〇一 電七五八〇番　高橋武平

場所　大連商工會議所 電四五四六番

ダンス教授 (團體個人出張教授)

公認教師 大連音樂學院教師 陸軍二等軍樂手　尾崎豐三

聖德街三丁目七七榮太郎書店隣

謹告

識者は自治行政の實務化を叫んで居ります爲めに大連市會の改選毎に實業家の進出を望んで居るやうですそれは自治行政の實務化を期するからであります私は政黨本義の東京市會を眞似るよりも自治行政の實務化したる大阪市會を贊成するのであります隨つて各階級を網羅し專門の知識を集結するの要ありと信じます

土木建築協會 聖德實業會 公認候補者　蔦井新助

御詫

今般弊店員の不注意より失火仕り皆々樣へ多大の御迷惑相掛け何共申譯無之次第に御座候就ては御預り品に對しては只今極力整理中に付絶對責任を以て辨償可仕候間何卒暫く御猶豫下さる樣偏に御願申上候

猶取込中の事とて御預り品に對し記憶漏も可有之と存候間誠に申兼候得共左記へ乍御面倒御申出下さらば幸甚に御座候

伊豫市樂器店　植田茂一

(立退所 春日町四四鵜邊方)

滿洲日報

發行人 印刷人 大連市東公園町滿洲日報社 定價 一ヶ月金一圓二十錢

一は押し、二押し 三も押しの一手
陸軍の明朗なる態度

【東京十九日發】陸軍の對聯盟方針はこれまで屢々聲明された如く既定方針に一路邁進することゝなつてゐるが併し出來得れば平和裡に問題を解決し所信を貫進するを理想として目下列國の輿論等を蒐集して政治的解決への平和手段を講究しつゝある而して小國は依然自國本位の敵本主義を執りつゝあるに反し

諸列強の間には日支事變の特殊性を漸く自覺し事實に即せぬ解決方法に依るの危險を認識し歐米流の空理空論では到底解決困難なることに意見一致を見んとする傾向あり

これ等列強間の輿論の歸趨に對してはこの際日本國民の一層の大團結力を要する次第なので日本の主張貫徹のためには小細工や權謀等は一切排して一も押し二も押し三も押し、押しの一手あるのみとなしてゐる

『取材の輕重を 判斷し得ぬ報告書』
手嚴しい滿鐵側意見

【東京十九日發】リツトン報告に對する滿鐵側の反駁意見書は本日東京支社を經て外務陸軍拓務各省に提出された

【東京十九日發】リツトン報告に對して滿鐵本社では直に之が反駁書を作成東京支社を經て外務、拓務兩省松岡代表に提出した要領左の如し

調査委員報告で滿鐵に關する記述は主として第三章に包含されたところ會社は該報告書で屢々旅行者が犯す早計なる概括的記述が隨所に行はれたるを感じてゐるが全般的印象は起草者が自己の立場を考慮する餘り記述に一定の眼界を書き結果から見て甚だしい不公平を生じ且つ取材の輕重を判斷し得ず重大なる前提、神秘なる影響ある事項を閑却細微の事實を誇大に强調したとて鐵道經營の立場から論理的歷史的に啓蒙し詳細に亙り誤謬を實證してゐる

聯盟の能力が問題
肇施基の氣焰

【ウイリアムスバーグ十九日發】目下開會中の國際問題協會の會合において肇施基は左の如く演説した

日支紛爭は世界の秩序ある國際關係を危殆に陷れんとしてゐる日本が聯盟の意思によつて行動することを拒否した見地より見て此際最重要點は聯盟の不和維持機關としての能力如何の問題である、日本は支那の内部不統一を攻撃してゐるが、之は或る强國がその政府の力を以て軍部の行動及び外交政策を統御出來ないよりは遙かに危險が少ない

怪焰を揚ぐ
米極東部長

【ウイリアムスバーグ(ヴアジニア)十八日發】米國務省隨一の東洋通たる同省極東部長スタンレー・ホーンベツクは本日當地に開かれた國際問題協會の會合に臨み一場の演説をなし極東情勢に就き左の如く述べた

極東の情勢は依然として平和破壞の狀態を繼續してゐる、實に紛爭解決に武力に愬へたこと自體が既に諸條約履行上の問題を提起せるもので事態は平和破壞の事實を構成ぜるものである、故に現下の情勢は戰爭を招來するものとして全國際團體の關心事となつてゐる、各國が安全保障のため平和阻害に反對し戰爭防止に全力を擧ぐるは天賦の權利だ、アメリカの從來執りたる及將來執るべき政策は大戰後各國間に生じたる多邊的協定に對する米の傳統的解釋に嚴格に從つたものだ、米は日本が未だ列强となる以前に於て現に米が支那に對し執りつゝある方針で日本に臨んだ、米は九ケ國條約を無視する如きは調印國の東洋に於ける安全保障の正當なる權利を犯すものなるを信ぜざるを得ぬ

謝答禮專使晴れの帝都入り

滿洲國承認答禮專使外交總長謝介石氏は十八日午前九時二十分東京驛着特別列車にて國賓の待遇を受け晴れの帝都入りをした、謝專使一行は東京驛頭においても盛んなる歡迎を受け一先づ帝國ホテルに入り執政令弟等と會見後參内し、來朝の記帳御禮御挨拶を述べて退下した、寫眞は東京驛着の謝專使、先頭より二人目、その次は大橋外交次長

謝答禮專使一行
昨日多摩御陵に參拜

【東京二十日發】入京第三日の二十日滿洲國專使謝介石氏は大橋外交次長を除く隨員全部を隨へ午前九時ホテルを出で折柄秋晴の甲州街道沿道の秋景色を賞しつゝドライヴして多摩陵に到り古川陵墓監の案内で大正天皇の英靈に拜禮恭しく花環を捧げて正午頃ホテルに歸つた

謝特使動靜

【東京廿日發】宮中より遣はされた自動車に分乘し宮中に向ひ、少憩の後隨員と自動車に分乘、靖國神社に參拜滿洲事變に陣歿した將士の靈に心から冥福を祈り四時二十分ホテルに歸着、五時飽代表等と共に歌舞伎座に向ひ、大谷社長等の出迎へを受け二階座席に姿を現はすや觀衆は滿洲國萬歲を叫べばつゝ之を迎へ滿洲國旗を振り謝特使は感激して之に答へそれより梅幸、吉右衛門等出演の黑塚を大谷社長の説明で最も興深げに見物したが都合によりこの一幕を見ただけで六時半ホテルに歸つた

軍令部長宮樣 演習御統監

【橫須賀二十日發】伏見軍令部長宮殿下には來る二十三十一日迄九州より伊勢灣に至る太平洋沿岸に行はれる演習御統監のため本日時御召艦で一路演習地へ向はせられた

農村救濟を目的の 各地の工事不成績
明年度は縮小せん

【東京二十日發】時局匡救豫算實施の狀況をみるに各地共成績芳しからず地方長官の政府に對する報告の如きも殆ど全國的に時局匡救豫算中農林省所管即ち里道開設耕地整理其他内務省所管の工事は地方農民が之を喜ばず、然るに内務省及び農林省は豫算全部の工事遂行を命令してゐるが、農民の工事人夫に喜んで應ずる者が少いため政府部内には時局匡救豫算は農村の實情に適せず農民が直接人夫に應ずる工事でないものは農村救濟にはならないから財政難の今日無理に之を遂行する必要なく來年度以降の時局匡救豫算も農民の人夫に喜んで應ずる事業のみとし農民以外の者を使用せず實施出來る程度に縮小する必要ありとの意見有力に行はれてゐる

山本內相 農村視察中 微傷を負ふ

高橋藏相歸京

通關申告書に 邦文も併記

滿洲民政部で 歸化法制定
現住者には執照發給

ガ氏卒倒を否定

中央共産黨秘かに 北支の赤化に努力
官憲協力して彈壓

劉韓兩軍 妥協か

劉湘軍退却

萬國婦人子供 博覽會 總裁奉戴

駐日勞農參事官 來滿の使命
駐奉總領事代理談

血魂除奸團の 排日貨運動屛息
聯盟空氣の好轉策か

福州の排日 漸次激化

開發のためなら 幾らでも貸出す
東拓支居長の土産話

城子疃安東間 鐵道借款

許次長一行

關東軍首腦者 送別宴取止

雄基、羅津間の 鐵道は明春起工
羅津港の築港と共に

內地在郷軍人が 滿洲で就職希望
依賴者二千五百餘名

高率關稅 引下强調

英勞働黨首領

坂根總領事

有吉公使聖上拜謁

辭令

全權部と司令部
來月一日までに新京に移轉

社説

思想對策問題 焦眉の急務

政友會の思想對策特別委員會では、去る十五日政府當局に對して、全國的に嚴重なる思想取締を要求することを決議した。近時の思想問題に關して心配しているのは、敢て政友會ばかりではない。實に全國民の深く痛心する所である。最近の新聞記事によれば、東京市大森に於て川崎第百銀行支店を襲ひて三萬圓を強奪したギャングがあるが、其の記事によれば、右の強奪は共産黨の資金調達の爲めであつて、取調べの結果、系統的に重大な計畫のあることが明白になつた。卽ち彼等のシンパは頗る多方面に涉り、其中には集金係りもあれば、武器買收係りもあり武器の貯藏係もあるといふ次第である。現に前記大森支店內にも四名のシンパがあつて悉く逮捕されたといふ。これまで共產黨に對しては度々大檢擧が行はれてゐたけれども、尙聊かも終熄の模樣は見えず、從つて抑へれば隨つて蔓延する。尙は最近富山縣の小學校敎員中に、共產主義の蔓延顯著にして、檢擧されたもの十數名に上り、同縣はもとより全國敎育界に一大ショックを與へてゐる。更に茨城縣下にありては、先日の極右派の大檢擧後、反動的に其思想は益々高調されんとする傾向があるといふ。北海道地方にては、大水害と凶作の爲に、思想的策動が行はれてゐるとの事である。斯樣な有樣であるから、假令表面には現はれずとも、左派若くは右派の過激思想が今や各方面に隨分侵潤してゐるものと思はれる。

◇

我邦には極右極左の政黨が餘り大なる勢力を有しないから、選擧による全國投票數の統計を以て、思想の動的狀態を察するに困難を感ずるけれども、ドイツの如きは、投票數によつて之れを窺ふことが出來る。卽ち、ドイツに於ては、近年議員選擧の行はるゝ毎に、極右派と極左派の投票數が、年と共に非常の勢ひを以て增加し、中央派の數は次第に減少する傾向がある。之れは畢竟同國の壓迫された內外の國情による人心の焦躁に原因するもので、右にあらずんば則ち左に傾き、中正穩健な思想は人心に刺戟を與へないが故に排除せらるゝのである。日本の國情はドイツの窮迫に比すべきではないけれども、尙世界的不況の影響を受けて、生產は減少し、國債は膨脹して、公債のみ年々大に增加す。之れが爲め國民が疑懼の念に襲はれ、神經質となりて、徒らに焦慮躁思の傾向あるは掩ふ可からず。其の結果漸次、左傾的並に右傾的の過激思想を生むに至る。固より全國民の割合から見れば少數で決してドイツに於けるが如く甚しくはないが、ドイツの例より推して、我國の近時の思想的傾向を察することが出來る。

◇

右派にせよ又左派にせよ、我國體に反するもの、又は我憲法並に法令に抵觸するものは、嚴重に之れを取締らざるべからざるは云ふまでもなく、更に敎育其他の手段によりて、此れを未然に防止せねばならぬ。之れ重大なる法律問題であると同時に政治問題である。……

ち一方に警察及び法規の手段によりて之れを取締り、他方には政治の力によりて、人類として生活安定を謀り、日本國民としての信念を養はねばならぬ。今日問題になつてゐる匡救政策、敎育改善等の如きも、此處にその根柢を置かねばならぬ。目下大藏省、農林省、商工省、內務省、文部省のみならず、司法、拓務、遞信、鐵道、海軍、陸軍の各省は、各自の立場から、夫々此問題に就きて研究はしてゐるけれども、尙滿足なる解決案を見出し得ないと見え、時々直接行動者の出現を見る。各方面に於ける徹底的對策研究は、目下の急務である。

鮮滿官憲共力し 赤色追放に協調
三矢協定を廢棄し 新協定を締結

大正十四年六月十一日行つた三矢協定は廢棄されることになつたが今回これに代るべきものは近く設定される筈であるがその本旨とするところは朝鮮人の保護取締りにあり、從來舊軍閥政權時代にはこの協定が發揚され寧ろ善良なる鮮人が不良分子と同一視され屢次舊軍閥のために苦るしめられてゐるのであるがこれが根本を改正し日滿官憲の協力的取締りの取りきめを行ふことになるのである、只聞するところによれば今回の協定は左の如きものである

日本側提案

一、不逞鮮人取締り並びに檢擧について奉天省官憲は出來得る限り在滿日本官憲と協力し特に共產主義者の取締には充分の連絡協調を持し殊に奉天省官憲に於て逮捕したる鮮人は遲滞なく日本官憲に引渡し恣に拘禁又は處罰せざること

滿洲國側提案

一、滿洲國人が奉天省內に於て罪を犯し朝鮮內に逃亡したる場合奉天省官憲に於て指名して逮捕引渡し方を要求したるときは出來得る限りこれに應ずること

二、本協定の細部に就ては追て商議すべきも、右により省警察が恣に越境することを承認するものに非ざること

といふのである【奉天電話】

滿洲各地炭礦の 經營方針未決定
滿洲國政府で研究中

撫順を除く滿洲各地の炭礦は大部分張學良政府の直營又は投資に屬してゐたので昨秋の事變以來、經營者を失ふに至つた、よつて滿洲國政府ではこれが

應急策として 一部の炭礦は他に委囑して採炭をつゞけて來たが、成るべく速かに根本對策を決定する必要に迫られてゐるので今春來着々研究を重ね、十月中には大體の成案を得る手筈になつてゐた、しかるにその後種々事情發生し更に十分の調査をなす必要あり、昨今の狀態では最後案の發表までにはなほ相當の時日があるものと見られるに至つた、しかして根本案として傳へられるところは

一、滿洲國政府の直營
二、官商合辦會社の設立
三、滿鐵への委任經營

の三つの方法で、しかして第二の方法についても滿鐵の資本を入れるか

日本より の資本を誘致するか等について議論の餘地があるものゝごとくである、前記三つの方法中のいづれによるにせよ、舊奉天政府所有の各炭礦を一丸として、滿洲の統制經濟の建前の下に經營すること〻なることは變りない模樣であるが、これら炭礦合同の埒內に入つて來る炭礦は左の諸礦と見られてゐる

	埋藏量	年採炭量
鶴立崗	四億噸	三十萬噸
北票	二億五千萬	六十萬
西安	一億	二十萬
復州	三千六百萬	二十萬
八道濠	二千萬	八萬

卽ち年產約百四十萬噸に達しこれら各礦は一部は南支に輸出され一部は滿鐵沿線に進出し來り撫順炭を

撫順炭を 脅威してゐたものである、しかるに現在では南支は滿洲炭を外炭と看做して輸入税を課するに至り輸出は極度に困難となり、地賣りも銀昂騰して……のごとくなる能はず、加ふるに匪賊の難あり現在復州、八道濠、西安の各炭礦は經營難を示してゐる故に滿洲國側の炭礦合同の具體化も容易の業でなく、なほ相當の時日を見るものと見られてゐる

全滿觀測網敷設
關東廳乘氣となる

過般奉天に於て軍部、關東廳、滿鐵代表によつて全滿觀測網敷設に關し協議會開催されたが關東廳ではその結果、四平街、鳳凰城の二地に觀測所を新設する外長春、ハルピン觀測所を擴張しチチハルその他へ技手派遣に決した、右は滿洲國の產業文化の開發並に航空氣象機關完成を主眼とするもので關東廳としては双手を擧げて滿洲國及び軍部の爲め可及的迅速に之が實現を圖るべく手配する筈である但し新年度の豫算は相當拓務本省より限定されてゐるので或は北滿の新設の爲め關東州內の一部施設を縮小する必要に迫らるゝものと看做されてゐる

鹽運使署改組

東三省鹽運使署は今回鹽務署に改組され、署長には前奉天省財政廳秘書長劉維衣氏が副署長には森田武雄氏がそれぞれ任命され劉署長は一兩日中に營口に赴任の筈【奉天電話】

酣戰期の旅大市議選擧
危機をはらんで 激戰地は埠頭方面
縣人會の爭奪に大童

市議戰は引き續き大勢に變化を見せないが手廻しの早い候補者は既に得票の整理を濟まし更に陣容を立て直して攻防の秘策を練り或ひは息づくひまもなく再動員令を下したところあり、來るべき第二回の混戰を前にし無氣味な低氣壓は全市を蔽ふて彈が上にも選擧氣分をただよはしてゐる

伏見臺方面 早くも戰雲動き田中(宇)桑野の兩候補が鎬をけづつて奇襲を試み城を守る佐多候補はいま全軍に號令し應戰これ努めてゐる、恩田、五十嵐、田中各候補の枝隊もまた後方擾亂に努め有馬、高塚兩候補の伏兵も網を張りつゝあり四百票を目標とする大激戰は漸く熱して來た、山縣通り、土佐町、寺內通り、埠頭方面の

東部戰線 相川、小野、有馬、高塚、矢野など千軍萬馬往來の各候補と五十嵐、田尻、森川、恩田、山口、西田、志村の新人候補がなほセリ合をつゞけそれに林田、鯰澤兩候補も遲れ馳せながら參加し局部的に小衝突を演じてゐる

聖德街方面 若月、萬井、矢野、上原の各候補が四つに組んだまゝまた休止の狀態にあるが森川、石川候補の襲擊に遇ひかなりの痛手を受けたもの〻如く

沙河口方面 西部戰線は森川、石川、一宮、菅原の四候補が共同戰線を張り斷然地盤を死守してゐるがソレでも大連方面の各候補に蠶食され殊に石川候補の打擊は大なる模樣である、目下言論戰で火の手を揚げてゐるが各候補何れも第二の作戰に餘念なく南部戰線

老虎灘街道 は第一回の處女戰により既に高橋(猪)松浦、五十嵐三候補に大勢決したもの〻如く露西亞町方面の北部戰線は直接、山口、西田、千種の滿鐵側候補で押へ有馬、笠原、五十嵐、鈴

縣人會方面 福岡、方面の第二回戰は相當激烈であらう

千二十三票を目差して同縣桑野、田中(正)の三候補有交戰して來たが上原候補有へられ、熊本縣人八百七票となつたが田尻候補最も優勢、林田、松浦、田尻各候補はれ、また大分縣人六百四十當選候補に鬱憂さるべく候補の競爭となつたが佐多縣人八百八十八票は佐多、旋色よくまた岡山縣人三百票は小野、高塚の兩古參候てゐるが愛媛縣人四百七十(宇)五十嵐兩候補、長崎百八十三票の相川、立石兩同樣今のところ五分五分である

「苦戰」を樂觀の 候補二人男
その事務所を訪ふて

高塚源一候補は浪速町目抜の場所たる最勝ビルの一階一室を借り受けこゝを選擧事務所とし市川年房氏を選擧事務長として作戰計畫をめぐらしてゐる「どうも無產候補でれ、充分な活動も出來ず閉口してますよ」と弱音を吐く、併し無產の苦鬪が同情を惹いて遙かに長春方面から激勵の電報が舞ひ込んでゐる、コツ〳〵と極めて地味に堅實に活動してゐる、同候補は識家屯北區および西區ソレに岡山縣人會、技藝女學校、大連新聞、日蓮宗信徒その他を根據とし立候補したのであるが一般に傳へられるところによると樂觀を許されない

市會に於ける高塚氏は一方で今一段の努力を望まれてゐる……

志村鐵吉新人候補は瓦斯會社の二階に選擧事務所を置き滿鐵經濟の西川國一氏が事務長格で采配を振つてゐる、同候補は瓦斯會社を唯一の地盤とし昌光硝子、大連窯業などの後援を得、國際、大汽等にも手を廻してゐるが作戰は當らず頗る苦戰をつゞけてゐる、從つて事務所にも「熱誠は最上の武器」とか「油斷大敵」「吾等の候補を落すな」「先づ一票を堅く守れ」等々……のスローガンを掲げ激勵し合つて血みどろの鬪ひをつゞけてゐるが氏は瓦斯會社の常務取締役、人格識見卓越の士で今回の立候補に就ては左の如く語つてゐた

私は大連市民として二十二年の生活を基調とした一つの信念を持つてゐる、立つた以上はこの大連の地を繁榮の都、住みよき都とする理想に於てまた努力において敢て人後に落ちない心算である

豫算編成と二政黨
增税は不可
政友會顧問 大口喜六

來年度非常時豫算は極度の緊縮一點で、また假りに新規要求額を半分……

……て近來一部には頻りに增税の必要を主張するものであるが、これは理論上からいへば無理からぬことゝ思ふ。

× ×

さて理論は理論として實際問題に立還つて果して今度の議會で增税すべきかと問はれるとさう簡單には贊成出來ない、なほ多くの研究を要する……支持したい、もつともこれは私の意見であつて政友會全體の態度とは申されないが、ともかく事實上から見ると增税してもいくらの足しにもならぬ、世間には社會正義の立場から擔税力のある富豪階級に重税を課すべしと主張してゐる向もあるが、金持ちは極小數だから上の方だけに課税したところで

それ以上の增税は考へものだ。私は個々の增税なさよりも、むしろ根本的な税制改革の必要を力說したい、これはもちろん今議會には間に合ひさうにもないが、政府はこの際國民の擔税力に應じて税制を根本的に改革しなければならぬと考へる、これに對して私は年來單一所得税說を主張して來た卽ち地租だとか營業税だとかの區別を廢して國民の資力に應じて單一税を課しまた特に必要とあればその上に特別所得税を課すべし、それと共に奢侈税なぞは思ひ切つて高率にすべしといふのである、これに就いてはいづれ折を見て委しく說きたいが、ともかく政府はなるべく早く税制改革問題を具體化せんことを希望する。

中だるみの 旅順市議選擧戰
最後の突擊が見もの

旅順市議戰は依然沈滯を續き表面的變化は看取することが出來ない今日の狀況では十二立候補者が言政見發表演說會の噂も放送されず論戰を開催する他、このまゝ一氣に押し通し最後の突擊に移るのではないかとも觀られてゐる、一方又打つて一丸とした立會演說會開催の議も無いではないがどうも步調が揃はぬ形勢であるから今日の處では實現不可能と觀測されてゐる其後の立候補者にて事務長及び事務員の屆出を爲した者は

▲高田候補者自ら事務長となり、事務員に鈴木品、森爲太、高野光藏の三氏

▲岡野候補者亦自ら事務長に、事務員として中野福松、八木龍平の二氏

▲中村候補者も亦同樣にて事務員に泊喜雄氏

▲橋本候補者同じく自ら采配を振り事務員に檀員造氏

▲佐藤候補者事務長に村田由松事務員に目黑湧、佐藤晋三の二氏

さいふ物凄さ往年の碧流河に於ける馬賊討伐を髣髴せしめるこれで全立候補の陣容がハッキリしたのである、而し旅順警察高等では戰況の進展につれ觀察に六名を增員いづれも私服の上司法刑事も共に連絡瓜生主任自ら陣頭に在つて指揮最も嚴重なる取締を行ふべく十九日より陣容一般方略を指示する處があつた

滿洲國開發助成 機關設立を計畫
日滿經濟聯盟にて

【東京廿日發】過般設立を見た日滿經濟聯盟は滿洲國の開發と日滿經濟ブロック政策遂行に資するため滿洲國開發助成株式會社計畫を……

滿洲國關税 合理的改正

ボンベイ棉花 取引再開

【ボンベイ十九日發】ボンベイ棉花取引場は印度自治派の脅喝によりヨーロッパ人の仲買商排斥を行ひ永らく休業中であつたが十七日英人並に印度人棉花仲買商間に妥協成立し事件が無事解決し十九日午後より取引きを再開し同時にヨ……

重要商品輸出入額

電話の問合せ

◇番話電號を知つて其番號持主氏名を一〇二番に問ひ合せたところ一〇三番に尋ねよと云はれ一〇三番に聞けば更に八〇三五番に問へと答へられ又そこへ掛けたらば結局その係員缺勤せるに付不明なりと答へられた。

◇結局徒勞に歸し遂に電話帳を一頁毎に繰り辛ふじて知ることを得た、氏名による番號の問合せに對しては直に答へを得る番號を知り氏名を答ふることがかく厄介、且つ一員の缺席ならば絕對に不明のものですか、又その事由の下に二べもなく拒絕せらるゝは如何にも不親切ではありませんか。(二不花)

お答へ 一〇二番は電話番號のお判りにならない方の爲に設けてありますので、お尋ねの樣に番號は判つてゐてこれに依り其の名義者等を調べる方の臺帳は現在備へてありません。

◇これは電話番號さへ判れば直接お尋ねになることも出來るので實際上其の要求も少いからですが種々な事情で時にお尋ねを受けることもあるので其の場合は加入課(八〇三二番、但し沙河口方面の分は同分局九四〇〇番)の方で番號簿掲載事項の範圍內にて差支ない限り調查してお答へする事に致して居ります

◇御問合せになつた日時、電話番號等が示されてないので具體的の調査が困難ですが一〇三番と云ふのは障碍掛で同掛には試驗用として加入者番號順のカードがあるので簡單なお尋ねには便宜お答へ出來る場合もありますから或は其の意味で案內掛より乘れたので更に交換監督掛の八〇三五番へ移したるも當時休祭日又は執務時間外にて加入課員不在の爲調査の途なくお斷りしたものかと想像されます、何れにしても實情は前記の通ですから惡しからず御承知を願ひます(大連中央電話局)

市況(二十日)

株式 東新小脫り 當市强保合

特產 人氣引立ず 無味閑散

錢鈔 鈔票弱保合

商品 綿糸休會 麻袋保合

奥地市況

市場電報 神戸特產　大阪株式　東京株式　橫濱生糸　大阪期米　神戸期米　東京期米

美容漫談

◆…色の黑い白いを問題としなくなつたこの頃の化粧法はどういふ事を主眼に置いたら一番よいだらうか、地肌の美しいことは化粧の根本となる事に違ひない、しかし考へようでは化粧の目的から外れて皮膚の衛生、淸潔といふ事の範圍にも入れられる。

◆…たゞ美しく……といふのならお金のある人は美容院に顏を預けておけばよいし、それが出來ない人は他人から教はるか、美容の記事を讀んでその通りにすれば事足りる、しかし新しい時代の息を吸はうとする女性が漫然と美容師の書いた記事を眞似てそれで時代の空氣と果して釣合ひがとれてゐると思ふならそれは甚だしい矛盾であらう。

◆…考へてごらん下さい、新橋名妓や祇園名妓のあの洗練されたお化粧美が、どうして今の世の中を風靡する顏にならないのだらう四角のおでこで、しやがれ聲のデイトリッヒやお團子のやうな顏をしたマーチン等の顏に近代的魅力といふものを感じてゐる現代だ。

◆…それに相應しいこの頃のお化粧といふものを、一言でいふなら、それは「目的を持つた顏を作れ」と申したい、この言葉をもつて解りやすくいへば、生きてゆくことを喜ぶ顏であり、生活を樂しむ顏であり、そのうへに働くことに感謝する顏である。

◆…卽ち美容の第一は塗つたり、描いたりする事よりも「內面的生活の自から顏に漂ひ出る氣分」「雰圍氣」に重大要素がある。

ルンペン群

忍耐力が足らぬ

眞劍に働いて喰ふ氣なら　不景氣でも働き口はある

勞働保護會に聽く

滿洲へ！滿洲へ！とまるで黄金の實る木でも生えてゐるやうに僅かの旅費を工面して內地を飛出して來る無鐵砲な靑年や失業者は今日でもなかなか後を斷ちませんがこの人達の中で幸ひに望みかなつて仕事にありついた（それもほんのパンを得るだけの程度でせうが）ものはその中の極少數で、大多數は就職の見込は立たず所持金も使ひ果し、身につけてゐる少しでも金になりさうなものは

▼…**次から次** と金に代へてパン代に當て、それも失くなつてしまつて飢餓に苦しめられ遂に警察に泣きついて來たもの、又は困り切つた揚句惡いと知り乍ら盜みを働き司直の手に擧げられた不幸なルンペン達のうちで、內地へ送りかへされないで松林町の勞働保護會に保護されてゐる人がこのごろでは大抵十五六人を下りません、一日記者は同會をたづれて十數年來私財をなげうつてこんな不幸な人や失業者、よるべのない老病人などを世話してゐる會主永井氏からいろいろなお話を伺ひました

▼…**內地から** 來る人達はどうも忍耐力が足りないやうです、これは日本人通有の短所かも知れませんが、あまりに功を急ぐ結果何をしても永つゞきしないのです、あの力行會だつて昨年あれほど華々しく旗あげしたのに今では僅か三人しかゐないといふ有樣で、こんな風では到底商賣熱心な支那人と對抗して行けるわけがありません、先日來俥夫問題がやかましく云々されてゐますが俥曳だつて何だつて自分の額に汗して働くのに何の恥かしい事がありませう、日本人は先天的に體力が支那人より劣るから苦力のやうな仕事は出來ないと思ひこんでゐる人もありますが、これは大變な間違で日本人の方が支那苦力よりはるかに能率をあげてゐる事實も私は澤山知つてゐます、唯だ樂をして澤山金を儲けやうといふやうな

▼…**虫のいゝ** 量見をすててどんな仕事でもいゝから自分で働いて御飯を食べたいと眞劍に願ふ人ならいくら不景氣だつて相當働く口はあるものです。私は檢察局や警察から託されて來るルンペンに對して先づ「遊んでゐろ」と申します。寢るにふとんがあり、飢えぬだけの食物があたへられてゐてそれで彼等は暫くの間ブラブラしてゐますしかし三四日もたちますと健康な體を持つてゐるものには毎日ブラブラして何もしないでゐる事がたまらなく退屈になつて來るのです、退屈になつたつて一錢の小遣もない彼等（私は小遣はやりません）には活動見に行くことも出來れば煙草一本吸へない共處で彼等は

▼…**自發的に** 働かうといふ氣になります。そうして本氣で働きたいと願ひ出て來れば何とかして仕事を世話してやり、そのお金は全部彼等の自由に使はせますが、これを積立てゝ行商の資本にしたり、內地への旅費に貯金したりする者もあります先頃から一日三十錢で入用の家庭にいろいろな手傳にさし向けてゐますが、今まで支那人を傭つていられた家庭でも大變よろこんで下さつてこのごろの樣に大掃除や障子の張替などでなかなか人が足りなくて困つてゐる有樣です、勿論使はれる人が支那人以上によく働き重寶がられるやうになり謙遜な氣持で働かなければなりませんが、お使ひになる方でもなるべくなら支那人の代りに日本人を使つて頂きたいとかねがね希つて居ります【寫眞は同會にて】

家庭顧問

生れた時から下に前齒が一本、放置してよいか

【問】生後一ケ月の幼兒ですが生れた時から下の前齒が一本生えて居ります、何か不吉なことがあるやうに聞いて居りますが放つて置いてかまひませんか？子供はいたつて丈夫でございます、尙この齒は大きくなつたらどうなるのでせう（心配の母）

何ら不吉なこともなければ心配もいりません

日下卓四郎

【答】生れた時から齒が生えてゐたとて決して不吉なわけではなく昔からつまらない迷信です、しかしこれは齒の發生する時に齒芽や齒囊が表面に迷ひ出て其處だけが異常に發育したのですから殆ど根がなくてさわればグラグラするものが多いのです、もつとも稀にはしつかり生えて出る齒もないでもありませんが齒根がしつかりしてゐなければ放つてゐいても二三ケ月もたてばひとりでに脫けて來ます、脫けたあとは永久齒が生え出る迄は生え代りませんが一本位なら生えなくても不自由はありますまい、若し放つて置いて授乳や其他の邪魔になるやうでしたら齒科の專門醫に拔いてお貰ひになればわけなく拔けますから何等御心配は要りません

小さい兒童にジフテリヤ流行

お母さま方で注意を

▼…これから冬にかけて猩紅熱とかジフテリアといつた小兒にとつて恐ろべき傳染病が流行して來ますが、最近小學校の低學年生の間にジフテリアがボツボツ出てゐるやうですからお母さま方は斯んな注意が肝要です

▼…ジフテリアには六歳位までの幼兒殊に始終風邪ばかりひいて咽喉を害してゐる樣な子供が罹り易く、患者の着物とか、玩具、家具などの媒介によります、菌の潜伏期は普通一週間から二週間位ですが、早いのは二、三日で炎症を起します、症狀は初めのうちは風邪ひきと全く同じで頭痛をうつたへ、食事の場合咽喉が痛み、食慾が減り、倦怠を感じ、呼吸も吸ふのが多く且つ荒くなり、例の犬の遠吠のやうな特異な聲を出します

▼…ジフテリアは菌よりも分泌する毒素の方が有害なのですからその毒素を中和さへすればよいわけで一刻も早く血清注射せればなりません、手當てが遲れるとジフテリア後痲痺といつて手足の運動……といふことを判つきり覺えておいて戴きたいのです、でないと一度血清注射をやりますと過敏症になり、再びジフテリアに罹つて注射した場合、危險狀態に陷り頓死することがあります、二回目の血清注射は一回目の日から十日以內に行へば危險ありませんが、二週間經過した場合は危險です、然し二ケ月以上も經つて居れば危險は薄いものです親の方で何日にしたと判つきり覺えてゐて下されば危險を防ぐ方法があるので何回やつても心配はないのです

▼…次に家庭に患者ができた場合、隔離する事は當然の事ですが傳染を防ぐ意味で豫防注射をすることも一方法です、それに弱い子供はオキシフルの嗽ひをさせて下さい、そして出來るだけこれからは多勢の子供たちの集まる所は避けることです（瀧谷博士談）

滿洲婦人歌壇

廣瀬珠代

○たへがたき時のきざみなり日砂の濱邊重くひきり歩みつ

○秋の雨こまかく降れり此の朝人影もなく道はしめりて

○女子の樂しき集ひるがきつゝ行かれざる身をうら嘆くなり

○我が歌の許さるゝ樣じのばれて胸の動機の高まるを覺ゆ

○次々に職やめし人多くなりて殘りたる友大人びにけり

お台所のメモ

酢づけ

小魚は頭ごと白燒します、ひたひたくの二杯酢をつくり、一晩その中につけておきますと、骨も頭もみんな軟かくなつてとても美味しくさつぱりと頂けます。

キャベツ卷

腸だけ出した小魚を其儘すつかりたゝき潰し、鹽と胡椒と、古生姜のおろしたのを少々入れておきます、キャベツの葉は大きいまゝざつと熱湯をくゞらせしなやかにして今のすり味を包みます、深鍋に並べてひたひたの水をさして三十分位煮、普通のソースをさして又煮込みます。

バタやき

頭だけ去つた小魚を開いて（骨はそのまゝ）鹽をうすくふり、酢にひたして置きます、暫くしてから酢を拭いてフライパンにバタを溶かし、魚を入れて兩面を狐色にやきます。

ダレタッ

ヤアー　タイホーダ

滿日各地版

討伐に恐れた匪賊 續々歸順出願

主殿閣以下四百名の匪賊團 營盤で厳かな歸順式

……めてわが軍門に歸順を出……鐵道、鐵橋、列車、電信……名も歸順を申出てゐたの……與周氏其他地方有志立會……の銃器全部を提供して歸……と治安恢復を目的として……省治安維持會は民政廳長……會では全省の匪賊に對し……徒は一人も免ることは出……人以上の保證を以て家族……命の保障を爲すべし

歸順勸告を希告

鄧鐵梅のために慘殺された六人

その原籍と略歴

……ゐる六氏の原籍及略歴は左である

縣下毛郡和田村一千八十六

鳳凰城警察勤務　賀門輿市(三十一歳)

……十五年八月二十八日關東廳巡査拜命、同年十二月四日附小……署勤務、昭和七年八月十一……鳳凰城署勤務となる

縣中津市二百四十八番地

鳳凰城署勤務關東廳巡査　藤井實(二十七)

……出身、昭和五年五月二十九……關東廳巡査拜命、同年八月二……日附安東署、昭和七年七月

三十日附鳳凰城警察勤務となる

香川縣三豐郡觀音寺町

警務局指導官　白井成明(廿九)

熊本市船場町二丁目ノ一

鳳城縣參事官　友田俊章(廿九)

熊本市春日町六四三

縣公署秘書　西辰喜(二十六)

滿洲國人

鳳城縣秘書兼通譯　劉大周(三十)

四百の匪賊歸順式　わが川上隊長訓示　營盤にて

この苦心、この美擧 馬占山討伐隊員手記(五)

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と蚊軍と戰ひながら文字通り惡戰苦闘、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

衛生部員の苦心

突如出動命令が下つて海倫を出たのが七月十六日の正午であつた、折柄雨で行軍は相當に骨が折れた、其日の内に正白旗二井に至り翌日早く正白旗六井に着いて同地附近の警備に就いた、雨は底なしに降つて何日晴れるとも思はれない、其間にも斥候は全身ずぶ濡れになつて馬軍の發見、地形の偵察に餘念もない。

七月二十四日夕木村將校斥候に依つて馬軍を發見された、然も東方に向つて移動すると云ふのだ、大隊は忽ち兵を集結して六井東方約六里の鄒家店といふ一軒家附近に陣地を敷きて馬軍來れかしと手具脛引いて待つて居つた。

二十六日の晩は陰鬱だ、雨が降つてゐる、然し火を焚くことも動くことも許されない、蚊は攻めて來る、雨は顎から臍から浸入してくる、不平を云ふ者はない、皆我慢した、それで風邪を引いた者もなく今迄下痢を苦るしんで居た者も黙つてはいない、氣が張つているからだ、そう云へば六井出發の時兵力寡少なりし爲め瘧疾患者も同行したが之れは非常に心配だつた、併しそれは杞憂に過ぎなかつた、即ち彼等も又最後の馬軍殲滅地迄押し押しに押して行つたからだ。

二十七日の午前九時敵現はるの聲に我々一同は頓に緊張を覺へた、廣い平地、波狀の草原は一寸海に譬へられ「日本海々戰の敵艦見ゆ」との報にも喩へる事が出來た之ば吾迄我軍に味方し馬軍を矯正する神の攝理としか思へないこゝで馬軍は大隊の火網内に引入れられて再び立つことの出來ない打撃を受けて敗走した、其の樣は眞に痛快おく能はざるものであつた、大隊は之を追撃すると踵を接する如くであつた、加ふるに濕地通過山林地帶(滿洲で山林など一寸想像してゐなかつた事であるが)追撃は殆ど大木と雜草とで道も無い所が多かつた、第一に鄒家店南方の濕地で日本馬は皆動けなくなつてゐる、大隊長以下皆支那馬、この戰闘で我軍には損害はなかつた、それだけでも大きな喜びである、と同時に武勲赫々たるものがあつた、追撃が急なれば急なるほど衛生部員の骨折も一方ではない。

安古鎭の濕地では第五中隊の下田上等兵が左鼠蹊部に貫通銃創を受けたが元氣は一寸も變らない、處置をして來る間に大隊はもうドンドン前進してゐる、附添ひに第六中隊の初年兵が一名殘つてゐるばかりである、後から大隊の豫備隊が來るのでそれに負傷者の運搬を依頼することにし向傳令と馬一頭を置いて大隊に追及した、これは翌日になつて傳令が歸つて來ての報告であるが傷者は馬で第五中隊の位置に運搬し家屋内に收容したことを知つた、この傷者は三十日鄒家店にて大隊に合した。

安古鎭の濕地では深い所は胸迄水に入つた者もある、馬軍の逃げた跡は軍服とか馬具兵器等が捨てゝある、これを頼つて進んで行けば道を間違えずに大隊に追及することが出來る、我々衛生部員は遲れたならばこれに頼ればよいと考へてゐた。

幸ひにも晝間には落伍する者もなく追進した、山林地帶に入つて今度が初めての初年兵が一名疲勞の爲めに後れた、其の外にも落伍するもの三々伍々現はれるに至つた、衛生部員がこれを收容して居る間にも大隊はドンドン追撃をしてゐる。

山中の日暮は早かつた二十七日も既に暮れんとしてゐる、日のある中に大隊に追及したいと患者を勵まし乍ら濕地と山路を健脚にまかせて歩いた、その中に日は暮れて來る、患者は歩けなくなる、せめて患者を家屋内に收容せんものとあせつたが、家屋は勿論その夜食する糧食も無いのだから心細い事に角明るい間は歩けるだけ前進することにして宇敷看護兵は馬腕に己の疲勞も意とせず患者を背負ふ、既に自分一人も容易ならざる路を猛進した、併し今は暗黒の夜が訪れ敗殘兵の危險があるので路傍の木の下に露營することにした。

この時衛生部員と患者並に護送者を合して十三名である、忽ち前方から馬が四、五頭現はれる、それつと云ふので忽ちこれを包圍すると果して敵の敗殘兵である、全く疲勞し戰ふ元氣のある者はない殊に失笑を禁じ得なかつたのは彼等の曰く「飯々進上」であつた、勿論我々とて彼等に施すべき一粒の米とてなかつた。

又後方より糧食の來る當もなく其夜は互に天幕を被り僅か一、二時間假眠したに過ぎなかつた、これでも患者は翌日元氣を恢復してゐた、鹵獲した馬四頭に患者を乘せて大隊に追及を急いだ。

其間機關銃隊と合しこれより糧食を貰ひ受け元氣づき向進路を過ぎてゐることを知り直に引返し豫備隊たる第五中隊に合することが出來た、その夜二十八日も雨の中を露營に一夜は明けた、大隊の殘して行つた患者も皆恢復して急據大隊に追及しようとした、二十九日の正午大隊の近くに到着した頃には馬軍の殲滅戰も終局を遂げてゐることを知つた、それと同時に戰死傷の出來たことを報ぜられ殆ど飛ぶが如くに戰場へ馳せつけたのであつた。

尤も先に看護兵が二名居るがこんな重傷者があるかも知らないと云ふ心配があつた、この間約三粁の距離であるが道とてはなく木に纏き泥に足を蹈み入れて轉倒すること幾度たるやを知らず、衣は破れ靴といはず手といはず軍衣袴は勿論、下衣までもずぶ濡れである。

歸路此處を通過した時よくも此んな所が通れたものだと驚いた位だ、全く原始的なこの山林道路は聞きに聾し難い、馬軍もよくこんな道を逃げられたものだと感心の外はない、然し途中に捨てられた十數頭の無慘なる態を見ては如何に苦しいかゞ窺ばれる(某大隊附衛生部員)=この項つゞく=

湯崗子と鞍山間に自動車道路を開設

認可あり次第に着工

【鞍山】湯崗子、鞍山間の自動車道路開設は慶報の如く千山、湯崗子居住者から夏季に限らず屢々匪賊襲撃を受けた事實に鑑み軍部其他各方面に對して警備上是非該道路開設を嘆願する所あり、地方事務所並に警察署は管内の警備並に施設上何れの方面より觀るも切實に該道路開通を希望し鞍山小野寺地方事務所長は過般來遼陽縣廳、奉天を頻繁に訪問極力之が實現に努力し其效あつて遼陽縣、海城縣等は快く承諾したので鞍山製鐵所矢野工作課長の實測設計になる計劃書を十九日揚知事に送附し奉天要路に向つて縣の嘆願書が提出されることになり千山、湯崗子方面はもとより鞍山各方面多年の切望であつた鞍湯間の自動車道路は斯くして實現の運びに至り警備上は勿論溫泉を控へて鞍山の殷盛使宜上非常な效果を收むべく認可あり次第來月上旬から直に工事に着手する豫定であると

人質から 小前氏歸る

【鞍山】去る八月十四日滿海線に於て大倉組下請負として工事に從事中匪賊に拉去せられた鞍山北二番町一丁目小前才之進氏はその後友人田中某氏等の盡力により一千三百圓にて相談纏まり歸還の豫定であつた所恰も東邊道匪賊大掃蕩に出會ひ頭目以下全部歸順するに至つたので何等の條件も附せられず全く無事還り十六日午後十時四十分着列車にて歸鞍した、家族はもとより友人知己の喜び一方ならず目下自宅で靜養中である

五十川通譯の葬儀を執行

【遼陽】某騎兵部隊の通松として得軍し遼陽城東大安平附近に於て匪賊の大集團に包圍され、遂に戰死を遂げた遼陽在住五十川七造氏(大正七年徵集歩兵一等兵)の本葬は騎兵部隊と遼陽時局委員會の合同で廿二日午後四時公會堂に於て執行の事に確定したが同氏を斡旋した大矢株式會社は葬儀費にと金三百圓を、駐兵部隊からは二百圓、在鄕軍人鞍山支部長からは五十圓を送つて來たと

安東の公費滯納 五萬圓突破

公共施設の維持困難

【安東】安東地方事務所區内に於ける戶數割、雜種割の滯納歩合は沿線中最高位にあり九月末に於ける滯納額一萬三千七十圓を示して居り、これに加ふるに過年度分三萬七千四百七十圓もあり各公共施設の維持困難に逢着しつゝある、更に角毎月平均の所要經費(二萬四千圓)すら納入不足で今後に於ける圓滑なる經營發達は到底望まれず已むなく中止される破目に陷るものと憂慮され、九日の手許金約三萬四千圓も毎日の不足額を補充する事となれば十一月一杯で皆無となる爲め當局としても近く全員あげて滯納金督促行脚に出掛ければならぬ模樣である

人質卅九名

永建城沖合の海賊團 人質から歸つた男の談

【營口】山頭會大旬子屯十戎克船船長周廣福(三〇)は客月三日沖合にて海賊の爲め人質と拉致されその後三道溝にて百二十三人の戎克船に監禁されたが乘つてゐた海賊は合計六十人質が三十九名居りいづれも二萬圓を強要されてゐた、其後本月十四日に至り周廣福が該賊船に赴き直接交渉の結果大洋千九百圓で話か纏まり同日直に營口に到り即日同地を出發旅順に來た、處が極度に疲勞してゐたゝめ水師營に一泊十七日漸く戀しき我家に歸宅した事が判明し十九日佐藤警部補右當時の狀況聽取のため山頭會に出張した、尙本人は監禁中迫害を受けた爲め全身數ケ所は赤脊く腫上つてゐる、本人は語る

賊團は約六十名位で百五十石積の戎克船三隻、舢板三十隻を有し自分が歸へる際は人質として三十九名はかり監禁されてゐたその中二名は耳を切り落されいづれも千五百圓乃至五千圓の身代金を強要されてゐた

滿洲神社奉建 運動準備進捗

【旅順】滿洲神社奉建會委員は過般旅順市役所に於て協議會を開催の結果當初の原案に對し多少修正する處あり又重要點たる基金募集方法に就ても前勢に順應し適當なる改變を施す處があつたが十八日書類の淨書を了つたので十九日改めて關東廳に提出するに至つた、尙近く武藤長官の來旅を機會に從來の經過並に今後の方針に就き委細報告を爲す豫定であるさ

鹽田の協同調査

日滿調査團實地踏査

【大石橋】滿洲國實業部望月秀二外滿鐵關東廳職員を以て或日滿協同鹽田調査團一行九名は昨十六日瓦房店より來蓋平附屬地滿鐵俱樂部に滯在中であるが十八日は早朝より營蓋鹽田地帶實地踏査を爲し萬一を慮り營口海防警察隊及び蓋平縣警察隊は同行衛護の任に就いたが同地滯の鹽田は滿洲國各省の需要を充たすは勿論南支方面にも輸出其の將來の斯業のために相當期待に價するものにして今回一行の實情調査も其の第一段かと見らる

鮮農に救濟品

【鞍山】鞍山時局婦人會に於て避難鮮人家族の救濟に就き古着類の募集を行ひ各幹事に於て取り纏め鞍山警察署を經て寄贈した古着の數は實に七百點に達したので山本高等係主任は種目別によつて之を區分し十九日朝金民會長を呼び出し之が配分方を命じた

撫順署の鮮農保護隊歸る

【撫順】去る三日以來鮮農現地保護のため東社に出動中であつた撫順警察署鈴木警部補以下旅大兩署の應援警官隊二十名は、滯留中別狀もなく鮮農等は已に刈入れ收納を終つたので十六日朝鮮農等の收穫出馬車三十臺を護りつゝ同日正午無事任務を果して歸署した、尙同署ではこれと交代して撫海線前旬子章黨方面に派遣隊を出す筈である

鮮農の刈入れ

【大石橋】當地鮮人金武鎬及崔仲連の兩名は蓋平縣第四區江塔子(當地東南方一邦里)に約三天地餘の水田を耕作しありたるが本年は極めて順調に生育し一天地に付き收穫概三十五石を豫想せらるゝがこれが刈取りの時期に達したるを以て昨十七日より滿洲國人十三名の應援を得て五日間の豫定を以て刈取りに着手した、而して之れが保護對策に關しては該耕作地村長に依頼し自警團二十名及び村民の應援を求め一方萬一の場合は當地日滿官憲に速報應援する事に成つてゐると

撫順人一ケ月の支出三萬圓

撫順戶數の二割が加入し講會の素晴しい發展

【撫順】撫順に於ける講會の發展振は近年素晴らしいものがありその大掛りなものは一講會で五千圓七千圓といふのもあり撫順人はこゝもとこの講の掛金だけでも月々三萬餘圓を支出してゐるといふ有樣だから全く大したものである、即ち今撫順警察署についてこれを見るに去る昭和四年四月以降現在まで創立された講會は全部で三十六組、そのうち六年末迄終了七組本年六月迄で滿期終了したもの五組計十二組を差引き現在續行中のものが二十四組(うち滿洲人一組)ある、これ等は年內に六組、明昭和八年中十二組、同九年中六組といふ風に滿會となることになつてゐるが、一組が濟む毎に新しい講會は次々と創立されてゐる狀勢であるのでこゝ數年間は例へ多くはなつても現在より少くなることはあるまい

そこで更にこの二十四組の內容即ち掛金別や加入口數などのぞいてみるに先づ掛金は毎月一口百五十圓さいふのが最高で最低は同三圓さいふのもあるが列擧するさ毎月一口百五十圓二組、同百圓三組、同五十圓、同四十圓各一組、同三十五圓二組、同三十圓六組(うち毎日一圓掛二組)同二十圓四組、同十五圓二組、同十圓、同三圓、同大洋十元、各一組さいふ如く相當多額の講會が多く從つて加入者等の苦勞の程もうかゞわれるさいふものだ(尤もわざく安い金利で纏まつた金を得るためや人助けに加入してゐる人もあるが)

序に加入者の顏振れはといへば一組百人の講會が二組、五十人一組、四十人五組、三十五人七組、三十人八組、二十五人一組、合計加入者總數八百六十人といふ多數でこのうちには一人で二口三口を持ち重複してゐるものもあるので實際加入者は多少尠くはなるがそれにしても八百人さいへば撫順附屬地同戶數の二割に當るわけでこれだけの撫順人が毎月々々講の掛金に苦るしめられてゐるのかと思へば近頃さみに活氣がなくなつた撫順經濟界の內面が解るやうな氣がするが、殊にこの二割の顏觸れたるや流石は毎月々々五十圓百圓百五十圓といふ多額の掛金を支障なく掛け込んでゐるだけあつて上は市內一流の資産家から下といつても何れも中流以上の紳商ところと來てゐるから益々上記の氣持が裏書きされる

ところで掛金も多く加入者も多い大掛な講會さしては昨年末で濟んだ講主市內某菓子商一口百五十圓掛け手取金七千五十圓を最高に次は本夏滿會の五千五百五十圓、四千圓等で目下續行中のものでは御給講の五千百圓、大隈講四千五百圓何れも百五十圓掛外百圓掛け三組各四千圓等がそれで全體の一ケ月掛金を計算すれば以上五組の二萬三千六百圓と其他を平均一圓三十圓掛の三十口さしても十九組で一萬七千百圓、合計三萬七百圓さいふ巨額に達してゐるのである

而してかく撫順に講會が發達したといふのはこれを要するに市街移轉この方金融塞がりに惱んでゐる在滿商店界窮餘の一策ともいふべく從つて在滿商人は一面この講會を中心に持ちつ持たれつの形にあるとも云へるわけであれば萬一にもその例へ一角でも崩れたら忽ちガラくと潰れるのではないかとまで憂慮されてゐるが幸ひ近年の講會は何れも顏る堅實でこゝ數年來ボロを出した講會は一組もないとは心強い

新版芝居小說

讀書界に投じた大波紋——キング十一月號に新掲載の小說、「盛綱首實檢」は加藤武雄氏が燃ゆる如き熱意を以て小說化した傑作で近來にない大評判を捲き起して居る。

林滿鐵總裁 撫順の日程

【撫順】林滿鐵總裁は大淵、河本山崎三理事同伴西脇秘書役其他を撫順驛着(應接室にて一般面接)撫順神社及表忠碑參拜、守備隊警察署憲兵隊訪問、撫順病院に匪賊のため負傷せる加藤東鄕坑外係主任、佐藤老虎臺勞務手並太田巡査を慰問、製油工場及古城子露天堀視察、炭礦ホテルにて官民招待(午後六時三十分)同ホテル宿泊、撫順驛發撫、一泊の上廿四日午前六時五分奉天に引返す筈であるが、在撫日程は左の通りで却々忙しい視察である

旅順放送

▲池內爲仁會主事病氣辭任の爲後任大連刑務支所長大森貞信氏後任さなつたが十九日關東廳へ新任挨拶に出頭

▲滿洲國入りの爲め辭任の關東廳村上久米二郎氏は二十日午前六時四十分離旅赴任

▲目下內務局長事務打合せの爲十九日午後四時半發奉天へ

▲關東廳警務課土居警部は十八日發安東線へ

▲旅順商工協會では近かく旅順商工業者人名錄なる小册を調製し母國及び奥地方面からの來遊者關係方面へ頒布する由で目下左座主任は鋭意編輯中である

▲本年八月七日黃金海海水浴場道路上に於て三名の支那車夫に對し恐迫金錢を強奪した犯人魚屋奥四春に對し高井檢察官は十九日犯人並に書記を帶同來旅旅順署吉田訊問主任と連絡の上實地檢證を行ふ處があつた

▲十九日旅順高等法院上告部では強盜深川兼利事深川金利、無線電信取締規則違犯大原豐保、伊藤參雄、強盜關相德外四名に對し事實審理の結果いづれも決審となり判決は二十六日云渡しを宣し閉廷した

▲中村町八瀨野平治氏方では十二日次女愛子孃が出生

▲土屋町二柿沼愈氏方では二十七日三男武文君が同上

會と催し

●撫順で結髮講習會【撫順】炭礦庶務課では來滿中の本邦結髮界の第一人者たる東京伊賀トラ子女史を聘し二十一日午前十時より午後三時まで永安臺俱樂部に於て髮の結方と服裝の調方講習會を開催する由

●撫順醫學會支部例會【撫順】醫學會撫順支部例會は二十日午後三時半より撫順醫院講堂に於て開會左の如き講演があるさ

一、撫順に於ける「ワイル」氏病の二例　木村祐三

二、齒髓切斷法に就て　酒井肇

沿線往來

▲新任撫順滿鐵醫院眼科醫長高太郞氏は鞍山醫院より十八日着任即日市內關係方面を歷訪挨拶した

▲マニラに榮轉の笠原副領事は十八日午後九時半發赴任の途についた

▲劉憲京氏(大同學院第一期卒業生海城縣理事)十七日海城縣公署着任各方面歷訪挨拶

白塔便り

遼陽にも後れながら麻雀俱樂部が出來た麻雀點云ばく家庭でやれば家族に迷惑をかくる、一定の料金で一夜樂めるとは結構なことではある▲遼陽も悲觀論を唱へたり掛け足とりを考へたり他の目論見ることに働くせつけたりせずに先づ相互が生活し得る樣に考へを及ばせればならぬ所謂持ちつもたれつだ▲利己主義と自我は禁物である、それは紛爭だ、互讓だ、働く者に働かせて安堵することだ▲滿洲國の彩票が賣出された同國人のみならず日本人にも可成り賣込んで居るのも日滿人の共存からである▲遼陽の現在は徒らに蝸牛角上の爭ひする時ではない

九日旅順魚市場 取引高増加
對奥地取引も増す

【旅順】九月中における旅順魚市場の取引高は數量にて三四、七四九貫五〇〇匁、金額にて一九、二九八圓九五を示し前年度に比し數量にて六、五七八貫五〇〇匁、金額に於て四、四五〇圓三八の増加であつた、從業の發動汽船は十八隻回數にて一四七回である、これは前年に比し六隻、七十回の増加である、又入荷方面に於ては州内日本人一八、三七六貫二〇〇匁、同支那人一五、六八二貫七〇〇匁、内地物二七二貫四〇〇匁、朝鮮物二二貫九〇〇匁、支那物一三一貫四〇〇匁、製造物七三一貫九〇〇匁にて前年度に比し支那人方面は相當の減少を來してゐるが邦人はこれに反して増加を示してゐた、需給關係は奥地取引も増加し平均價格一貫匁五十五錢五厘にて前年に比し二錢七厘の高値である

撫順輸組定款 一部を改正

【撫順】撫順輸入組合では臨時總會の決議に基き定款及び貸附規定の一部を變更したが定款は第十三條第二項を訴訟の提起につき理事に於て緊急必要と認めたるときは役員會の決議を要せずと改めて理事の權限を擴張すると共に運用の敏速を期し、貸付規定は金利を引下ぐるため第十七條の二項は總裁の承認を得たるときは特別出資の繰込率を變更し得として繰込率を一厘五毛に改め同時にこれに依る利鞘で從來日歩二錢五厘の貸付利子を二錢に引上げたものである

林滿鐵總裁 社員に訓示

【鐵嶺】林滿鐵總裁は十九日午後一時着列車にて奉天より到着、停車時間を利用して出迎への滿鐵社員に對して一場の訓示を與へ、新任理事大淵、山崎兩氏を紹介し、これに對し小野博士より在鐵社員を代表して答辭を述べ、石塚領事長山署長以下官民有力者の挨拶を受け再び北行したが、極めて平民的な態度で好感を與へた

梨樹縣掃匪軍 大勝して凱旋
曲縣長以下再び出動

【四平街】梨樹縣内の匪賊を掃蕩すべく敢然起つた曲縣長、宇慶參事以下八百名の精鋭はその後各地に於て匪賊と交戰を續けつゝ漸進し、十五日新發堡部落に到るや千餘名より成る敵の大部隊に

遭遇 し、激戰數時間に及んだが、勇敢なる討伐隊の急追に敵し兼ねた匪軍は既に浮腰となり百餘名の小部隊を双廟子方面に逃走せしめると共に、大部隊を纏め第七區大谷山方面に後退したので更にこれを撃退し、十六日午後二時頃六家馬架（六區と八區との中間）に於て痛棒を與へ、之に力を得て益々追撃の手を緩めず、小燒鍋を過ぎて梨樹縣と昌圖縣との中間にある獄家山に追詰め交戰の後之を

撃退 し、賊は算を亂して昌圖縣内に逃げ込んだので一先づ鋒を納め、十七日夕意氣揚々凱旋の途に就いた、我の損害は李春富戰死の外一名の負傷者もなかつたが、匪賊團は死者十名、銃十挺、騾馬七十五頭、人質二十一名、大車一臺を遺棄してをり、多數の

負傷 者を出した模様である、尚双廟子方面に逃げ込んだ一部分匪賊は昨今三百名内外に増加し附近を荒す形勢があるので十九日曲縣長以下總出で討伐に赴いた

大刀會を恐れ 公安隊退却す
敵に機先を制せられ

【鐵嶺】開原公安隊四五六中隊四百餘名は東方の兵匪に備ふるため紹皮屯に陣地構築中であつたが、陣地完成前敵匪は機先を利して十八日八棵樹方面より五百餘の大刀會匪襲來したところ、公安隊は大刀會匪を恐るゝこと甚だしく遂に退却のやむなきに至り、縣城南方三邦里の汪多羅まで退却し、幹部連日對策考究中である、尚八棵樹附近には騎司令、金山好、打天下の合流千六百餘が蟠居してゐると

脫走自警團 內訌か

【鐵嶺】新臺子東方鐵路の自警團は既報の如く團長以下團員二十餘名が村民の凄慘に憤慨して脫走し匪賊に變したが、鐵路村長は右自警團員に對し改悛して歸順する者に對しては村長始め村の有志者が保證人となつて辮從する旨書面を送つたところ、十八日深夜午前二時半頃自警團員二十三名村長宅を訪れ、我々は匪賊に變せるものにあらず掠奪などもせず、書簡によつて歸村したきも鐵路有志のみの保證は不安につき、鐵嶺縣政府要人、新臺子附屬地有力者の保證を得たしと申出で、後刻回答を約して何れにか退去したが、鄭團長は部下二十餘名を率ゐて十九日鐵路の商家に侵入せる事實あり內訌を生じたるに非ずやと想像されてゐる

海賊天下好 檢察局送り

【旅順】海賊頭目天下好一味に對する取調べは遂次全部完了し爾來更に大頭目側に對する種々な交渉案件は賊團不統一のため不可能となり到底完全なる交渉は至難なる事が發見されたので天下好以下二名は遂次我が地方法院檢察局へ送る事となつた

列車區軍に 凱歌揚る
體協主催野球戰

【鐵嶺】體育協會主催の優勝旗爭奪野球大會決勝戰は列車區對地方事務所軍最後の一戰となり十八日午後三時より開始されたが、兩チームは前回無勝負に終りし攻防相伯仲せるチームさて戰前より多大の興味を以て迎へられてゐたが、果して豫想違はず列車區第一回に一點を奪ひ、六回目更に一點を入れ、地方事務所軍又一點を恢復して二對一の大接戰を演じたが地事軍最後の攻撃空しく九回ゲーム二對一で列車區軍凱歌を奏した

日滿婦人合同懇談會
二十二日開催

【鐵嶺】鐵嶺日滿婦人合同懇談會は十九日婦人聯合幹事會協議の結果、來る二十三日午後二時より滿鐵クラブに於て開催と確定した會費五十錢、日本側婦人會員多數の出席を希望すると

無料施療實施

【大石橋】日本赤十字社營口支部に於て同支部管内主として滿洲國人貧困者救濟の目的を以て無料施療計畫に關しては既に本紙の報導せる處なるが豫定の如く去る十三日より十七日迄海城蓋平大石橋各地滿洲國街に於て同支部村上主任以下國本醫師看護婦二名出張實施したが受施療者左記の如くにして各地に於て尠からず感激を與へ患者は素より一般滿洲國人は治る御代の恩惠を深く心謝して居る

海城縣　一六〇名
蓋平縣　一一〇名
大石橋　七三名

勇敢な警備員を 鄉軍會から表彰
近く油井氏に表彰狀

【鞍山】遼西一帶に蟠居し猛威を逞しく滿鐵沿線襲撃の機を覗つて居た匪首王全一と機脈を通じ遼陽市內を襲撃せんと兇器を擁して邦人職工二名を殺傷した事件は其當時逸早く我が紙の報道した通りであるがこの時警備の任にあつた鄉軍鞍山支部遼陽分會後備役上等兵油井賢一氏は單身勇敢に追跡し犯人を射殺し陰謀を未然に防ぎ得た事は在鄉軍人の儀表として賞するに足り他の模範とすべしとて帝國鄉軍會長鈴木莊六氏より左の表彰狀を近日中に授與されることゝなつた

表彰狀
帝國在鄉軍人會鞍山支部遼陽分會 後備役 上等兵 油井賢一

昭和七年七月以降高粱の繁茂に伴ひ遼陽附近は匪賊盛に活動し居留民の不安遂次增大せしを以て遼陽分會は軍警と連絡し附屬地の警備を擔任せしが八月八日午前零時滿洲紡績株式會社內に於て突然邦人職工二名を殺傷し且つ放火せる不逞の徒あり當時該地附近の警備に任じありし油井上等兵は異樣の徵候に依り直ちに現場に駈け付け躊躇しある人々を排し危險を冒して犯人に近接し之を射殺せり犯人は遼西に蟠居しある匪首王全一と通謀し放火暗殺等に依り市內を擾亂し其虛に乘じ遼陽襲撃の機會を捉へむとしたるものにして上等兵の勇敢機敏の行動は克く陰謀を未然に防ぎ得たり洵に在鄉軍人の儀表とするに足る
仍て茲に之を表彰す
帝國在鄉軍人會長 陸軍大將 鈴木莊六

彩票を賣出す

【大石橋】孫海城縣長は新京財政部の命に依り北滿水災罹災民救濟の目的たる彩票の代賣所設置に關し考究中であつたが今回城內大同書店に於てこれを取扱ふことに決定、稅務會副會長王殿卿及び姚福倫の二名を主事に推薦し十六日より第一回（五〇〇枚）を賣始したが全部を七回（三千五百枚）の發賣豫定にてその額大洋三千五百元であるとて城內は勿論一般日滿兩國人の人氣沸騰して居る

川島芳子 北滿に跳躍
例の男裝て

【チチハル】生活其ものを小說化しなければ氣がすまぬとばかり、御愈の男裝に南船北馬、方々を飛びまはる事に於て有名な例の川島芳子孃、去る十四日午後一時五十分チチハル着の飛行機の中から

飄然 と、而も極めて飄然として將校服に乘馬ズボンと云ふスマートな姿を現はしたには皆驚愕の目を見張らざるを得なかつた、煙に卷かれた體で眺めて居る傍觀者達には「一足お先に」とも言はず、直に自動車に

飛乘 るが早いか、關東軍チチハル駐在特務機關長林少佐を其公館に訪ふて久濶を敍し、更に龍江飯店に姿を現はすと食堂で晝餐を攝り、それから更に走馬燈の樣に自動車を驅つて異母兄金市長を訪ひ當分生

活劇 の幕間ひを一寸お兄樣の金璧立氏の許に落付ける事になつた由、北滿の天地は廣い、躍らうと思へば自由自在に心ゆくまゝ躍れる、芳子孃今後の跳躍ぶりや如何に……

料理屋沒落の 先驅者

【チチハル】皇軍當地入城の報一度世上に傳はるや、イチ早くも其後に尾してチチハルに來り、邦人の北滿發展の先驅者となり、一時は飛ぶ鳥も落す勢ひであつた料亭江戶勝も「好事魔多し」櫻花一朝の夢未だ覺めやらぬ內に早くも主人病氣のため營業上にも自然多少の支障を來し、其結果收支相償はず家計不如意のため此儘營業を繼續する能はず、遂に鞍山の一業者に全部を讓り渡す事になり、八千圓內外にて讓渡へる由、之がチチハル料亭沒落の先驅者である

鞍山で馬靈祭

【鞍山】鞍山乘馬會主催の秋季臨時競馬大會は六日間共大盛況を以て二十日千秋樂を告げ豫想以上の成績を舉げたが乘馬會では愛馬の念にかられ戰鬪で斃れた軍馬や其他病死した馬匹に對し二十一日午前十時半より鐵道西競馬場に於て乘馬會員は元より在鞍各寺院の僧侶を招き盛大なる馬靈祭を舉行し今回の臨時競馬に出場した甲組乙組の優勝馬を以て五、六回競馬を行ひ午後三時頃より紅白餅二石の撒餅等あり定めし當日は大賑はひを呈することであらう

體操教師講習

【鞍山】鞍山小學校では來る二十四日より三日間遼陽以南瓦房店間の各小學校公學校の體操教師の講習會を開催するが講師は奉天教導隊將校にて新しく制定された體操要目指導であると

撫順署員轉出

【撫順】撫順警察署左記五氏は十五日附蘇家屯署に轉出を命ぜられた
石川海七、執行易一、林玉潤、張天明、唐汝增

カフエー開業

【撫順】市內東四條通元ギンザ跡に今回カフエー、マスミが開業された、經營者は山陽樓の森壽氏で十七日夜記者團其他關係者を招待披露宴を催した

西浦半助氏（安東）

安東新報西浦半助氏は盲腸炎と腹膜炎を併發し新義州醫院に於て加療中であつたが十六日午後二時半遂に永眠した、享年四十八、尚葬儀は十九日午後四時半より東本願寺に於て安義官民多數參會裡に催された

木內政義氏

【鞍山】鞍山製鐵所採鑛課木內政義氏は腦溢血症に罹り十五日鞍山滿鐵醫院に入院加療中であつたが十七日夜遂に絕命したので十九日午後四時半葬祭場に於て葬儀營まれたが製鐵所員並に市中有志多數の會葬者あり盛葬であつた

鐵嶺

體協基金募集 映畫會

鐵嶺體育協會では基金募集に就き全市民に歡迎される何等かの方法を以て相當の基金を得んと計畫中であつたが、今回松花ホテル松田氏の斡旋で全滿各地の映畫ファンより熱狂的歡迎を博したる松竹蒲田

電話局長更迭

城內滿洲側電話局長吳昆山氏は今回病氣のため退職することゝなり後任に農務會長たりし于冲氏が任命されたが、吳氏は局長在任實に十九年に及び稀に見る勤勉の人であつた

鐵嶺雜聞

▲八月中旬以來北滿方面に出張してゐた電燈局長長谷川收氏は十日歸鐵した
▲電燈局技術部主任藤田常次氏夫人靜子さんは久しく病氣の爲め大連醫院に入院加療中のところ藥石効なく十八日午後六時半長逝せる由享年僅か二十四
▲鮫ある馬券のうち最後の樂みであつた安東競馬も一等が一萬六千何ぼさかで鐵嶺の購入者には全く緣が無く失望落膽の向が多いやうだ、次に滿洲國の水災義捐彩票を買ふつもりかな

鐵嶺漫談

滅切り寒ふなつた、雪が降つた、氷がはつた、零下に下つたと言つても不思議でない▲其寒さ、殊に五時頃と言へば一番寒いときだ▲十六日朝五時半鐵嶺守備隊が某方面に出動するといふので、熱あり眞心ある人々は寒さを冒して朝早く驛頭に萬歲歡呼で見送つた▲此の熱あり眞心ある人々の中に敷島町の別嬪が二人あつた、養行大に賞めて好い▲ところが此の二人、見送りまでは養行だつたが、其歸り道寒さの爲め車に乘ろうとしたが一臺しか見付からぬ▲二人一緒に乘つて歸らうてなことになつて、相乘りして車夫を叱つて走らせたまではよかつたが▲生憎お巡りさんの目がそれを見逃さず、コリヤ取締規則違反ぢや一寸來い▲と云ふ譯で、折角熱あり眞心ある別嬪の名をお臍めするにチト氣の毒

鳳凰城

恩師に記念品

元當地に在職した松尾氏は鷄冠山小學校二十週年にはるゞ內地より舊職員として來鷄同窓生の成人したのを我が事の樣に涙を流して喜び、又同窓生も松尾氏を歡待談語に云ひ現はせぬ和氣藹々たる內に送つた、同窓生は申合せて滿洲よりの土產として眞の心の現はれとして支那服一組を贈ることゝなり十八日內地へ向け發送した

富永氏の轉任

安東地方事務所鷄冠山派出所勤務富永氏は今回社命に依り安東へ轉任となり十五日午前十一時の列車にて赴任した、猶氏は青年事務員として稀に見る努力家にて日夜市の繁榮につとめ前途を囑目されて居り其の轉任を惜まれて居る、當日安東より本庄氏來任した

古館氏祖母逝去

當地方事務所地方係長古館尚也氏祖母せき女史は久しく病臥中であつたが、十日程前より容態惡化し且つ老齡のため藥石効なく十六日午後三時遂に長逝した、享年八十三、葬儀は十七日觀音寺に於て執行された

大句子の鮮農 收穫物搬出

大句子の鮮農は既報の如く出動警官隊の現地保護によつて刈取は全部終了せるも荷馬車不足の爲め搬出不能のところ十八日鮮人會より馬車三十臺を廻送したので十九日朝大句子出發森田警部補一行保護の下に第一回百二十石を搬出した

匪賊大掠奪

開原縣下耿王莊賀家子（縣城南方二十五支里）附近に十八日約四千の兵匪襲來し大掠奪を開始したので鮮農達は何れも身を以て逃避し開原城內に引揚げつゝありと

四平街

原田氏出發

前國際支店長原田辰雄氏は十九日午前十時五十一分發列車にて夫人同伴大連赴任の途に付いたが、驛頭は市內各團體代表一般有志並に婦人會員の見送り人で賑はつた

九月中出生と 死亡者數

四平街市の九月中に於ける死亡者並に出生者は左記の如くであるが死亡者中大部分が小兒なることは心すべきである

出生者　一二名
死亡者　二二名

森永キャラメル藝術 懸賞募集

森永製菓會社では、小國民の創造力の啓發と手工技術の向上に資する爲め最も趣味あり、有益である森永キャラメルの空函を利用して、これに糊と鋏とで、人物、動物、植物、飛行機、軍艦、自動車、軍器その他あらゆるものを創り、これを弘く全國の小學生諸子から懸賞募集することにした、この森永キャラメル藝術は左記規定によつて懸賞募集中であるから奮つて應募されたい

規定

一、森永ミルクキャラメル、チヨコレート其他の空函で創ること
二、作品は一人で何品でもよろしい
三、大きさは制限なし
四、締切は十一月二十日
五、作品には住所、氏名、年齡、學校、學年名を記入すること
六、送り先は東京市芝區田町森永製菓キャラメル藝術係

審査員

漫畫家 長崎抜天先生
東京女子高師教官 山形寬先生
玩具研究家 有坂與太郎先生
東京市視學 佐藤平太郎先生
東洋幼稚園長 岸邊福雄先生

發表は十二月初旬本紙上

賞金と賞品

等級	賞品	人數
特等	賞品 三十圓宛	十名
一等	同 二十圓宛	二十名
二等	同 十圓宛	五十名
三等	同 五圓宛	二百名
四等	同 森永の菓子詰合	千名
選外佳作	繪本	五千名

尚審査發表後は全國主要都市で森永キャラメル藝術展覽會を開催する豫定

參考として左記寫眞を御覽下さい

講談倶樂部（十一月號）

「大東京の屋根の下」「恩響殉戀記」「步吊小屋の偽痕」「次郎太川止め」「人生初年兵」「心の太陽」「妖麗」「檜山變化層」「呪の假面」と讀物陣頗る華やか、實話「妻の貞操」「昭和の劍豪持田盛二傳」がある

岡田式ガソリン燈

岡田式ガソリン瓦斯燈は其の光力の強大、經費の僅少、取扱の簡便なる諸點に於て最も適當な優良燈である、型は周圍を照らすもの、前面を照射するもの、下方を照明するもの等二百燭光から千二百燭光迄數種あり何れも當持ち運び自由で、電燈のある所でも停電の場合や非常の時にも是非共欲しい品であり、殊に電燈の無い所では極めて便利である、尚此の燈火と同一原理を應用した岡田式ガソリン瓦斯コンロもあるが之れも亦經濟で強烈な熱が得られ寒中にはストーブの代用ともなり便利重寶な品である

幼年倶樂部（十一月號）

讀物では「鎭西八郎」「滝の少年」「ダイヤの行方」「愁ばり萬作」「拳骨和尚」「金色の海鷲」「世界一南部のジヤンプ」

キング（十一月號）

第一附錄か「漫談家落語家道德ばなし」と云ふ大辻司郎、金田甫古川綠波、桂文作、文樂などいふ連中に道德を語らせた記事、第二附錄「オリンピツク選手土產話」は全選手を網羅したもの「短篇小說傑作篇」「怪人ゼリコ」「青春無情」「未來花」「振分け小平」「國際飛脚」等々、オフセツト版恒例の漫畫大レビユウ館、グラビヤの「名士花形カメラ行脚」は片や抱腹絕倒、片や興味津々

砂糖であまく
醬油でからく
味の素で
うまく…が
調味の常識
AJINOMOTO

喫茶
トキワ橋
イ
お知らせ
特製
洋生ケーキ
シユークリーム
サンドヰッチ
パン
電八二五一

EASTMAN
VERICHROME
KODAK FILM
Kodak

唐聚五の司令部を連續して爆撃
四騎を殘し全部潰滅

我飛行隊は十九日午前東邊道龍崗山脈（渾江と朝陽鎭間の山脈）西方の小腰嶺子、黄尼崗、板廠子の附近にて唐聚五の司令部と覺しきものを連續數回に亘り爆撃し多大の損害を與へた、午前十一時四十分頃その殘部と思はれる約十騎を板石河子附近にて爆撃し北方に遁走するもの僅に四騎にて他は全部戰死せること確實である【奉天電話】

星部隊奮戰
要害による敵を碎擊

星部隊は去る十四日午後一時半頃龍崗山脈、濛江鎭附近にて占據せる約五百の匪賊を攻擊し激戰の後多大の損害を與へてこれを潰走せしめた、敵は李魁武の指揮するもので山中險阻の要害により頑強に抵抗したが死體三十一を遺棄して遁走した、鹵獲せる兵器彈藥等多數ある見込み、わが損害は戰死特務曹長高草木盛正、重傷六名（上等兵宮田篤、一等兵關口茂男、同北村兼吉、同吉田松藏、同石川市五郎、同小山健次）輕傷軍曹鈴木安三郎【奉天電話】

敵三千
齊克線の匪況

【チチハル特電十九日發】十九日午後一時樸炳珊は叛旗を飜へし克山を包圍したので齊克線は不通となつたため我裝甲列車は黒田枝隊が指揮して戰鬪中であるがこれが救援のため當地に待機中の宍戸枝隊は急遽出發した、なほ叛軍は元騎兵第四旅歩第八團長徐景德の率ゆる四千と徐子鶴軍二千にて拉哈、訥河、泰安を襲擊なし敗戰、樸炳珊軍と共に聯絡をとりつゝあることが判明した、また克山を距る六キロの地點で三千の叛軍と激戰中である、敵は死體をすてゝ瀬大北方に潰走しつゝあるが黒龍江警備司令張文鑄は江省軍指揮のため安達に向つた

匪賊四百歸順

營盤附近を中心として蟠居してゐた匪賊約四百は十八日撫順縣長に無條件で歸順を申出で盛大な歸順式を擧行した【奉天電話】

東支損害

【ハルビン特電十九日發】水害による東支の損害左の通り

直接損害　百七十萬金ルーブル

間接損害（商業上）　百四十萬金ルーブル

雪の便りは來たが消息の知れぬ人々
滿洲里拘禁の邦人
いつ釋放さるゝか

確報によれば滿洲里に於ける邦人釋放問題はその後日滿露三國官憲の努力によるも何等解決の曙光だにも見えない、滿洲里の山崎領事よりは十三日附を以て蘇炳文に對し邦人の露領への避難方につき諒解を求めたのに對し蘇炳文より今以て何等の回答もなく又ソ聯本國よりは滿洲里ソ聯領事スミルノフ氏宛政治的意味を含まず人道上より見た邦人の露領避難方に蘇炳文に諒解運動をなすべしとの命令によりスミルノフ氏は蘇炳文に對しこれが通告を發したるも未だ何等の回答を受けてゐないためその後の狀態は依然として判明せぬ【新京電話】

林總裁新京着
二十日執政を訪問 夜は官民招待宴

林滿鐵總裁は新任河本、山崎、大淵の三理事同道十九日午後六時五十五分着列車にて新任挨拶旁々視察のため來長した、驛頭には駒井參議、阪谷總務廳長、田中總領事代理を始め官民多數の出迎へあり驛貴賓室に於て各方面の要人と挨拶をなし直に自動車にてヤマトホテルに入り來長中の石井陸軍參與官と午後八時より會談その後は一切の面會をなさず旅の疲れを癒やした、なほ總裁二十日の豫定は午前九時駐屯部隊を始め守備隊衛戍病院、警察署、憲兵隊、總領事館の順序で訪問、挨拶をなし十時半より國務院、參議府を訪ひ十一時執政府に執政を訪問零時執政の招待宴に臨み一時半より交通部、實業部、市政公署に赴き一旦ヤマトホテルに歸還し午後七時よりは日滿官民をヤマトホテルに招待充分に歡談をなし二十一日午前九時發の「はと」號にて南下の筈【新京電話】

沿線視察中の林總裁（十九日奉天滿鐵事務所にて社員に訓示）

リットン報告を吹き飛ばす
街頭から反聲を募る

【ハルビン特電十九日發】リットン報告書が滿洲國を否定して支那の主權を認めんとするものであること判明するとゝもに北滿に於ける少數民族間に大きなセンセイションを捲き起し國際聯盟の開期を前にして飽くまで滿洲國を擁護すべく運動を開始し滿蒙人五百萬を代表して滿蒙同志會中央執行委員會長伊利春（現東支副管理局長）の名で長文の電報を十九日國際聯盟に打電し滿洲國の中堅層たる少數諸民族の意思を無視したリットン報告の誤謬を指摘した、彼等は現在の情勢を以つて滿蒙民族解放の時期なりとして非常な熱心さを以つて結盟し全く自發的に滿洲國擁護運動を續けてゐる、また滿蒙貴族出身者も連名を以て同樣の電報を發した、北滿在住の白系露人も亦支那主權の恢復は彼等の生活權を奪ふものであるとし日調査團に對し先に陳情したが調査委員は日本に買收されたものとして考慮しなかつたので直接國際聯盟宛に陳情しリットン報告書に抗辯することゝなり街頭に進出し一人一人の署名を求めてゐる

立教先勝
對帝大第一回戰

【東京十九日發】帝立第一回戰は午後一時五十七分帝大先攻にて開始結局四A對二で立教先勝す閉戰同三時五十五分スコア左の如し

帝	001100000	2
立	01101001A	4A

兩軍バッテリー

帝大　高橋、藤田、片桐

立教　高野、菊谷、小笠原、別井

體育聯盟解散
近く擧式豫定

昨秋事變直後設立した滿洲體育團體聯盟では滿洲事變も一段落を告げたので聯盟を解體することに決し十九日午後四時半より市役所樓上において委員會を開催した結果殘金三百圓を軍隊警官滿鐵の傷病者にそれぞれ等分贈呈することに決定し不日解散式を擧行することになつた

內地農村生產滿洲進出を策す
來月下旬大連で即賣會開く

【東京十九日發】農家生產物の滿洲進出に資すべく豫て計畫中の門司販賣斡旋所主催の農家生產物品展覽即賣並に見本取引會は左の日取りで大連、奉天、新京、ハルビン各都市で開催されることになつたが出品物は各道府縣の名產を集めたもので百六十種に達して居り就中罐詰類は相當賣れ行きあるものと期待されてゐる

十一月十九日より五日間、大連（商工會議所）廿五、六兩日奉天（三越支店）廿七、八兩日新京（商工會議所）三十日、十一月一日ハルビン（商工會議所）

なほ同斡旋會は此の機に安東撫順旅順京城釜山各市の取引狀況の視察を行ふ筈である

亡夫の遺志で百萬圓獻金
陸海軍篤志を受く

【東京十九日發】神田區猿樂町二番地三谷長三郎氏未亡人貞子は亡夫の遺志に依り十九日陸海軍に各五十萬圓計百萬圓獻金の申込みをなしたが陸海軍では其の愛國の至誠を喜び直に之を受領、兵器其他の建造費に充つることとなつた三谷氏は一代にして產をなした勤儉力行の人で眞鍮工業の經營に没頭し鑛炭の製造に成功し海軍に納めてゐた人で九月二日腦溢血で死去したものである

「長春」を「新京」に
改稱廳令近く發布

關東廳では在奉天の全機部及關東軍司令部の長春移轉に伴ひ奉天警察署上の事務所も本月中に長春取引所內に全部移轉に決した、右に依り來る十一月一日以降長春を新京と改稱するのみならず關東廳關係の各機關の名稱にして長春の文字を冠せるものを全部「新京」と改めしむべく不日廳令發布の筈、尚關東廳の事務連絡は距離も遠くなるので林警務局長のみならず日下內務局長其他關係課長交互に新京に出張これに當る事となる模樣である

亞細亞民族の氣魄を歌に
武藤全權の希望に
意氣込むわれ等のテナー

村岡天津子孃と共に二十日午前九時奉天から安東に向つた藤原義江氏は語る

新興滿洲國は朗かな姿を以て元氣よくステップを踏み出した滿洲國人の悠長なる顏は依然として變らない大陸人の特徴が現はれてゐる、日本人も非常に元氣らしく見受けられた、滿洲國にも聽て聲樂家や音樂家が出て來るだらう、そして音樂學校の如きものも將來約束されて生れ出るの日があらう、私は心からそれを祈つてゐる、武藤全權に御會ひした時全權は是非亞細亞民族の眞髓を寫した歌曲を作つて欲しいとの御希望であつた、そして日本軍が匪賊討伐に血のにぢむ努力をしてゐる反面を物語る作歌の御依賴を受けた、私としては今度の滿洲行脚で一番大きい收穫で到底一人ではこの偉大なる作歌の目的を果すことが出來るか何うか東京に歸つた上同志と共に考へたいのであるそれが民謠式調となるか何うか別に今の所では腹案はないが亞細亞民族の朗らかな氣魄を歐米のステイジに歌ふ時の感想が今から湧いて來るやうな氣分がする【奉天電話】

滿鐵の映畫を壽府で映寫
松岡代表一行が携行
『滿洲に於ける聯盟調査團』

【東京特電二十日發】滿鐵弘報係が鋭意作製した「滿洲に於ける聯盟調査團」と題して調査團の滿洲各地に於ける行動を配し滿洲のあらゆる事情一切を如實に描き出した映畫九卷は去る十六日午後敦賀合同運送會社へ到着、全權御物として敦賀稅關で保管してゐるが、右フイルムは我が政府の意見書と共に帝國代表として國際聯盟臨時總會へ出席する松岡洋右氏一行が來る二十二日敦賀出帆の敦浦聯絡船天草丸でジュネーブに携行、之を國際聯盟總會席上にて上映し、我國の立場を列國に表明する上に重要役割をなすものである

この感激をそのまゝ米國へ
渡米學生三代表歸京

日米兩國學生を通じ双方の感情を融和し親善の密なるを圖らんとする日本學生聯盟派遣代表山田忠義（明大）李木之一（同大）牧山武文（中大）三君は渡米に先だち滿洲の實情を視察し新滿洲國の認識を新たにすべく來滿し執政府において執政にも面謁し種々王道政治の實體を摑むを得たが愈々歸國渡米準備を整へるべく十九日午後七時五十分大連驛着列車で來連二十日午前六時五十分周水子發定期航空機にて朝鮮經由歸國の途についたが、山田君は語る

我々は十一月一日渡米しニューヨーク、シカゴ、ワシントン等六大都市に於いて約六十回に亘り講演し、日米親善を圖る筈でありますが、滿洲事變以來米國の一般人は滿蒙の何たるか實際に認識せずして徒らに侵略的概念の下にわが國に大きな誤解をもつてゐる樣ですからこの點に就いて吾々は出來る限りこの誤謬を一掃するために努力する考へです、滿洲國の實情を見て我々は內地にゐて考へてゐた以上着々として建設の一途を辿り國家として形態を整へ東洋の平和境世界樂土の建設に着々たるを見る時その前途を祝福すると共に所謂王道政治の本體に滿腔の敬意を表さざるを得ないので我々は今この滿洲國の實際に見たこの感激をそのまゝ持つて米國に渡り米國學生を通じて我等の誠意を以て日米親善の實を擧げたいとかたく決心してゐます

なほ來年夏以來滿洲各地を視察中であつた米國オレゴン大學教授ロヂャース、エイ、プロフト氏も一行と同行東上した

夜間運轉で石炭輸送
けふから開始

滿鐵では匪賊の出沒激しいため去る九月九日以來奉天、大石橋間の夜間貨物列車の運轉を全然休止しその後九月廿日以後は警乘兵乘車の貨物列車を一部運轉してゐたがなほ平常通りの運轉は不可能の狀態にあつた、然るにその後沿線の匪賊も殆どその影を潛し、警備方面も完全となり、一方撫順の地賣炭も撫順炭の輸送增加について連日鐵事部から鐵道部への要望があるため鐵道部配車係では廿一日から夜間列車を必要數量に應じて運轉し同區間の運轉を平常に復することゝなつた、從つて今後は石炭輸送についても順調炭繰されるものと見るべく一日大體六百四十車乃至七百車の輸送は可能と見られてゐる

女生徒も混り射擊大會開かる
關東廳體研の主催

關東廳學務課體育研究所では來る二十三日午前九時半より大連春日池畔大連市民射擊場に於て武藤長官賞牌爭奪の州內青年訓練所射擊大會を左記諸規定の下に開催することに決定した、尚事變發生以來「銃後の人々」として慰問兵の慰問、慰問袋の作成その他大いに活躍した大連神明高女生徒二百十二名も參加することに決定したが、このやうに大多數女生徒の參加は今回を以て嚆矢とする

▲參加者　旅順大廣場常盤沙河口四青年訓練所

▲競技方法　各所とも九月末日現在に於ける第二年次以上在籍證の二分の一を以てする團體競點射擊及び個人競點射擊とす但し個人競點射擊は團體競點射擊加入せざるものも含む

▲發射彈　五發

▲射距離　二百米

▲姿勢　隨意但し依託を許さず

▲標的　圈的

▲使用銃　モーゼル歩兵銃

怪放送
岡山で受信

【岡山二十日發】岡山縣兒島郡宮浦私立工藝學校生徒山本卓爾（一九）君が十八日午後十時半上海放送を聞くためラジオ受信機のスイッチを切つた處朝鮮蝗は王樣の家の垣根近くに進出し狸の退路を絶たんとしてゐるます針金の報告に依るさうゐんでは附近に狸を認めずと言ひ次にトランクに申上げます、朝鮮蝗の報告に依る狸と八〇〇の……は東鐵線に退却しました前報の精鋭な軍隊と奮鬪あらんことを……と約十分に亘り流暢な日本語の放送を受信した、右に就き特高課では赤色ギャングか張學良一派の密命ならんと捜査中である

貝瀬氏京都へ

來る二十三日京都に於けるロータリークラブ役員會に出席のため當地ロータリークラブ役員貝瀬謹吾氏は二十日午前十時出帆うすりい丸にて內地へ向つたが同會議の濟み次第歸連の豫定であると

東京市電の鬪爭激化
極左派を檢擧

【東京二十日發】市電從業員千六百名の整理は永田市長の解雇者募集の巧妙なる策戰に拘らず二百名の解雇者手當一割二分減の通告となり之に對する十項の要求書提出となり對立激化の儘幹部の選延策を奏效せず東京交通勞働組合年次大會は二十日午前十時から組合五部門四十八支部代表者三百名を集め芝協調會館に開會された各友誼團體アヂ百パーセントの祝辭に次ぎ愈々役員改選を行ふが左翼の暗躍は完全に奏效し今夜に及んで役員の改選を待たず全協系の幹部掌握は既定の事實と觀られ今後の市電鬪爭は新幹部派の動向を左右すべく市電總罷業はやみ難き形勢と觀られるに至つた、警視廳では之に先立ち頻りに極左派檢擧に努め今曉までに大會副議長に選任される筈の竹內章平氏始め多數を檢束した

社外線慰問のラヂオ取付け

滿鐵社會施設係では社外線各地派遣社員慰問用ラヂオを取付けることゝなつてゐたが何分奧地では電氣の無い土地が多くこれ等の地に直線セットを必要とするためこれ等のセットを內地に注文中のところ最近全部着荷したのでいよいよ交流五臺、直流十臺を左の十五地に取付けることゝなり二班に分れた取付員は廿四日大連出發目的地に赴くことゝなつた

▲直線セット　拉哈、泰來、呼蘭、泥河、一面坡、六河子、敦化、清源、延吉、老頭兒溝

▲交流セット　洮南、松浦、綏河、海倫、西安

白玉山招魂祭

白玉山秋季招魂祭は來る二十三日（日曜日）午前十時から納骨祠に於て左記順序に依り擧行される

午前十時祭典開始、參列者代表參拜、陸軍部隊參拜、海軍部隊參拜、隊外准士官、下士判任文官雇員參拜、在鄕軍人分會參拜、學生、生徒、青訓少年團小學兒童參拜、一般參拜

にて軍隊を除く各團體は概ね同三十分頃より開始する、祭典委員長は安藤要塞司令官が當る

野本家から謝電

撫順搭連炭坑警備の犧牲となつた大連署勤務巡査部長故野本高治氏の遺骨は遺族に護られて二十日大連出帆のうすりい丸にて故國に向つたが船中より本社宛左の如く謝電があつた

故野本高治の追悼會その他出帆歸國に當り深甚の御厚意を謝す貴紙を通じて市民各位によろしく御傳へを乞ふ

安樂椅子

海事日報社主催の龍口沖チヌ釣會は近來の盛會で天狗連四十名が我こそはと乘込んだのは好いが龍口についてから激しい時化を喰つて十七日には歸ることも出來ず二晩伸びて釣つたチヌも腐つた十九日の朝やつと大連に歸つて來た。

……◇……

「それ見たことか」と喜んだ惡友連中口を揃へて元來魚釣りは土曜の晩から日曜にかけて家を留守にするので折角樂しかるべき奥さんの心待ちの土曜を極端に悲慘なものとする、君達は卽ちその罰だよとやり込めたものだ。

……◇……

話は一轉してこゝに哀れを止めたのは遙々龍口に出かけて留置を喰つた滿鐵魚釣三勇士中西文書課長、竹森社員會幹事部長、池原鐵道保員で先づ竹森、池原兩氏が船醉ひで牛乳を飲むばかり、細君孝行の中西課長は「妻が心配してゐるだらう」と涙聲を漏らしたのである、かくて三氏の生還を祝して某氏が奥さんは日頃の私の怨みですよと喜んだらう

と問ふと、代表者A氏があなた、まあ生きてたのねえと首に飛びついたよと答へたとは、どうも。

海と空と（3）

高杉晋一郎作
橋本淸史畫

歸郷（三）

しよ、しよ、しようじやうじ
しようじやうじのはぎは
つ、つ、つきよだ　はなざかり
おいらはうかれて
ポンポコポンの　ポン

明るい午前の光の漲る廊下を、端から端へ走り廻りながら、百合が大聲で歌つてゐるのが聞えた。

みちは先刻から立つたり坐つたりしてゐた。膝の邊りには朝刊が散らばつてゐたが、それを手にとつたのは、女中が鐵瓶に湯をさして持つて來た時だけだつた。女中が出て行くと、讀みもしないで、直に傍らへ押しやつて了つた。さうしては、階上の夫の樣子にじつと聽耳を立ててゐた。物音もしなかつた。

夫は、一體、どんな風に襄を迎へるつもりだらう。迎へになど行く必要は無いと、頑固に今朝食事の時云ひ切つた樣子では、何か一騷ぎ持ちあがられば濟まない樣に思はれた。

（私には理屈は解らない。けれど襄は、そんなに惡い事をして學校を追ひ出されたのではないやうに思はれる。夫のあのむき・・な怒りによりも、私は、暢の考へ方の方へとにかく取るべき態度として惹かれるし、多分、それは暢の云ふやうに正しいのだらう）

そんな事を繰返して考へてゐたものゝ、彼女には、むしろ理屈ではなかつた。唯、首垂れて歸るであらう襄を、出來るだけ氣樂に闘を詣がせてやりたかつた。夫が「何しに歸つて來た」と云ひかねない對面の時が眼に見えるやうで唯激しく心が焦立つた。暢が迎へに行つた事も責められればしないだらうか。

彼女は、襄がその爲に追校されたと云ふ、主義の理窟を、暢に說明された通りに復習してみたが、落着きも、別な考へも出て來はしなかつた。

彼女は、立つて、また坐つてから、何とはなしに百合を呼んだ。

歌が途切れて、ばたばたと廊下を走る音と同時に、扉の間から百合のお河童が覗いた。

「なあに」

「あんまり騷がない頂戴な……まあ一寸こちらへゐらつしやい」

百合は、氣輕に走りこんで、べたんと、母親の前に足を折つて坐つた。

「今日はお兄樣が歸つてらつしやるんですからね。お兄樣は、騷がしいのはお嫌ひなんですよ」

「嫌ひになつたの？」

いつの間にか家族達の話で兄の性格を想像してゐる百合の言葉はみちに、元來が快活な襄を思ひ出させた。案外例の調子で歸つて來るのかも知れない。いつそさうだつたらその方がいゝ結果になるだらう。彼女は、此の想像に初めてほつと救はれた樣な感がした。

「もう何時？」

意味もなくそんな事を百合に云つて、自分で背後の置時計を振返つて見た。十一時に近かつた。もう歸る頃だ。彼女は狼狽てゝ、再び襄の部屋を調べて置く爲に立上つた。

襄の留守中は、暢の泊客などに當てられてゐる二階の部屋を、一わたり椅子の位置や机の上を直して、彼女はそこへまた腰を下して了つた。

さうして、ついて來た百合と二言三言他愛ない話を交した時だつた。

玄關のベルが鳴つて、女中が出て行く足音がした、彼女は、夫の部屋の方へぴりつと緊張した神經を送つた。何か非常でも聞くらしい音が聞えただけだつた。彼女は百合の頭に手を置いて、靜かに、少し波立つ胸を感じながら、階段を下りて行つた。

玄關へ出るのと、襄が靴を脱いで上るのと同時だつた。二つの顏がぴたつと合つた。

襄は默つてお辭儀をした。

「お歸んなさい」

と彼女は、その暗鬱な顏を見てがつかりしながら呟いた。

新刊紹介

▲**滿洲の農畜産業の現勢**（三箇功著）滿洲文化協會發行の滿蒙講座第七回配本である世人に歌はれる如く滿洲の四季に櫻はないがドロ柳の疏林を眞紅に染めて果しない曠野沈み行く夕陽の雄大さが見られる、滿洲の實體は變はつたが、陽は高粱に出で、高粱に隱るゝ滿洲の姿は昔のまゝである、輝かしくも滿洲國が誕生したがその建國の產婆役は日本に外ならない、昔の通り滿洲無限の豐庫は人々を招いてゐる、然し滿洲が日本にとつての生命線たる所以は我々の同胞が尊い血潮で染めたこの土を耕すにあるのだ、今日移民問題の宣傳されるのも實にこの滿洲の農事開發の先驅である然らば滿洲の畜產業の現勢は如何に、著者は此二項目に亘つて餘すところなく說いてゐる（定價五十錢、發行所大連紀伊町九十一番地滿洲文化協會）

▲**愛書狂の話**（グスタヴ・フローベル原著、庄司淺水譯）本書は「ホーヴワリイ夫人」の作者として有名な佛人グスタヴ・フローベルが十五歲未滿の時執筆せるもので、一愛書狂の心情を遺憾なく暴露して餘すところがない、作者の巧緻な筆致に驚くと共に、俎上に載せられた主人公ギアコモに對して深き同情を感ずる、書物を愛し、これに親しむ者は時にギアコモと同じ念ひさなりそれに近き念ひに死される、そして書物を愛するはまた難きかなの感を一層深く起さしめられる、世の愛書家は本書を繙きて書物に對する感興を愈々深く味はれるだらう（定價特製三圓、並製九十錢、發行所東京市本鄕區駒込坂下町一四四ブツクドム社）

▲**東亞**（十月號）事後における準備（卷頭言）滿洲國財政問題（木村增太郎）支那の幣制改革問題（井村薫雄）の專門的硏究を始めとし前號に引續き滿洲國森林企業の再建に就て（田代名岳衞）大平天國革命の新硏究（田中忠夫）はこれから興味の中心になるであらう、露國東漸の足跡（鏑平名智太郎）李朝の地方自治（麻生武龜）は共に得がたい硏究である、汪將離反問題と最近の狀勢（長野朗）は最近の時事問題その他日本印象記（シユタイン）ネグロ族並びにアメリカ印度人の覺醒（ボース）將介石と日本（クラーゲス）大平洋勞働組合書記局五年史（高澤六郎）時報（時事概說、滿洲國承認問題、張學良の地位、印度の綿布關稅引上、滿洲事變一年史、時事日誌）等の外に資料文獻、支那滿蒙經濟係統計がある（定價五十錢、發行所東京市麴町區内山下町一丁目一番地東亞經濟調查局）

▲**支那**（十月號）日滿關稅同盟問題（根岸佶）日支紛爭と國際聯盟（伊藤述史）滿洲國承認に就いて（稻原勝治）支那共產軍の新展望（足利緯）は貴重である、東支鐵道問題（松本忠雄）汎ツラニズムと滿蒙問題（野副重次）雀鬪さ淡水水母（米内山庸夫）資料さして變動する謎の支那（スクオツア）は外人の見た支那の一考察さして見るべきものがある、日支交通の資料的考察（水野梅曉）滿洲國農業移民と農村救濟（野溝四郎）上海續風土記（虹口の日本人）（澤村幸夫）時報（滿洲國承認及び西藏獨立運動の政治外交より財政經濟問題がある）定價四十錢、發行所東京市麴町區三年町一番地東亞同文會調查編纂部

▲**批判**（十月號）ナチス勝つ（如是閑）資本主義的血路の諸問題（林要）資本に奉仕するギヤング組織（ザスラフスキー）世界製靴王ベーチヤの死（R、K、生）地代論爭一まづ打切り（林要）恐慌イタリーに於けるフアツシヨとヴアチカン（嘉治隆一）資本主義末期の教育（長谷川萬次郎）批判は非常時議會と無產政黨、トルコの對ソ關係と聯盟加入（嘉治）バルカンの形勢とギリシヤの地位（嘉治）アメリカにも自力甦生（松本）獨立勞働黨の「獨立」（後藤）バーベン内閣とドイツ政局の前途（後藤）借金財政と國債增加（四方田）支那に働く二つの意志（福岡）等がある（定價三十錢、發行所東京市外中野町上ノ原六番地我等社）

▲**戰友**（十月號）滿洲國の將來に對する吾人の覺悟（鈴木莊六）當面の問題に關する一、二の所感（赤井春海）在鄕軍人諸君に寄す（本庄繁）滿洲國と世界の平和、殺人の威力畏るべし（服部豐彥）定價十錢、發行所東京市牛込區原町三丁目八番地帝國在鄕軍人會本部

▲**民論時代**（十月號）定價四十錢發行所東京市四谷區箪笥町一二番地民論時代社

▲**川柳きやり**（十月號）定價二十五錢、發行所東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社

▲**調查月報**（第九號）定價三十錢 發行所朝鮮總督府

第十回 滿日特選碁戰

互先 初段 宮下秀洋
先番 初段 坂口常治郎

（第一譜　一一四十四）

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

●一四一ヲ十九 ○一四二ソ六
●一四三タ十七 ○一四四ワ十四
●一四五チ十四 ○一四六ニ八
●一四七ヘ三 ○一四八ヨ十四
●一四九ヨ十五 ○一五〇タ十三
●一五一タ十五 ○一五二ル十八
●一五三ヌ十八 ○一五四チ十七
●一五五ヌ十七 ○一五六ワ十五
●一五七ヌ十五 ○一五八チ十四
●一五九チ十三 ○一六〇リ十九

—【8】—

けふの放送

大連 JQAK　十月二十一日

▲午前六時　ラヂオ體操
▲午後六時十分　ニユース
（以下内地中繼）
▲講演（六時三十分）（仙臺より）「超短波の性質と其の利用に就て」工學博士宇田新太郎
▲管絃樂（七時）洋樂の夕、ラヴエルの祭「みまかれる王女の爲のパヴアーヌ」日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
▲獨唱「マダカスカル島の唄」イ、ナアンドーヴよお、麗しいナアシドーヴよ、ロ、濱邊に住む白人に、ハ、木陰に憩ひて、太田黑養二、室内樂伴奏、フルート宮田清藏、チエロ齋藤秀雄、ピアノ上田仁
▲ピアノ協奏曲、アレグロ、アダヂオ、プレスト、マキシム、シヤピロ、管絃樂日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
▲獨唱「マラルメの詩三章」イ、ためいき、ロ、仇なる願ひ、ハ、黄昏のばら、荻野綾子、室内樂伴奏、第一フルート宮田清藏、第二フルート及ピツコロ岩波桃太郎、第一クラリオネツト辻井富藏、第二クラリオネツト及ベースクラリオネツト山村哲夫、第一ヴアイオリン日比野愛次、第二ヴアイオリン黑柳守綱、ヴイオラ瀧川廣、チエロ齋藤秀雄ピアノ上田仁
▲管絃樂「ボレロ」日本放送交響樂團、指揮ニコライシフエルブラツト
（以下大連放送局より）
▲三曲（八時三十一分）「深夜の月」尺八小笠原米山、三絃福永大勾當、箏木次初榮
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報